The essentials of imaging

bizhub C360/C280/C220

ユーザーズガイド　プリンター機能編

もくじ

1 はじめに

2 プリンター機能の概要

3 インストールする前にお読みください

4 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

5 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

6 Macintosh のインストール

13 操作パネルでの各種設定

14 PageScope Web Connection

15 トラブルシューティング

16 付録

17 索引

1 はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[すぐに使える操作ガイド]	すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー機能編]	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 ・ 原稿、コピー用紙の仕様 ・ コピー機能 ・ 本機のメンテナンス ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド 拡大表示機能編]	拡大表示機能の操作について記載しています。 ・ コピー機能 ・ スキャナー機能 ・ G3 ファクス機能 ・ ネットワークファクス機能
[ユーザーズガイド プリンター機能編]	プリンター機能について記載しています。 ・ プリンター機能 ・ プリンタードライバーの設定
[ユーザーズガイド ボックス機能編]	ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。 ・ ボックスへのデータ保存 ・ ボックスからのデータの取出し ・ ボックスからのデータの印刷、転送
[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編]	スキャンしたデータの送信方法を記載しています。 ・ E-mail 送信、FTP 送信、SMB 送信、ボックス保存、WebDAV 送信、Web サービス ・ G3 ファクス ・ IP アドレスファクス、インターネットファクス
[ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編]	コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバー機能について記載しています。 ・ PC-FAX
[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]	ネットワークを利用した各機能の設定方法を記載しています。 ・ ネットワークの設定 ・ PageScope Web Connection を使用した設定

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド 拡張機能編］	オプションのライセンスキットでご利用いただける機能、およびアプリケーションと連携することでご利用いただける機能について記載しています。 · Web ブラウザー機能 · イメージパネル · PDF 処理機能 · 音声ガイド機能 · サーチャブル PDF · My パネル、My アドレス機能
［商標 / ライセンスについて］	商標およびライセンスについて記載しています。 · 商標、著作権について

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービスエンジニアにご連絡ください。

1.2　ページの見かた

1.2.1　本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

→ この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。

目的の画面を表示しています。

参照

参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

[ ]

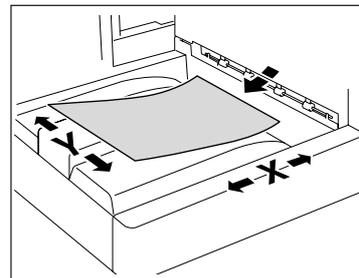
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、マニュアル名称などを表します。

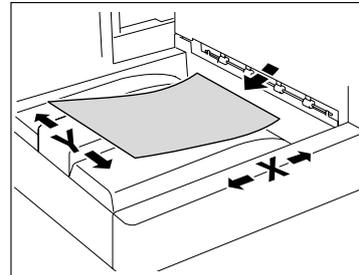
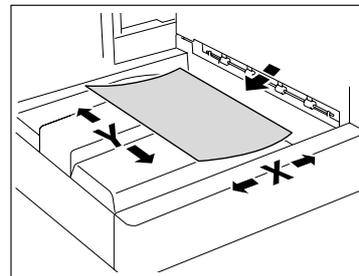
文中の太字

操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2　原稿と用紙の表示について

原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを □ と表示します。

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを □ と表示します。

2 プリンター機能の概要

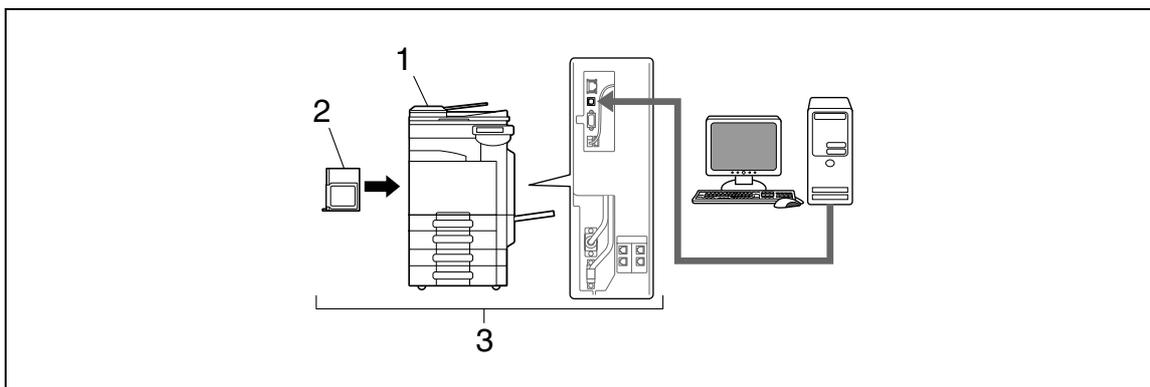
2　プリンター機能の概要

本機のプリンター機能を実現するプリンターコントローラーの概要と接続環境を説明します。

2.1　プリンターコントローラーとは

プリンターコントローラーは、本機で印刷機能、ネットワーク印刷機能を実現するための装置です。

2.1.1　プリンターコントローラーの役割

プリンターコントローラーを内蔵することで、本機がプリンティングシステムとなり、本機とつながっているコンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。本機をネットワークプリンターとして使用するときも、コンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。

1. 本機
2. プリンターコントローラー
3. プリンティングシステム

プリンターコントローラーは、以下の機能を持っています。

- コンピューター上のプリンタードライバーから送られたデータを印刷する機能
- TCP/IP（IPv4/IPv6）、IPX/SPX、AppleTalk などのネットワークプロトコルをサポート
- Web サービス印刷（Windows Vista/Server 2008）、SMB 印刷（Windows 印刷）、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由による印刷機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンターコントローラーの設定（Web ブラウザー使用）
- 印刷枚数の管理（ユーザー認証・部門管理機能）
- コンピューターを使用したファクス機能（PC-FAX 送信）

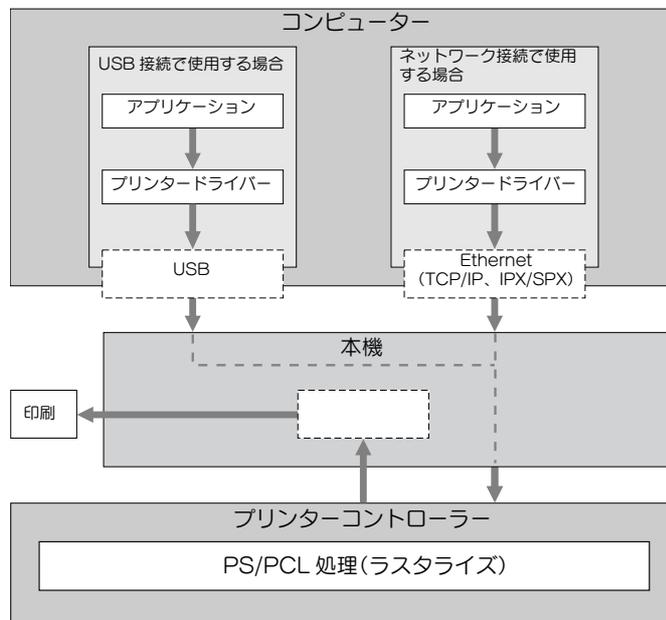
参照

ファクス機能を利用する場合は、オプションの **FAX キット**が必要です。PC-FAX 送信については、［ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編］をごらんください。

2.1.2 印刷の流れ

プリンターとして本プリンティングシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

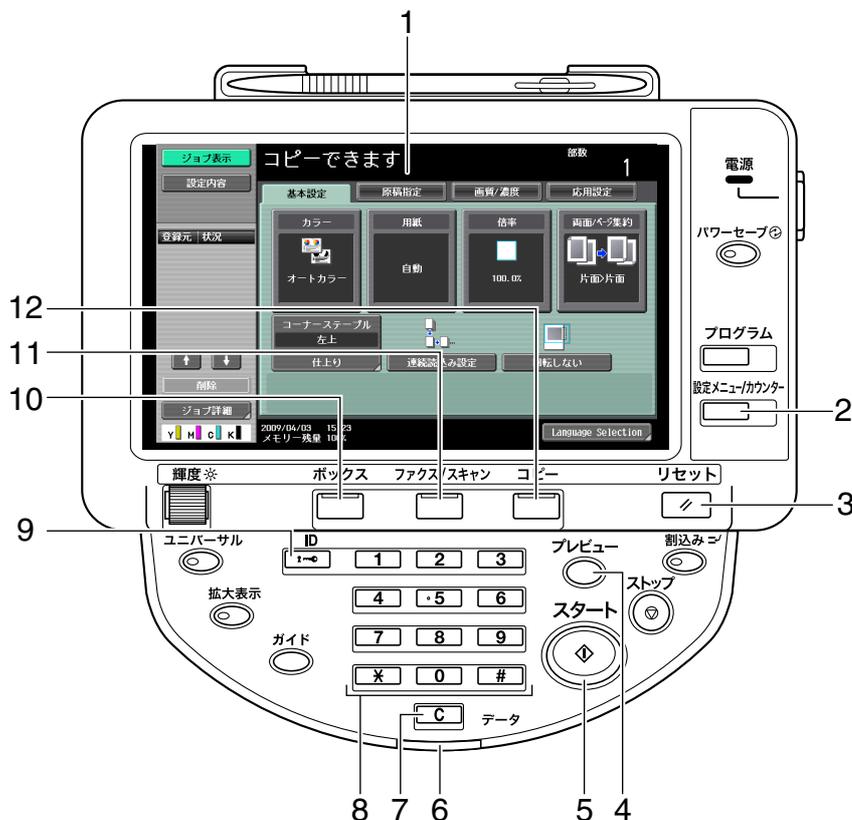
アプリケーションから送られた印刷データは、プリンタードライバーが受け取ります。

USB 接続で使用する場合は USB インターフェース、ネットワーク接続で使用する場合は Ethernet（TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk）を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンターコントローラーに渡されます。プリンターコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機から印刷されます。

プリンターとして機能している途中で、コピー機能やネットワークスキャン機能の原稿読み取りを行うことができます。コピー機能を使用するときは、操作パネルの**コピー**を押すと、コピーができるようになります。

コピー中に印刷ジョブを受信したときは、データが本機のメモリーに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

2.1.3　　操作パネル

プリンタードライバーの設定は主にコンピューターで行いますが、本機の操作パネルでフォントリストの印刷やコントローラーの設定、印刷時の初期設定ができます。

プリンター機能で利用する主なキーを紹介します。

No.	名称	説明
1	**タッチパネル**	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	**設定メニュー / カウンター**	［設定メニュー］画面、セールスカウンター画面に切換わります。
3	**リセット**	操作パネル、タッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
4	**プレビュー**	確認印刷ジョブが蓄積されているときに確認印刷を行います。
5	**スタート**	選択されている機能の動作を開始するときに押します。本機が動作を開始できる状態のときは、**スタート**が青色に点灯します。**スタート**がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
6	**データランプ**	印刷ジョブやファクスの受信中は、青色に点滅します。 印刷ジョブやファクスの印刷待ちおよび印刷中は、青色に点灯します。
7	C（クリアー）	テンキーで入力した数値や画面のキーボードで入力した文字が取消されます。
8	**テンキー**	数字を入力します。管理者パスワードや各種設定値の入力に使用します。
9	ID	ユーザー認証および部門管理を設定している場合は、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。

No.	名称	説明
10	**ボックス**	ボックス機能に切換わります。ボックス機能中は**ボックス**が緑色に点灯します。詳しくは、[ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。
11	**ファクス / スキャン**	ファクス / スキャン機能に切換わります。ファクス / スキャン機能中は**ファクス / スキャン**が緑色に点灯します。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編]をごらんください。
12	**コピー**	コピー機能に切換わります（初期設定ではコピー機能が選択されています）。コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編]をごらんください。

参考

- 印刷時の初期設定を変更する場合は、[設定メニュー]で行います。
- ボックス機能、ファクス / スキャン機能、コピー機能のどのモードでも、本機をプリンターとして使用することができます。

参照

確認印刷について詳しくは、12-2 ページをごらんください。

2.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

2.2.1 プリントできるコンピューターと OS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

Windows

OS	プリンタードライバーの種類により、対応する OS が異なります。詳しくは、3-3 ページをごらんください。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ

Macintosh

OS	Mac OS 9.2/OS X（10.2.8 、10.3、10.4、10.5）
CPU	PowerPC、Intel プロセッサー （Intel プロセッサーは、Mac OS X 10.4/10.5 のみ）
メモリー	OS が推奨するメモリー容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ

2.2.2 接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとコンピューターを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

Ethernet

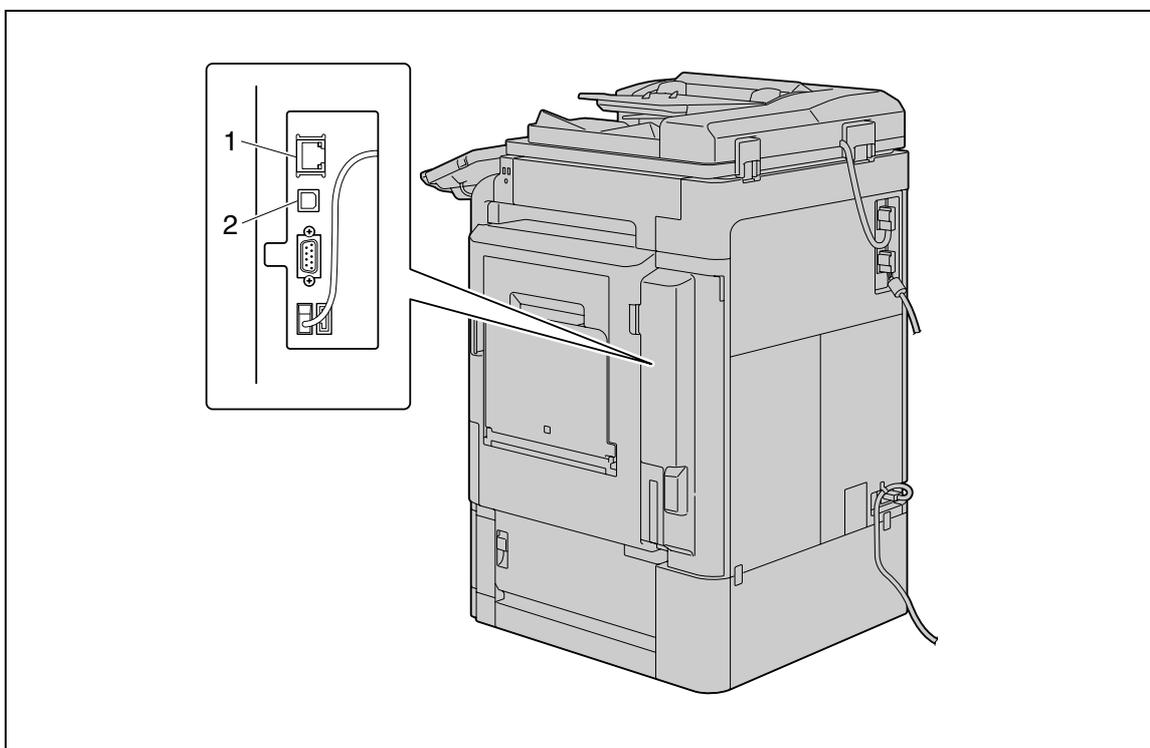
本プリンティングシステムをネットワーク接続で使用するときに利用します。
1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP、SMB）、Web サービス、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。

USB インターフェース

本プリンティングシステムを USB 接続で使用するときに利用します。Windows コンピューターで接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）-B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

接続図

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。

本機背面

1. Ethernet ポート（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T）
2. USB ポート

2.3 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピューターを接続し、プリンタードライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

2.3.1 ネットワーク接続の場合

1 本機とコンピューターを接続します。

2 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。

3 本機の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続します。

4 接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。
  - ➔ LPR：［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
  - ➔ Port 9100：［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能にしておきます。
  - ➔ SMB：［SMB 設定］の［プリント設定］を設定しておきます。
  - ➔ IPP/IPPS：［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IPPS 印刷の場合は、本機に証明書をインストールしておきます。
  - ➔ Web サービス印刷：［Web サービス設定］でプリント機能を使用可能にしておきます。
  - ➔ Boujour：［Bonjour 設定］で Bonjour を使用可能に設定しておきます。
  - ➔ AppleTalk：［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定しておきます。

5 プリンタードライバーをインストールします。
  - ➔ 接続方法やプロトコルに応じてプリンタードライバーのネットワークポートを設定します。

6 スクリーンフォントをインストールします。
  - ➔ プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の「Screen Font」または、「Screen Fonts」フォルダーにあります。
  - ➔ インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。
  - ➔ Macintosh のフォントの場合は、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。

参考

- プリンタードライバーのインストール後は、印刷テストを行い、接続に問題がないことを確認してください。

参照

接続できるインターフェースについては、2-7 ページをごらんください。

ネットワークの設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタードライバーのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。詳しくは、3-2 ページをごらんください。

既存のプリンタードライバーをアップデートする場合は、先に既存のプリンタードライバーを削除してください。詳しくは、8-2 ページをごらんください。

必要に応じて、操作パネルの設定メニューでインターフェースのタイムアウト設定を行います。詳しくは、13-52 ページをごらんください。

2.3.2　ローカル接続の場合

1 本機とコンピューターを接続します。

2 プリンタードライバーをインストールします。

3 スクリーンフォントをインストールします。

➔ プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の「ScreenFont」または、「Screen Fonts」フォルダーにあります。

➔ インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。

2.4 CD-ROM の構成

本機には、以下の CD-ROM が含まれています。

- Driver CD- ROM Vol.1 Windows Driver
  プリンタードライバー（Windows 用）、スクリーンフォントが収録されています。
- Driver CD- ROM Vol.2 TWAIN, Macintosh Driver
  プリンタードライバー（Macintosh 用）、スクリーンフォント、TWAIN ドライバーが収録されています。
- アプリケーション CD-ROM（PageScope Utilities CD-ROM）
  本機と連携して使用する、アプリケーションソフトウェアやマニュアルが収録されています。また、PageScope Web Connection のマニュアルも収録されています。
- ユーザーズガイド CD-ROM
  ユーザーズガイドが収録されています。

参考

- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ファイルは全て JA（Japanese）フォルダー内のものをご使用ください。

3 インストールする前にお読みください

3　インストールする前にお読みください

プリンタードライバーを選択するために必要な情報を説明します。

3.1　はじめに

本章では、プリンタードライバーをインストールする前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

プリンタードライバーのインストール方法は、ご使用になるコンピューターと本機の接続方法やコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。

はじめに、お使いのコンピューターの OS や接続環境を確認し、インストールするプリンタードライバーと接続方法を決定してください。

インストール方法は、プリンタードライバーと接続方法によって選択してください。

3.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

付属の CD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は以下のとおりです。
必要なプリンタードライバーを選択してください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー）	PCL6	Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降） Windows XP Professional（SP1 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー）	PostScript 3 Emulation	Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降） Windows XP Professional（SP1 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
PostScript PPD ドライバー（PS-PPD）		Mac OS 9.2 以降、 Mac OS X 10.2.8/10.3/10.4/10.5
XPS コニカミノルタ製ドライバー（XPS ドライバー）	XPS	Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
ファクスドライバー		Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降） Windows XP Professional（SP1 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。

参考

- ページ記述言語は、印刷に使用するアプリケーションに応じて選択してください。
- Windows 用の PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバーはインストーラーでもプリンタの追加ウィザードでもインストールできます。
- BMLinkS 統合プリンタードライバー（仕様環境：BMLinks2007 に対応）も使用できます。
BMLinkS 統合プリンタードライバーについては、16-10 ページをごらんください。

参照

ファクスドライバーについては、[ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編] をごらんください。

3.3 各 OS で選択可能な接続方法

本機の接続方法はコンピューターの OS によって異なります。また、接続方法によってプリンタードライバーのインストール方法も異なります。接続方法には、ネットワーク接続と USB インターフェースでの接続があります。ネットワーク接続は、さらに使用するプロトコルによりプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

ネットワーク接続（Ethernet）：
ネットワークプリンターとして使用する接続方法です。
本プリンティングシステムは、1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。
また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP、SMB）、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。
利用できるプロトコルはコンピューターの OS によって異なります。

USB インターフェース：
ローカルプリンターとして使用する接続方法です。Windows コンピューターで接続できます。
本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

3.3.1 Windows Vista/Server 2008

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	p. 4-2 ・ 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100 、USB の場合は ［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］を選択してください。
	IPP	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR （ ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	p. 5-2
	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB（ServerMessage Block）を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	Web サービスプリント	Windows Vista/Server 2008 の Web サービス機能に対応した接続で、ネットワーク上のプリンターを自動的に検出して接続します。	
	USB	USB ポートによる接続です。	

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	p. 5-12

参考

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストーラーを使って IPPS 接続（セキュリティ印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、5-7 ページ をごらんください。

3.3.2 Windows 2000/XP/Server 2003

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	p. 4-2 ・ 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100 、USB の場合は ［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］、IPPS の場合は［セキュリティ印刷］を選択してください。
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR （ ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	Windows XP/ Server 2003：p. 5-13 Windows 2000：p. 5-22
	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB（ServerMessage Block）を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows XP/ Server 2003：p. 5-21 Windows 2000：p. 5-26

参考

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- インストーラーでは、Windows XP/Server 2003 の IPv6 環境でのインストールは対応していません。

参照
ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]をごらんください。

3.3.3　Windows NT 4.0

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 4-2 * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が LPR の場合は[標準印刷]を選択してください。
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	p. 5-28

参考

- Windows NT 4.0 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- Windows NT 4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピューターにあらかじめ[Microsoft TCP/IP 印刷]サービスがインストールされている必要があります。
- Windows NT 4.0 でインストーラーを使用するときは、コンピューターに Internet Explorer 5.0 以降がインストールされている必要があります。

参照
ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]をごらんください。

3.3.4 Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
セットアップが可能な接続方法	Bonjour	Bonjour、Rendezvous によるネットワーク接続です。	p. 6-2 ・ インストーラーでインストールし、接続方法は、インストール後にプリンターの選択で指定します。
	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	
	IPP	IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。	

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

3.3.5 Mac OS 9.2

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
セットアップが可能な接続方法	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	p. 6-15 ・ 接続方法は、プリンターの選択で指定します。
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

3.3.6 NetWare について

NetWare バージョン	使用するプロトコル	接続方法
NetWare 4.x	IPX	Bindery Pserver Nprinter/Rprinter
NetWare 5.x	IPX	NDS Pserver Nprinter/Rprinter
	TCP/IP	NDPS
NetWare 6.x	IPX	NDS Pserver
	TCP/IP	NDPS

参照

NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をごらんください。
NetWare 環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

4 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

4 インストーラーによる簡易インストール（Windows）

インストーラーを利用して Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

4.1 インストーラーについて

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーがインストールされます。また、接続先を手動で指定してインストールすることもできます。

インストーラーでインストールできるプリンタードライバーは、PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバーです。

4.1.1 インストーラーの動作環境

OS	Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP2 以降）*1 Windows XP Professional（SP2 以降）*1 Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business *2 Windows Vista Enterprise *2 Windows Vista Home Basic *2 Windows Vista Home Premium *2 Windows Vista Ultimate *2 Windows Server 2008 Standard *2 Windows Server 2008 Enterprise *2 *1 プリンタードライバーの動作条件は SP1 以降。 *2 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。

参考

- Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- USB で接続していて、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。
- インストーラーは Windows Vista/Server 2008 の場合のみ IPv4/IPv6 環境の両方に対応しています。ただし、Windows Vista/Server 2008 での［セキュリティ印刷］（IPPS）および IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。
- Windows NT 4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピューターにあらかじめ［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスがインストールされている必要があります。
- Windows NT 4.0 でインストーラーを使用するときは、コンピューターに Internet Explorer 5.0 以降がインストールされている必要があります。

4.2 インストーラーによる簡単インストール手順

4.2.1 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

本機の TCP/IP 設定

本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。

参照

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

本機の RAW ポート番号 /IPP 設定

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port 9100：［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能にしておきます。
- IPP/IPPS：［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

4.2.2 プリンタードライバーをインストール

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。

➔ インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて［Setup.exe］をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

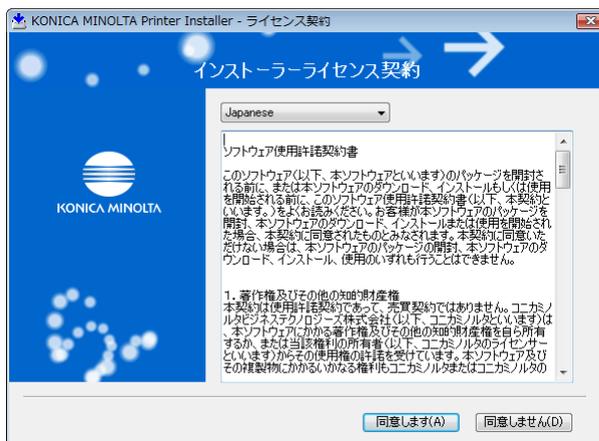
➔ Windows Vista/Server 2008 にインストールする場合、［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［許可］または［続行］をクリックします。

2 ［プリンターのインストール］をクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

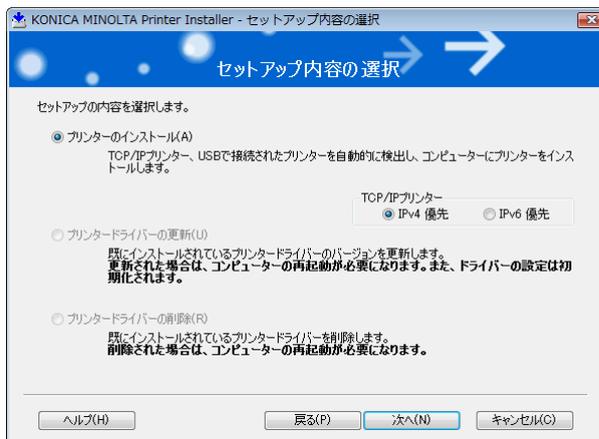
3　使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、［同意します］をクリックします。

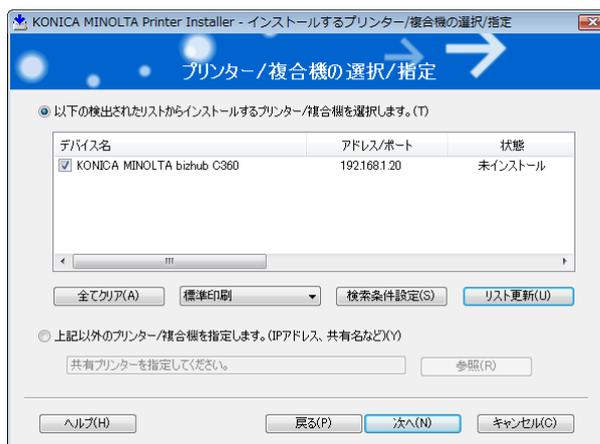
➔ 同意していただけない場合は、インストールできません。

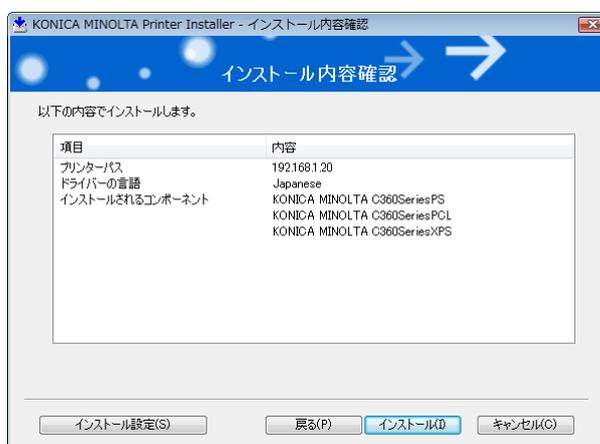
➔ 言語が表示されているボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。

4　セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は、［プリンターのインストール］を選択して［次へ］をクリックします。

接続されているプリンター・複合機が検出されます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［IPv4 優先］/［IPv6 優先］を選択できます。検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5　本機を選択して［次へ］をクリックします。

➔ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の［上記以外のプリンター / 複合機を指定します。（IP アドレス、共有名など）］を選択し、手動で指定してください。
➔ 印刷の方法として、［標準印刷］（Port 9100、USB）のほか、［インターネット印刷］（IPP）や［セキュリティ印刷］（IPPS）を選択できます。ただし、［セキュリティ印刷］（IPPS）は、**PageScope Web Connection** で SSL が ON になっており、かつ IPP が有効な場合に利用できます。
➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストーラーを使って［セキュリティ印刷］（IPPS 接続）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、5-7 ページをごらんください。
➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、IPv4/IPv6 環境の両方に対応していますが、IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。

6　インストール内容を確認します。

➔ 変更する場合は［インストール設定］をクリックし、手順 7 へ進みます。
➔ 変更しない場合は手順 8 へ進みます。

7　インストールするコンポーネントを選択し、［OK］をクリックします。

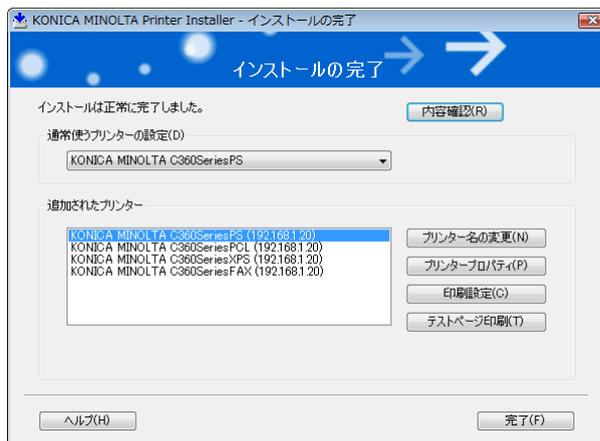
➔ ファクスドライバーについては、［ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編］をごらんください。

8　［インストール内容確認］画面で［インストール］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008 で［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003/2000 で「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

9　［インストールの完了］画面で［完了］をクリックします。

インストールが完了します。

［インストールの完了］画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

［内容確認］：インストール内容を確認します。

［プリンター名の変更］：プリンター名を変更します。

［プリンタープロパティ］：プリンターのプロパティ設定を行います。詳しくは、9-4 ページをごらんください。

［印刷設定］：プリンタードライバーの［印刷設定］画面を表示し、各種機能を設定します。詳しくは、9-10 ページをごらんください。

［テストページ印刷］：テスト印刷を行います。

5 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

5 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

インストーラーを利用せず、Windows 標準のプリンター追加機能で Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

5.1 Windows Vista/Server 2008

5.1.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100/SMB）の場合

Windows Vista/Server 2008 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールすることも、プリンターポートを作成してインストールすることもできます。

本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷、SMB 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
RAW ポート番号	Port 9100 印刷を利用する場合： 本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能に設定しておきます。
LPD 設定	LPR 印刷を利用する場合： 本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
SMB 設定	SMB 印刷を利用する場合： 本機の［SMB 設定］の［プリント設定］で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、本機の［DirectHosting 設定］を有効にしておく必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

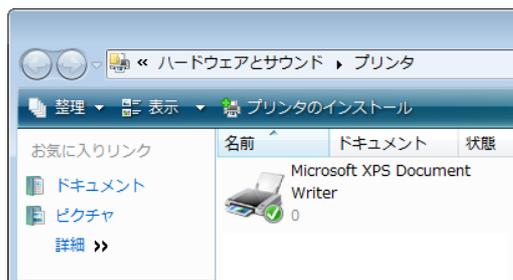
2 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

3 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

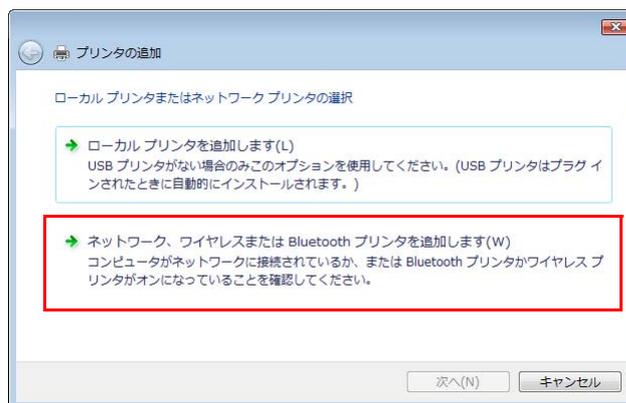
［プリンタ］ウィンドウが開きます。

➔ ［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

4 ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Vista の場合：

Windows Server 2008 の場合：

［プリンタの追加］ウィザードが表示されます。

5 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF したあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

6 一覧から本機を選択して、［次へ］をクリックします。

➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。

➔ SMB 接続の場合は、「¥¥NetBIOS 名¥プリントサービス名」のプリンターを選択します。

➔ SMB 接続の場合は、［次へ］をクリックしたあとに表示される［プリンタの接続］画面で、さらに［OK］をクリックします。

➔ 全てのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。

7 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

8 ［参照 ...］をクリックします。

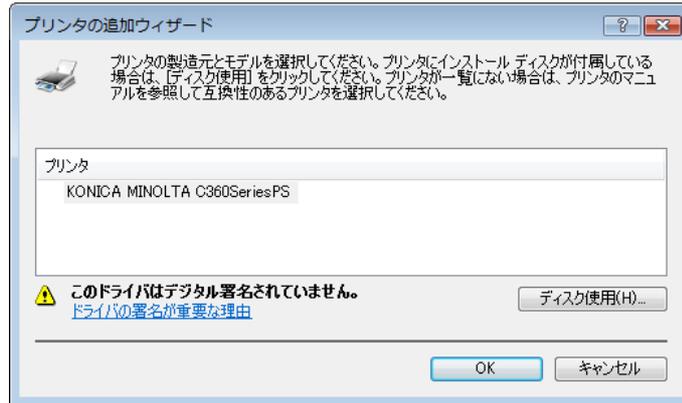
9 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

10 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

11 ［次へ］をクリックします。

➔ SMB 接続の場合は、[OK] をクリックします。

12 画面の指示にしたがって操作します。

➔ [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

➔ [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバ ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

13 [完了] をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

プリンタの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

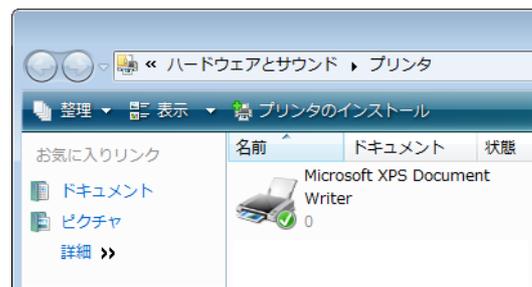
2 [スタート] をクリックして、[コントロール パネル] をクリックします。

3 [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

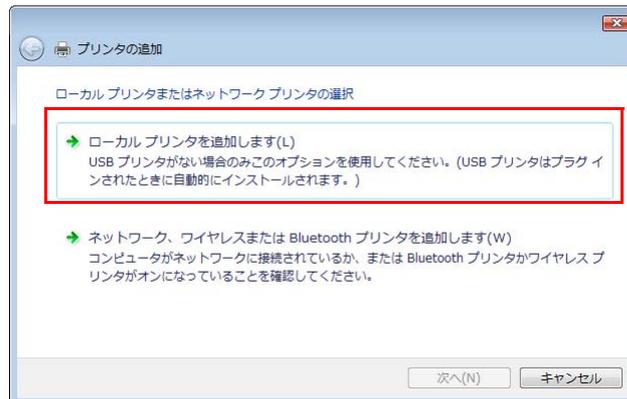
[プリンタ] ウィンドウが開きます。

➔ [コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

4 ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。

Windows Vista の場合：

Windows Server 2008 の場合：

［プリンタの追加］ウィザードが表示されます。

5 ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。

［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類を選択します。

→ LPR/Port 9100 接続の場合は、［Standard TCP/IP Port］を選択します。
→ SMB 接続の場合は、［Local Port］を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 IP アドレスやポートを設定します。

→ LPR/Port 9100 接続の場合は、［TCP/IP デバイス］を選択し、IP アドレスを入力します。
→ SMB 接続の場合は、［ポート名］ボックスに「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」を入力します。
→ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［SMB 設定］の［プリント設定］と同じ名前を入力してください。

9 ［次へ］をクリックします。

→ ［ポート情報がさらに必要です］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
→ ［プリンタ ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 ［カスタム］をチェックし、［設定 ...］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

→ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに「Print」と入力します。
→ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
→ Port 9100 の場合は、［Raw］をチェックし、［ポート番号 :］ボックスに RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を入力します。
→ 本機で LPR と Port 9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。

12 ［次へ］をクリックします。

［プリンタ ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

13 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

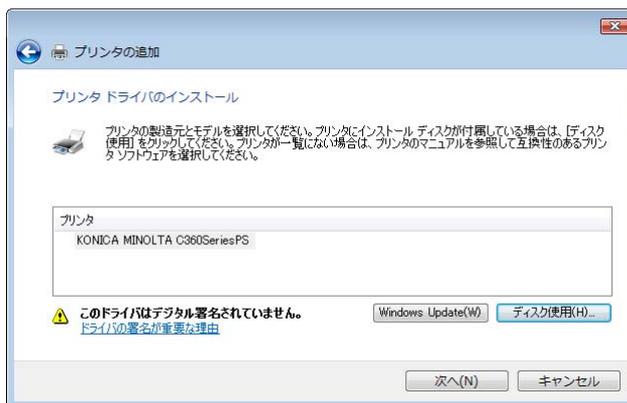
14 ［参照 ...］をクリックします。

15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

16 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

17 ［次へ］をクリックします。

18 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

19 ［完了］をクリックします。

20 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.1.2 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
IPP 設定	本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

3 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが開きます。

➔ ［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

4 ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

［プリンタの追加］ウィザードが表示されます。

5 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。

接続されているプリンターが検索されます。

6 検索された画面で、［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。

7 ［共有プリンタを名前で選択する］ボックスに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

➔ http:// ＜本機の IP アドレス＞ /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// ＜ホスト名＞ . ＜ドメイン名＞ /ipp」を入力してください。＜ホスト名＞. ＜ドメイン名＞は、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。

➔ 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/Server 2008 でコンピュータアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。

➔ 本機に証明書を登録する際、＜ホスト名＞ . ＜ドメイン名＞が証明書のコモンネームに表示されていることを確認してください。

8 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

9 ［参照 ...］をクリックします。

10 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

11 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

15 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

5.1.3 ネットワーク接続（Web サービスプリント）の場合

Windows Vista/Server 2008 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント機能に対応したプリンターを検索してインストールできます。

参照

プリンタードライバーをインストールした後に、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごとアンインストールしてください。詳しくは、8-3 ページをごらんください。

本機の設定

Web サービスプリントを利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
Web サービス設定	本機の［Web サービス設定］でプリント機能を使用可能にしておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

ネットワークウィンドウからプリンターをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの［ネットワークと共有センター］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

3 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4 ［スタート］をクリックして、［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ウィンドウが開き、接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

5 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの［インストール］をクリックします。

➔［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

選択した Web サービスプリント機能に対応したプリンターが検索され、［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されます。

6 画面の指示にしたがって操作します。

➔［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。
➔［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

参照

［新しいハードウェアが見つかりました］画面の操作は、「プリンタの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール」と同様です。詳しくは、次項目の手順 11 ～ 20 をごらんください。

プリンタの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

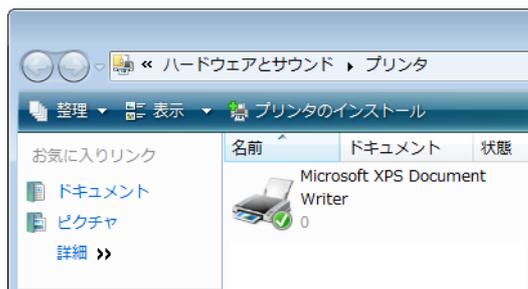
1 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの［ネットワークと共有センター］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

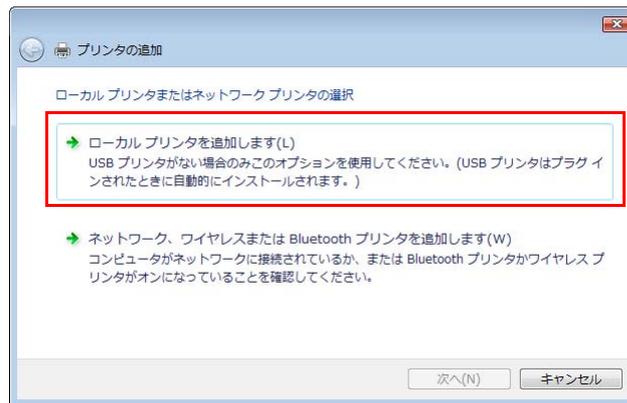
3 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4 ［スタート］をクリックして、［コントロール パネル］をクリックします。

5 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
［プリンタ］ウィンドウが開きます。
➔ ［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

6 ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Vista の場合：

Windows Server 2008 の場合：

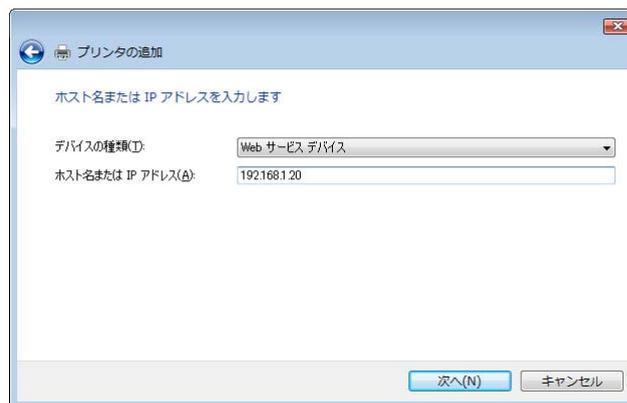
［プリンタの追加］ウィザードが表示されます。

7 ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。

［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

8 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類を選択します。

➔ ［Standard TCP/IP Port］を選択します。

9 ［次へ］をクリックします。

10 ［Web サービスデバイス］を選択し、IP アドレスを入力して［次へ］をクリックします。

入力した IP アドレスの Web サービスプリント機能に対応したプリンターが検索され、［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されます。

11 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

12 オンラインで検索するかどうかを確認する画面が表示されるときは、［オンラインで検索しません］をクリックします。

13 ［コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

14 ［参照 ...］をクリックします。

15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

16 ［次へ］をクリックします。

17 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

18 ［閉じる］をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.1.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタ ポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 本機の主電源を入れます。

［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

ディスク（CD-ROM）を要求するダイアログが表示されます。

➔ ディスク（CD-ROM）がない場合は、［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。次の画面で［コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）］を選択して目的のプリンタードライバーフォルダーを指定してください。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

5 目的のプリンタードライバー名を指定し、［次へ］をクリックします。

➔ 選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

6 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

7 インストールが終了したら［閉じる］をクリックします。

8 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

9 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.2 Windows XP/Server 2003

5.2.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100）の場合

LPR/Port 9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
RAW ポート番号	Port 9100 印刷を利用する場合： 本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能に設定しておきます。
LPD 設定	LPR 印刷を利用する場合： 本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照
本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

Windows XP の場合：

Windows Server 2003 の場合：

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。

［プリンタポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］を選択し、［ポートの種類 :］で［Standard TCP/IP Port］を選択します。

7 ［次へ >］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード］が起動します。

8 ［次へ >］をクリックします。

9 [プリンタ名または IP アドレス :] ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ >] をクリックします。

➔ [ポート情報がさらに必要です。] 画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ [完了] 画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 [カスタム] をチェックし、[設定 :] をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、[LPR] をチェックし、[キュー名 :] ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、[Raw] をチェックし、[ポート番号 :] ボックスに RAW ポート番号(初期設定では [9100])を入力します。

12 [次へ >] をクリックします。

13 [完了] をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

14 [ディスク使用 ...] をクリックします。

15 [参照 ...] をクリックします。

16 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー :
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

17 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

18 [次へ >] をクリックします。

19 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

20 ［完了］をクリックします。

➔「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.2.2 ネットワーク接続（SMB）の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。プリンターはネットワークを検索して選択することも、直接プリンター名を入力することもできます。

本機の設定

SMB 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
SMB 設定	SMB 印刷を利用する場合： 本機の［SMB 設定］の［プリント設定］で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、本機の［DirectHosting 設定］を有効にしておく必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードでプリンターを指定してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

→ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

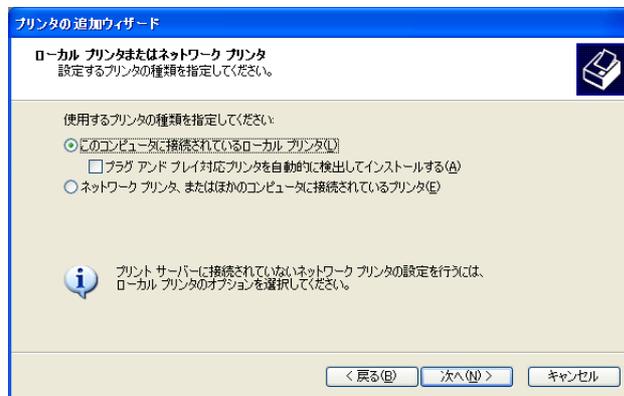
Windows XP の場合：

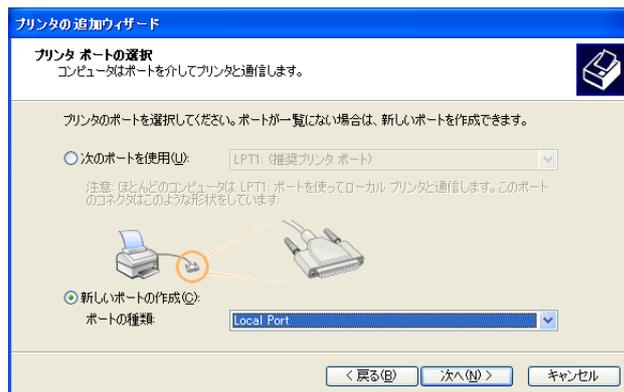
Windows Server 2003 の場合：

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。

［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［ポートの種類 :］で［Local Port］を選択して［次へ >］をクリックします。

7 ［ポート名］ボックスに「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」入力します。

➔ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［SMB 設定］の［プリント設定］と同じ名前を入力してください。

8 ［OK］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

9 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

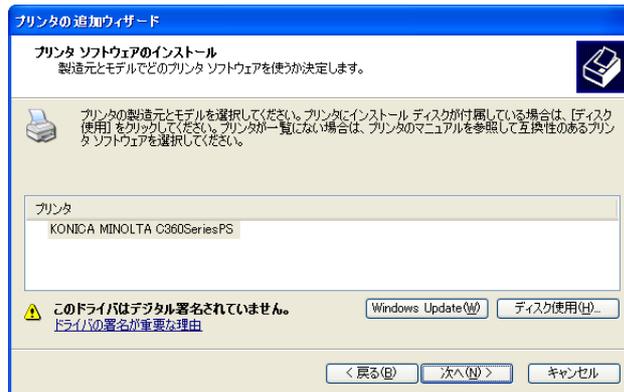
10 ［参照 ...］をクリックします。

11 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

12 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

13 ［次へ >］をクリックします。

14 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

15 ［完了］をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

16 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

17 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.2.3 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
IPP 設定	本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［ローカル プリンタまたはネットワーク プリンタ］画面で、［ネットワーク プリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

6 ［プリンタの指定］画面で、［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。

7 ［URL:］フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ >］をクリックします。

➔ http:// ＜本機の IP アドレス＞ /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// ＜本機の IP アドレス＞ /ipp」を入力してください。

➔ ［次へ >］をクリックしたあとに、確認のダイアログが表示される場合は、［OK］をクリックします。

8 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

9 ［参照 ...］をクリックします。

10 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

11 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 画面の指示にしたがって操作します。

14 ［完了］をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

15 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

5.2.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

➔ 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択します。

4 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ >］をクリックします。

5 ［次の場所で最適のドライバを検索する］から［次の場所を含める :］を選択し、［参照］をクリックします。

6 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

7 ［次へ >］をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

8 ［完了］をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.3 Windows 2000

5.3.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100）の場合

LPR/Port 9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
RAW ポート番号	Port 9100 印刷を利用する場合： 本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能に設定しておきます。
LPD 設定	LPR 印刷を利用する場合： 本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

3 ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 画面の指示にしたがって操作します。

5 接続方法を指定する画面で、［ローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。

［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類で［Standard TCP/IP Port］を選択します。

7 ［次へ >］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード］が起動します。

8 ［次へ >］をクリックします。

9 ［プリンタ名または IP アドレス］ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ >］をクリックします。

➔ ［ポート情報がさらに必要です。］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ ［完了］画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 ［カスタム］をチェックし、［設定 ...］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、［Raw］をチェックし、［ポート番号 :］ボックスに Raw ポート番号（初期設定では［9100］）を入力します。

12 ［次へ >］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

14 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

15 ［参照 ...］をクリックします。

16 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

17 ［OK］をクリックします。

［プリンタ :］リストが表示されます。

18 ［次へ >］をクリックします。

19 画面の指示にしたがって操作します。

20 ［完了］をクリックします。

➔ ［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.3.2 ネットワーク接続（SMB）の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。

本機の設定

SMB 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
SMB 設定	SMB 印刷を利用する場合： 本機の［SMB 設定］の［プリント設定］で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照
本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

3 ［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 画面の指示にしたがって操作します。

5 接続方法を指定する画面で、［ローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。
➔ ［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。
［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類で［Local Port］を選択します。

7 ［次へ >］をクリックします。

8 ［ポート名］ボックスに「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」を入力します。
➔ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［SMB 設定］の［プリント設定］と同じ名前を入力してください。

9 ［OK］をクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

10 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

11 ［参照 ...］をクリックします。

12 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。
➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

13 ［OK］をクリックします。
［プリンタ :］リストが表示されます。

14 ［次へ >］をクリックします。

15 画面の指示にしたがって操作します。

16 ［完了］をクリックします。

➔ ［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

17 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

18 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.3.3 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
IPP 設定	本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

3 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

5 ［ローカルまたはネットワーク プリンタ］画面で、［ネットワーク プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

6 ［プリンタの検索］画面で、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。

7 ［URL:］フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

➔ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// <本機の IP アドレス> /ipp」を入力してください。

8 確認のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

9 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

10 ［参照 ...］をクリックします。

11 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

12 ［OK］をクリックします。

［プリンタ :］リストが表示されます。

13 ［OK］をクリックします。

14 画面の指示にしたがって操作します。

15 ［完了］をクリックします。

➔ ［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

16 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

17 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

5.3.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ >］をクリックします。

6 ［場所を指定］を選択し、［次へ >］をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

9 ［OK］をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

10 ［完了］をクリックします。

➔ ［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

11 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

12 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

5.4 Windows NT 4.0

5.4.1 ネットワーク接続（LPR）の場合

LPR 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

本機の設定

LPR 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
LPD 設定	LPR 印刷を利用する場合： 本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows NT 4.0 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

✔ Windows NT 4.0 で、LPR ポートを利用するには、お使いのコンピューターにあらかじめ［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスがインストールされている必要があります。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

3 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 接続方法を指定する画面で、［このコンピュータ］を選択します。

5 ［次へ >］をクリックします。

ポートを指定する画面が表示されます。

6 ［ポートの追加 ...］をクリックします。

7 ［利用可能なプリンタ ポート］リスト内で［LPR Port］を選択し、［新しいポート ...］をクリックします。

8 「アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを、「キュー名」ボックスに「Print」入力し、［OK］をクリックします。

➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

9 作成したポートを選択し、［次へ >］をクリックします。

10 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

11 ［参照 ...］をクリックします。

12 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、ファクスドライバー

13 ［OK］をクリックします。

［プリンタ :］リストが表示されます。

14 ［次へ >］をクリックします。

15 画面の指示にしたがって操作します。

16 ［完了］をクリックします。

17 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

18 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

6 Macintosh のインストール

6　Macintosh のインストール

Macintosh を使用する場合に必要な設定と Macintosh 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

6.1　Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5

6.1.1　プリンタードライバーのインストール

1 Macintosh を起動します。

2 Macintosh 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

3 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

➔ OS X 10.2：bizhub_C360_102.pkg
➔ OS X 10.3：bizhub_C360_103104.pkg
➔ OS X 10.4：bizhub_C360_103104.pkg
➔ OS X 10.5：bizhub_C360_105.pkg
➔ OS X 10.5 では使用する用紙サイズによってドライバ用フォルダが異なります。使用環境に合わせて選択してください。
おもにメトリックサイズ（A4 など）で印刷する場合：「WW_A4」フォルダ内
おもにインチサイズ（Letter、8 1/2 × 11）で印刷する場合：「WW_Letter」フォルダ

5 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

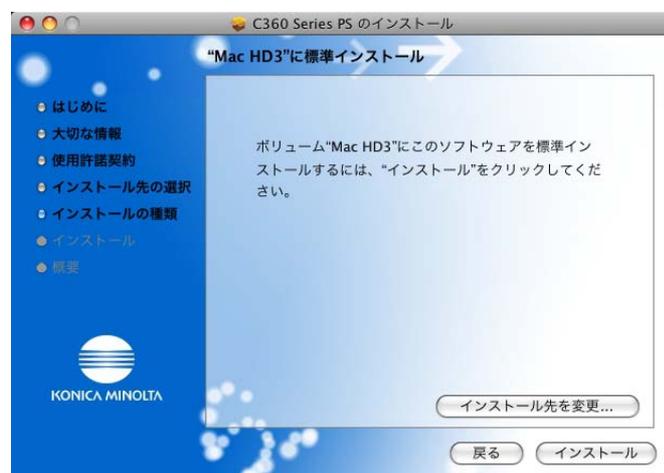
インストーラーが起動します。

➔［キャンセル］を押すと、インストーラーは終了します。

6［インストール］画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって［続ける］をクリックします。

➔ 途中で、名前とパスワードを要求されますのでコンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

7［インストール］画面で、［インストール］をクリックします。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。

➔ OS X 10.2/10.3/10.4 の場合、2 回目以降のインストールでは、［インストール］ボタンが［アップグレード］に変わることがあります。

8　［閉じる］をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

続いて、プリンターの選択をしてください。

6.1.2　プリンターの選択と接続（OS X 10.4/10.5）

OS X 10.4/10.5 は、Bonjour、AppleTalk、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、［プリントとファクス］で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

Bonjour を設定する

本機の［Bonjour 設定］

本機の［Bonjour 設定］で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

参照

本機の［Bonjour 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンターの追加

1　［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2　［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3　［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

4　［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5　［プリンタ名］一覧から Bonjour 接続された目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。

6 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ：］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ：］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

7 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、10-4 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

AppleTalk を設定する

本機の［AppleTalk 設定］

本機の［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

参照

本機の［AppleTalk 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの［AppleTalk 設定］

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。

➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［AppleTalk］タブをクリックし、AppleTalk を有効にします。

5 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5 ［プリンタ名］一覧から AppleTalk 接続された目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。
➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。

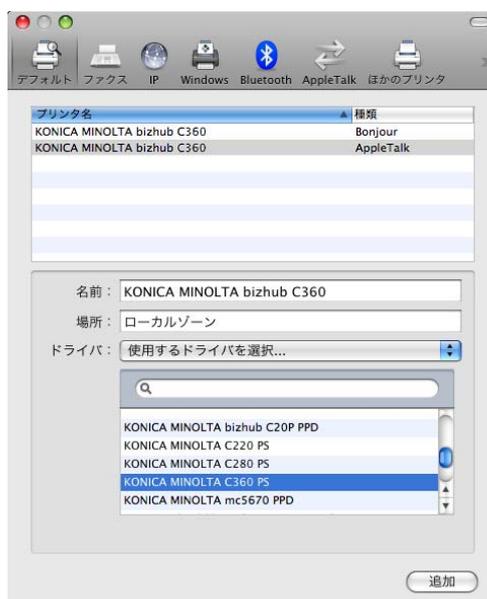
6 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

7 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

➔［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、10-4 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

LPR を設定する

本機の［TCP/IP 設定］

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の［LPD 設定］

LPR 印刷を利用する場合は、本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

本機の［LPD 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。

➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

5 ［プロトコル :］で［LPD］を選択します。

6　［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。

7　プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

8　［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、10-4 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

IPP を設定する

本機の［TCP/IP 設定］

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の［IPP 設定］

本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

本機の［IPP 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［＋］をクリックします。

［プリンタブラウザ］が表示されます。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

5 ［プロトコル :］で［IPP］を選択します。

6 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力し、［キュー :］に「ipp」を入力します。

IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。
➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。

7 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

8 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

➔ ［インストール可能なオプション］画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、10-4 ページをごらんください。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

6.1.3 プリンターの選択と接続（OS X 10.2/10.3）

OS X10.2/10.3 は、Rendezvous、AppleTalk、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

Rendezvous を設定する

本機の［Bonjour 設定］

本機の［Bonjour 設定］で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

参照

本機の［Bonjour 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

プリンタの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。［プリンタリスト］が表示された場合は、［追加］をクリックします。

➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3 接続方法に［Rendezvous］を選択します。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 ［名前］一覧から目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 6 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 5 へ進みます。

5 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ ［プリンタの機種：］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択します。

6 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

AppleTalk を設定する

本機の［AppleTalk 設定］

本機の［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

参照

本機の［AppleTalk 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示：］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［AppleTalk］タブをクリックし、［AppleTalk 使用］チェックボックスを ON にします。

5 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンタの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3 接続方法に［AppleTalk］を選択し、本機が接続されているゾーンを選択します。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 ［名前］一覧から目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 6 へ進みます。
➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 5 へ進みます。

5 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ ［プリンタの機種 :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択します。

6 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

LPR を設定する

本機の［TCP/IP 設定］

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の［LPD 設定］

LPR 印刷を利用する場合は、本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

本機の［LPD 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する［設定 :］項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

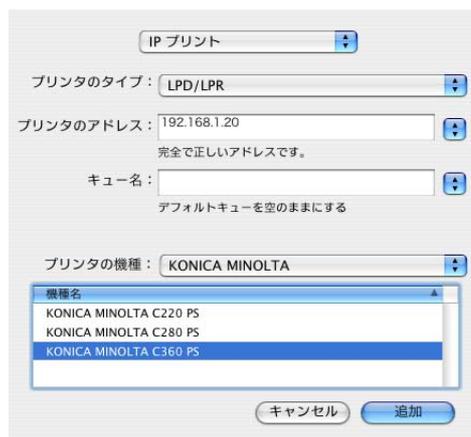
2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3 接続方法に［IP プリント］を選択します。

4 OS X 10.3 の場合は、［プリンタのタイプ :］で［LPD/LPR］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

6 ［プリンタの機種 :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

IPP を設定する

本機の［TCP/IP 設定］

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の［IPP 設定］

本機の［IPP 設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

本機の［IPP 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する［設定 :］項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2 ［使用可能なプリンタがありません。］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

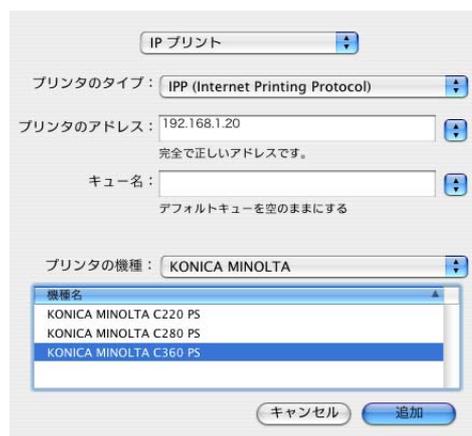
➔ すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、［使用可能なプリンタがありません。］画面は表示されません。

3 接続方法に［IP プリント］を選択します。

4 OS X 10.3 の場合は、［プリンタのタイプ :］で［IPP］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

➔ ［キュー名 :］は空欄にします。

6 ［プリンタの機種 :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

6.2 Mac OS 9.2

6.2.1 プリンタードライバーのインストール

本機に接続後、PostScript プリンターを選択し、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」を指定すると、プリンターとして使用できるようになります。

まず、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」をコンピューターにコピーします。

1 Macintosh 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

3 「KONICAMINOLTAC360JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、コンピューターの［Macintosh HD］－［システムフォルダ］－［機能拡張］－［プリンタ記述ファイル］内にコピーします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

6.2.2 プリンターの選択と接続

OS9 は、AppleTalk、LPR（LPD）で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、プリンターを選択します。

AppleTalk を設定する

本機の［AppleTalk 設定］

本機の［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

参照

本機の［AppleTalk 設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［コントロールパネル］－［AppleTalk］を選択します。

2 ［経由先 :］で［Ethernet］を選択します。

3 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［変更内容を現在の設定に保存しますか？］というメッセージが表示されたら［保存］をクリックします。

プリンターの選択

1 ［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

2 ［AppleTalk］が［使用］になっていることを確認して、「LaserWriter」アイコンをクリックします。

3 ［PostScript プリンタの選択 :］一覧から、目的の機種名をクリックし、［作成］をクリックします。

PostScript プリンター記述（PPD）ファイルを選択する画面が表示されます。

➔ すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 3 で［再設定 ...］をクリックし、さらに表示される画面で［PPD 選択 ...］をクリックします。

4 該当する PPD ファイルをクリックし、[選択](または[開く])をクリックします。

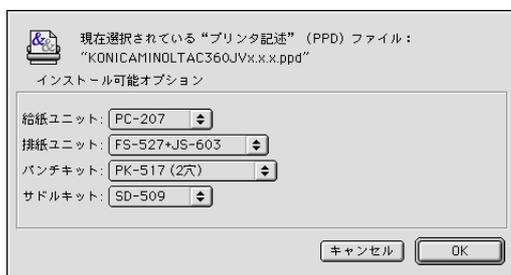
選択したプリンターが[セレクタ]に登録されると、設定は終了です。

➔ オプションを設定する画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。手順 5 へ進みます。

➔ [セレクタ]画面が表示される場合は、手順 7 へ進みます。

5 本機に装着しているオプションを設定します。

6 [OK]をクリックします。

[セレクタ]画面に戻ります。

7 [セレクタ]画面を閉じます。

LPR を設定する

本機の[TCP/IP 設定]

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の[LPD 設定]

LPR 印刷を利用する場合は、本機の[LPD 設定]で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]をごらんください。

本機の[LPD 設定]については、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 [アップルメニュー]の[コントロールパネル]-[TCP/IP]を選択します。

2 [経由先 :]で[Ethernet]を選択します。

3 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する[設定方法 :]の項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

4 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ [変更内容を現在の設定に保存しますか?]というメッセージが表示されたら[保存]をクリックします。

プリンターの追加

1 ［Macintosh HD］－［Applications (Mac OS 9)］－［ユーティリティ］内にある［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックして開きます。

［新規］画面が表示されます。

2 ［プリンタ :］で［LaserWriter］を選択します。

3 ［デスクトップに作成 ...］で［プリンタ（LPR)］を選択します。

［名称未設定］画面が表示されます。

4 ［PostScript™ プリンタ記述（PPD）ファイル］の［変更 ...］をクリックします。

PostScript プリンター記述（PPD）ファイルを選択する画面が表示されます。

5 該当する PPD ファイルをクリックし、［選択］をクリックします。

［名称未設定］画面に戻ります。

6 ［LPR プリンタの選択］の［変更 ...］をクリックします。

IP アドレスを入力する画面が表示されます。

7 ［プリンタアドレス :］に本機の IP アドレスを入力して、［OK］をクリックします。

［名称未設定］画面に戻ります。

8 ［作成 ...］をクリックします。

保存の画面が表示されます。

9 ［デスクトップ・プリンタの保存名 :］を入力して、［保存］をクリックします。

デスクトップに LPR プリンターのアイコンが作成されます。

7 NetWare を使用する場合のインストール

7 NetWare を使用する場合のインストール

NetWare を使用する場合に必要な設定と Windows クライアント用のプリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

7.1 NetWare

7.1.1 ネットワーク設定

本機の［NetWare 設定］で［IPX 設定］、［NetWare プリントモード］を設定しておきます。

参照
本機の NetWare 設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

7.1.2 Windows クライアント設定

印刷を行う Windows クライアントでは、［プリンタの追加ウィザード］でプリンタードライバーをインストールします。

✔ インストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

3 ［プリンタのインストール］または［プリンタの追加］を実行します。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンター名）を指定します。

5 プリンターのモデル一覧で、CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定します。
➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000/XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー
Windows Vista/Server 2008：PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー
Windows NT 4.0：PCL ドライバー

6 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

8 プリンタードライバーのアンインストール

8 プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーを削除する操作を説明します。

8.1 Windows

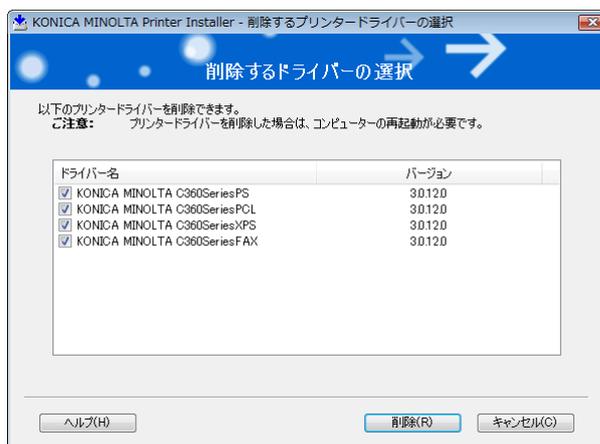
プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

8.1.1 アンインストールプログラムによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

1 [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) ー [KONICA MINOLTA] ー [C360Series] ー [プリンタードライバーの削除] をクリックします。

2 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。

➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

8.1.2 インストーラーによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。

➔ インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2 [プリンターのインストール] をクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書の画面で [同意します] をクリックします。

4 セットアップの内容を選択する画面で [プリンタードライバーの削除] を選択して [次へ] をクリックします。

5 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。

➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

6 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

8.1.3 手動アンインストール

インストーラーを使わずにプリンタードライバーをインストールした場合は、手動でプリンタードライバーを削除します。

1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

2 削除したいプリンターのアイコンを選択します。

3 コンピューターの［Delete］を押し、プリンタードライバーを削除します。

4 以降は、画面の指示にしたがって操作します。

削除が終了すると［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows NT 4.0 の場合は、これでアンインストール完了です。手順 10 へ進みます。

Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでプリンタードライバーを削除します。

5 ［サーバーのプロパティ］を開きます。

- ➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリックします。
- ➔ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］をクリックします。
- ➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

6 ［ドライバ］タブをクリックします。

7 ［インストールされたプリンタ ドライバ :］一覧から、削除したいプリンタードライバーを選択し、［削除 ...］をクリックします。

- ➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、手順 8 へ進みます。
- ➔ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 へ進みます。

8 削除の対象を確認する画面で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］を選択して、［OK］をクリックします。

9 削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

- ➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

- ➔ 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

参考

- 先の手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。
- 「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥w32×86」フォルダー（×64 システムの場合は、「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥×64」フォルダー、Windows 2000 の場合は、「C:￥WINNT￥system32￥spool￥drivers￥w32×86」フォルダー）を確認し、該当機種のフォルダー（Windows 2000 の場合は、下の「oem*.inf」に記述されているファイル）があれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバーと PostScript コニカミノルタ製ドライバー、ファクスドライバーなど複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。
- 「C:￥WINDOWS￥inf」フォルダー（Windows 2000 の場合は、「C:￥WINNT￥inf」フォルダー）にある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。
  削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。
- Windows Vista/Server 2008 で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］で操作した場合は、この作業は不要です。

8.2 Macintosh

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

8.2.1 Mac OS X の場合

1 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面）を開きます。

➔［プリントとファクス］画面は、［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］から開きます（OS X 10.3/10.4/10.5）。

➔［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面は、［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から開きます（OS X 10.2/10.3/10.4）。

2 削除するプリンター名を選択し、［－］（または［削除］）をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面）を閉じます。

4 インストールした［Macintosh HD］の［ライブラリ］－［Printers］－［PPDs］－［Contents］－［Resources］内（OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、［Resources］－［ja.lproj］内）の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔［KONICAMINOLTAC360.gz］
➔［KONICAMINOLTAC280.gz］
➔［KONICAMINOLTAC220.gz］

5 ［ライブラリ］－［Printers］内の不要なファイルを削除します。

➔［ライブラリ］－［Printers］－［KONICAMINOLTA］内の［C360］フォルダーを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ OS X 10.2 の場合は続いて、［ライブラリ］－［Printers］－［PPDPlugins］内にある［KONICA MINOLTA C360］のついたフォルダーを全て［ゴミ箱］へドラッグします。

6 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

8.2.2 Mac OS 9.2 の場合

1 デスクトップ上のプリンターアイコンを［ゴミ箱］へドラッグします。

2 ［Macintosh HD］－［システムフォルダ］－［機能拡張］－［プリンタ記述ファイル］内の「KONICAMINOLTAC360JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、［ゴミ箱］へドラッグします。

プリンタードライバー関連ファイルが削除されます。

3 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

9 Windows 用 PCL/PS/XPS ドライバーの印刷機能

9 Windows 用 PCL/PS/XPS ドライバーの印刷機能

Windows 用の PCL/PS/XPS プリンタードライバーの機能について説明します。

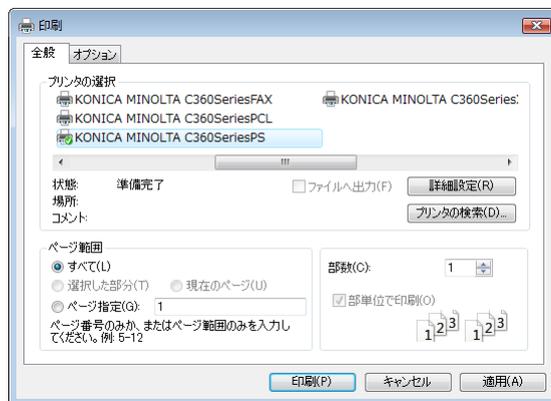
9.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから [印刷] (または [プリント]) をクリックします。

➔ メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

2 [プリンタ名] (または [プリンタの選択]) で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。
➔ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

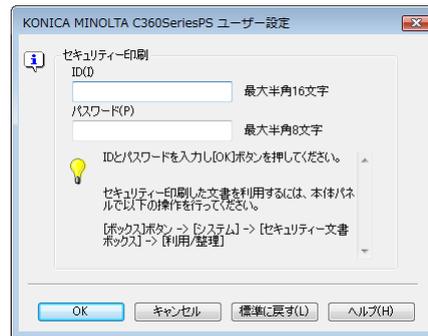
4 必要に応じて [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ [印刷] 画面で [プロパティ] や [詳細設定] をクリックすると、プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、9-10 ページをごらんください。
➔ [印刷] 画面から変更したプリンタードライバーの [印刷設定] は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5 [印刷] をクリックします。

印刷が実行され、本機のデータランプが点滅します。

➔ [装置情報] タブの [装置オプション] で [セキュリティー印刷のみ許可] を [する] に設定してある場合は、[セキュリティー印刷] 画面が表示されます。手順 6 へ進みます。

6 文書の ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
データが送信され、本機の [セキュリティー文書ボックス] に保存されます。

参照

[装置情報] タブについては、9-4 ページをごらんください。

セキュリティー印刷については、12-5 ページをごらんください。

9.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションやユーザー認証、部門管理機能などの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーの［印刷設定］画面から使用可能にする必要があります。

重要
本機の機種名や装着されているオプション、ユーザー認証、部門管理機能が［装置情報］タブで設定されていないと、プリンタードライバーの［印刷設定］画面でオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

9.2.1 プロパティ画面の表示方法

1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows 2000/NT 4.0 の場合は、［スタート］をクリックし、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

9.2.2 装置情報タブ

使用する機種名とオプションやユーザー認証、部門管理機能の有無を設定し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。

項目名	機能
［装置オプション］	本機の機種名と装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は［設定値の変更］で設定します。
［給紙トレイ情報］	給紙トレイに対する用紙種類の割り当て状態を表示します。 ［給紙トレイ設定 ...］で割り当てを設定できます。
［装置情報取得］	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。

項目名	機能
［取得設定 ...］	［装置情報取得］を実行する接続先などの条件を設定します。 装置情報を自動で取得する場合は［自動取得］を有効にします。 また、［装置情報取得用パスワード］で装置の情報を取得するための認証パスワードを設定することもできます。パスワードを設定することで、装置の情報を取得するときに、パスワードによる認証をします。
［暗号化ワード］	本機との通信を暗号化するための文字列です。 本機の暗号化ワードが［出荷値を使用］でなく［ユーザー定義］に変更している場合に、本機と同じ暗号化ワードを入力します。入力した文字に対する暗号鍵が自動的に生成され、本機との通信に利用されます。
［ツール］	PageScope Web Connection などの設定ツールを起動します。

参考

- ［装置オプション］の機種とオプションは、［取得設定 ...］が［自動取得］になっていれば自動的に設定されます。［自動取得］になっていない場合は、［装置情報取得］または手動で必ず設定してください。
- ［機能バージョン］は、本機のバージョンに対応します。本機のバージョンは、操作パネルの**設定メニュー / カウンター**を押し、［装置情報表示］を押すと確認できます。［装置情報表示］が表示されない場合のバージョンは「バージョン 2」です。本書の内容は、バージョン 3 の機能に対応しています。
- ［装置オプション］で［セキュリティー印刷のみ許可］を［する］に設定してある場合は、セキュリティー印刷ジョブのみ許可されます。セキュリティー印刷については、12-5 ページをごらんください。
- ［暗号化ワード］は本機の［ドライバーパスワード暗号化設定］で設定した暗号化ワードと一致させてください。
- ［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。また、［装置情報取得］を利用するときは、本機の［管理者設定］で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［使用しない］に設定してください。詳しくは、13-56 ページをごらんください。
- ［取得設定 ...］で［装置情報取得用パスワード］を設定している場合は、本機の［装置情報取得用アカウント設定］で設定するパスワードと一致させてください。パスワードは英数記号 8 文字以内で設定してください（スペースと「"」は使用できません）。

参照

［暗号化ワード］をユーザー定義にする方法については、12-32 ページをごらんください。

本機の［装置情報取得用アカウント設定］については、13-54 ページをごらんください。

9.2.3　初期設定タブ

確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。

項目名	機能
［メタファイル（EMF）スプールを行う］	独自のシステム環境で使用する場合で、メタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。
［禁則発生時に確認メッセージを表示する］	プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
［サーバープロパティ用紙を使用する］	プリンターウィンドウの［サーバーのプロパティ］で追加登録した用紙を使用します。
［印刷前に認証設定を検証する］	印刷前に本機に対し認証設定を検証し、適合しない場合はメッセージを表示します。
［印刷時に認証設定の入力画面を表示する］	印刷を指定するときに［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。
［セキュリティー印刷時に設定入力画面を表示する］	セキュリティー印刷を実行するときに［セキュリティー印刷］ダイアログボックスを表示し、ID やパスワードの入力を促します。
［My タブの設定］	プリンタードライバーの My タブの表示について設定します。 ［My タブを表示する］：My タブの表示 / 非表示を設定します。チェックすると、My タブを表示します。 ［配置を共有する］：My タブ上の機能の配置を共有するかどうかを設定します。チェックすると、クライアントからサーバーの共有プリンターを指定してプリンタードライバーをインストールする場合に、サーバー側で設定した My タブの配置をクライアント側の My タブの配置に引き継ぎます。また、クライアント側の My タブ編集キーを非表示にして、クライアントユーザーによる編集を禁止します。 ［編集を禁止する］：各ユーザーによる編集の禁止 / 許可を設定します。チェックすると、My タブ編集キーを非表示にして、ユーザーによる編集を禁止します。 ［説明文を表示する］：My タブ上の説明文の表示 / 非表示を設定します。チェックすると、My タブの説明文を表示します。
［不定形サイズの登録...］	不定形サイズの用紙を登録します。

参考

- ［メタファイル（EMF）スプールを行う］、［不定形サイズの登録］は PCL ドライバーのみの機能です。
- PS/XPS ドライバーで EMF スプール機能を利用する場合は、［詳細設定］タブにある［詳細な印刷機能を有効にする］を ON にして、EMF スプール機能を有効にしてください。
- ［サーバーのプロパティ］は、Windows Vista/Server 2008 の場合、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリックして開きます。Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］をクリックします。
- プリンタードライバーで使用できるサーバープロパティ用紙は、以下の範囲です。
  プリンタードライバーで設定できる不定形サイズの範囲：
  幅：9.00 ～ 31.11 cm、長さ：13.97 ～ 45.72 cm
  プリンタードライバーで設定できる長尺紙サイズの範囲：
  幅：21.00 ～ 29.70 cm、長さ：45.73 ～ 120.0 cm
  大判用紙サイズの設定範囲 1：
  幅：9.00 ～ 20.90 cm、長さ：45.73 ～ 118.90 cm
  大判用紙サイズの設定範囲 2：
  幅：29.71 ～ 31.12 cm、長さ：45.73 ～ 118.90 cm
  大判用紙サイズの設定範囲 3：
  幅：31.12 ～ 84.10 cm、長さ：13.97 ～ 118.90 cm
  上記の不定形サイズや長尺紙サイズの範囲で登録した用紙は、プリンタードライバーの［原稿サイズ］、［用紙サイズ］の両方で選択できますが、大判用紙サイズの範囲で登録した用紙サイズは、プリンタードライバーの［原稿サイズ］でのみ選択できます。
- My タブ上の機能の配置は、アプリケーション CD-ROM に含まれている、Driver Packaging Utility で設定することにより、各ユーザーが同じ配置で使用するようにもできます。
  Driver Packaging Utility でドライバーパッケージを作成するときに、パッケージの元となるプリンタードライバーを希望する My タブ配置に変更し、Driver Packaging Utility の設定でプリンターの設定をコピーするように設定してください。Driver Packaging Utility の設定については、Driver Packaging Utility のヘルプをごらんください。

参照

My タブの機能については、9-10 ページをごらんください。

9.2.4 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

➔ Windows 2000/NT 4.0 の場合は、［スタート］をクリックし、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［印刷設定 ...］をクリックします。

➔ Windows NT 4.0 の場合は、プリンターのアイコンを右クリックして［ドキュメントの既定値 ...］をクリックします。

プリンターの［印刷設定］ダイアログが表示されます。

3 機能の設定を変更し、［OK］をクリックして終了します。

変更した設定が、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

参照

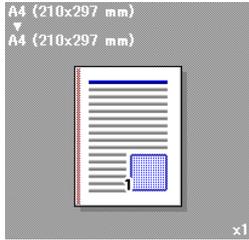
プリンタードライバーの機能や設定項目については、9-10 ページをごらんください。

プリンタードライバーには、設定した内容を［お気に入り］として保存する機能もあります。詳しくは、9-8 ページをごらんください。

9.3 共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。

項目名	機能
[OK]	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
[キャンセル]	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
[ヘルプ]	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
[追加 ...]（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。 [呼び出す項目] では、[お気に入り] を選択したときに呼び出す設定項目をチェックします。[呼び出す項目] で設定できる機能は以下の通りです。 ・ 原稿サイズ、原稿の向き ・ 部数 ・ 用紙種類設定のリスト情報 ・ オーバーレイのリスト情報 ・ ページ単位設定のリスト情報 ・ ウォーターマークのリスト情報と共有設定 チェックしない項目の設定値は、[お気に入り] を選んでも値は変更されません。
[編集 ...]（お気に入り）	保存してある設定を変更します。 [オプション ...] で、[呼び出す項目] のチェックの設定を変更できます。
[標準に戻す]	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。

項目名	機能
ビュー	［用紙ビュー］を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。 ［本体ビュー］を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図が表示されます。 用紙： 本体：
［本体情報］	PageScope Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。

9.4　設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。印刷ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定 ...］（Windows NT 4.0 の場合は、［ドキュメントの既定値 ...］）を指定して開きます。

9.4.1　My タブ

My タブは、表示内容をカスタマイズできるタブです。プリンタードライバーの設定機能のうち、よく使う機能を My タブ画面に登録しておくことで、1 画面で設定変更ができるようになり、プリンタードライバーの使い勝手が良くなります。

機能名称	選択肢	説明
［もっと詳しく］	－	My タブのヘルプを表示します。
［次回から表示しない］	ON/OFF	［もっと詳しく］を含む説明欄を表示しないようにします。
［My タブの編集 ...］	－	My タブに表示する機能を登録 / 削除します。 詳しくは、9-11 ページをごらんください。

参考

- ［もっと詳しく］、［次回から表示しない］を含む説明欄は、［初期設定］タブの［My タブの設定］で［説明文を表示する］が無効になっている場合は表示されません。
- ［My タブの編集 ...］は、［初期設定］タブの［My タブの設定］で［編集を禁止する］が有効になっている場合は表示されません。
- 上記以外の項目は、［My タブの編集 ...］でカスタマイズされている部分で、登録している内容によって異なります。

参照

［初期設定］タブについては、9-5 ページをごらんください。

［My タブ］の編集

参考

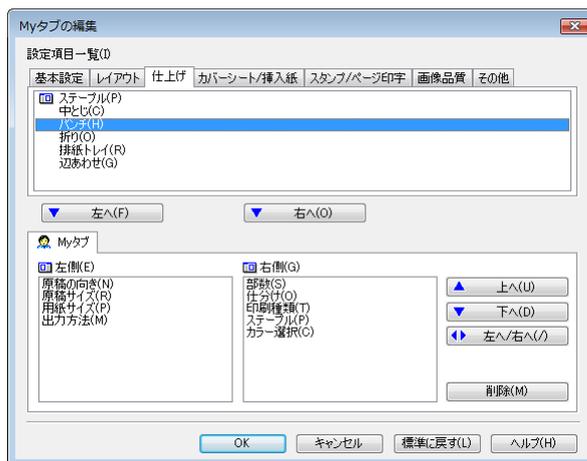
- ［My タブの編集 ...］は、［初期設定］タブの［My タブの設定］で［編集を禁止する］が有効になっている場合は表示されません。

1　［My タブ］で［My タブの編集 ...］をクリックします。

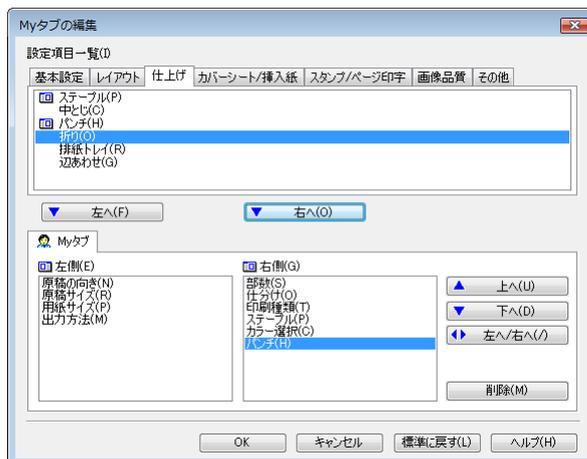
2　［My タブ］に登録したい機能を選択し、［左へ］または［右へ］をクリックします。

➔ 機能は［設定項目一覧］の各タブに表示される内容から選択します。

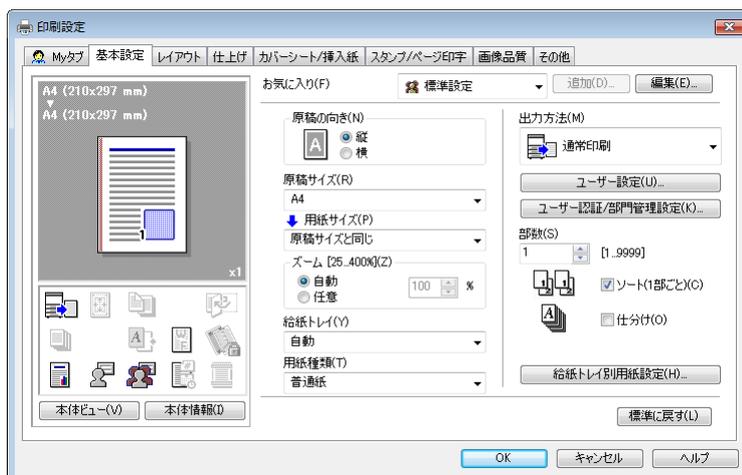
➔ ［左へ］をクリックすると［My タブ］画面の左側に、［右へ］をクリックすると［My タブ］画面の右側に配置できます。

➔ 既に［My タブ］に登録されている機能の前には、［左側］/［右側］のアイコンが表示されます。

3　登録した機能の配置を変更します。

➔ 位置を変更する場合は、移動したい機能を選択し、［上へ］、［下へ］、［左へ / 右へ］をクリックします。

➔ ［My タブ］から削除する場合は、削除したい機能を選択し、［削除］をクリックします。

4　［OK］をクリックします。

9.4.2　［基本設定］タブ

用紙のサイズや種類、出力方法など、印刷の基本機能を設定します。

機能名称	選択肢	説明
［原稿の向き］	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
［原稿サイズ］	定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
［用紙サイズ］	本機で利用できる定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合で、ズームが［自動］のときは、サイズに合わせて拡大、縮小されます。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
［ズーム］	25 ～ 400%	拡大・縮小率を設定します。
［給紙トレイ］	自動、トレイ 1 ～ 4、LCT、手差し	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［用紙種類］	本機で利用できる用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。 給紙トレイが［自動］のときのみ変更できます。給紙トレイが［自動］以外の設定の場合は、［給紙トレイ別用紙設定］で登録されている用紙種類になります。
［出力方法］	［通常印刷］	すぐに印刷されます。
	［セキュリティー印刷］	印刷文書を本機の［セキュリティー文書ボックス］に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで［ID］と［パスワード］入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
	［ボックス保存］	印刷文書を本機のボックスに保存します。
	［ボックス保存 & 印刷］	ボックスに保存すると同時に印刷もします。
	［確認印刷］	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
	［認証 & プリント］	印刷文書を本機の［認証 & プリントボックス］に保存します。印刷するときに本機の操作パネルでユーザー認証が必要になります。
［ユーザー設定 ...］	－	［セキュリティー印刷］や［ボックス保存］をする場合の ID ／パスワードやファイル名／ボックスナンバーを設定します。
［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］	－	本機で［ユーザー認証］を設定している場合のユーザー名／パスワード、本機で［部門管理］を設定している場合の部門名／パスワードを設定します。

機能名称	選択肢	説明
［部数］	1 ～ 9999	印刷する部数を設定します。
［ソート（1 部ごと）］	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
［仕分け］	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。
［給紙トレイ別用紙設定 ...］	［用紙種類設定］	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	［用紙種類］	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。

参考

- 用紙サイズ「12 × 18」は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2mm です。
- ［原稿サイズ］で A0、A1、A2、B1、B2、B3 が選択できますが、印刷は、［用紙サイズ］で指定する用紙サイズに縮小されます。［用紙サイズ］で［原稿サイズと同じ］は選択できません。
  また、サーバープロパティ用紙に登録した大判用紙サイズについても、同様に［用紙サイズ］で指定する用紙サイズに縮小されます。サーバープロパティ用紙は、［初期設定］タブで［サーバープロパティ用紙を使用する］に設定してある場合に選択できます。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズは、用紙サイズまたは原稿サイズの選択肢から［不定形サイズ］を選択するとサイズを指定して登録できます。
- 定形サイズ全面に相当するデータを印刷したい場合は、原稿サイズで各定形用紙の「W」を選択することで原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。
  たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーで［原稿サイズ］を［A4W］、［給紙トレイ］を使用するトレイに設定します。
  本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの［基本設定］画面の［用紙］でトレイを選択して［選択トレイの設定変更］－［ワイド紙］で［A4W］を指定し、［選択サイズ］で［自動検出］が選択され、A3 が表示されていることを確認します。
  セットしている用紙が 12-1/4 × 18 の場合、［選択サイズ］で［12-1/4 × 18］を選択する必要があります。
  印刷用紙が不定形サイズの場合は、手差しトレイを使用し、［選択トレイの設定変更］－［ワイド紙］で［A4W］、［サイズ変更］で使用する用紙サイズを入力します。
- 用紙種類の［2 面目］は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。
- 用紙種類の［ユーザー紙］は、よく使う用紙種類として本機側に登録されている用紙種類です。ユーザー紙の登録については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

参照

トレイにセット可能な用紙サイズについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

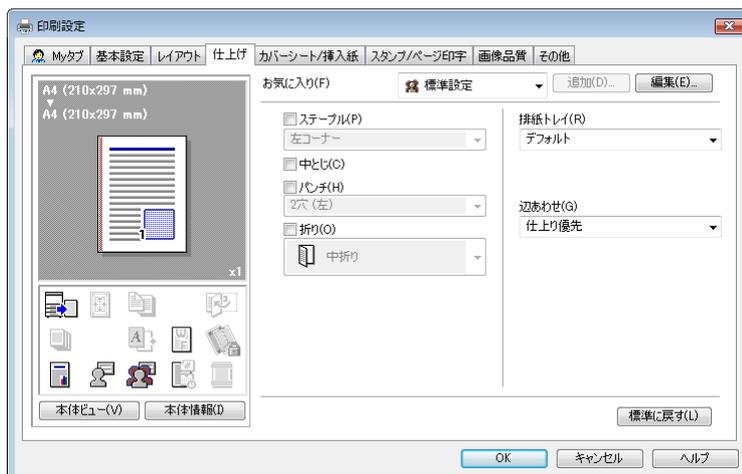
出力方法について詳しくは、12-2 ページをごらんください。

9.4.3 ［レイアウト］タブ

機能名称	選択肢	説明
［ページ割付］	2 in 1、4 in 1、6 in 1、9 in 1 、16 in 1、2 × 2、3 × 3、4 × 4	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付ける、または 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。［ページ割付詳細 ...］でページ順序や境界枠の有無が設定できます。
［ページ割付詳細 ...］	［ページ割付］	ページ割付の条件を選択します。
	［順序］	割付順序を設定します。ページ割付で N in 1 が設定されているときに設定できます。
	［境界］	境界線の有無と線の種類を設定します。ページ割付で N in 1 が設定されているときに設定できます。
	［のりしろ線］	のりしろの有無を設定します。ページ割付で N × N が設定されているときに設定できます。
［180 度回転］	ON/OFF	180 ˚ 回転して印刷します。
［白紙抑制］	ON/OFF	データに白ページがある場合、印刷しません。
［章分け］	ON/OFF	オモテ面に印刷するページを指定します。印刷種類が［両面］、［小冊子］のときに設定できます。
［ページ番号入力］	－	［章分け］を ON にしたとき、オモテ面に印刷するページを入力します。
［印刷種類］	［片面］、［両面］、［小冊子］	両面印刷や小冊子印刷を設定します。
［開き方向 / とじ方向］	［自動］、［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］	とじ位置を設定します。
［とじしろ］	ON/OFF	とじしろ（余白）を設定します。［とじしろ設定 ...］で余白量を設定でます。
［とじしろ設定 ...］	［シフトモード］	とじしろの余白を空けるために、画像をどのように処理するかを選択します。
	［表面］/［裏面］	とじしろの値を設定します。両面印刷の場合、［表面と裏面を同じ値にする］のチェックボックスを OFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。
	［単位］	サイズを設定する単位を選択します。
［画像シフト］	ON/OFF	印刷イメージを全体にずらして印刷します。［画像シフト設定 ...］でずれ量の詳細が設定できます。
［画像シフト設定 ...］	［単位］	サイズを設定する単位を選択します。
	［表面］/［裏面］	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、［表面と裏面を同じ値にする］のチェックボックスを OFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。

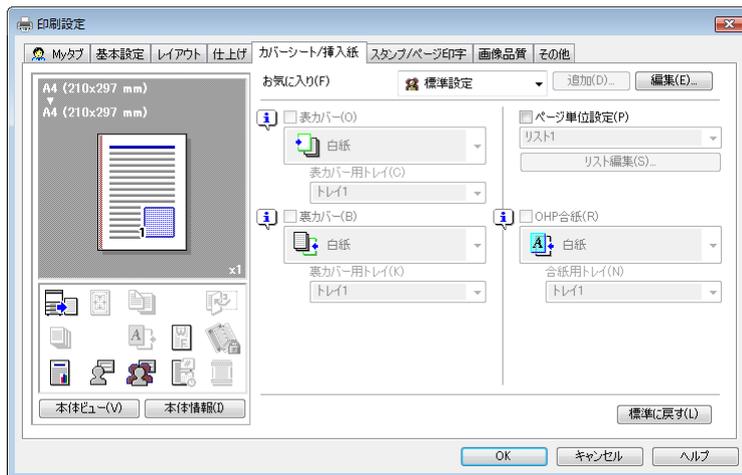
参考

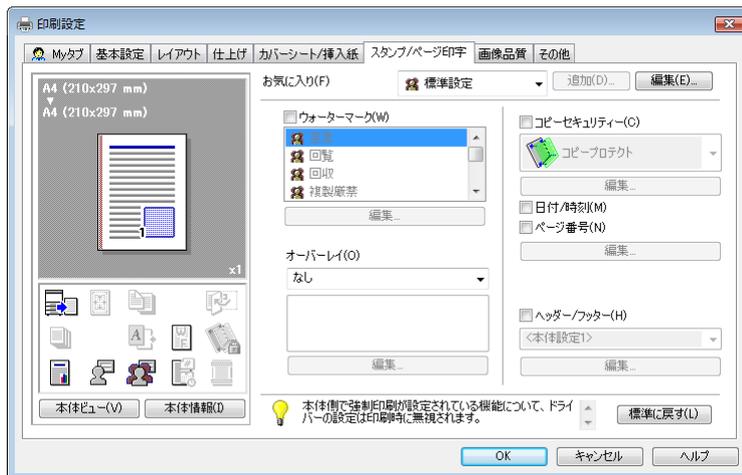
- ［ページ割付］で 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷する「2 × 2、3 × 3、4 × 4」の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。
- ［白紙抑制］の機能は PCL/XPS ドライバーの機能です。
- とじしろの位置は、［開き方向 / とじ方向］の設定に連動します。

9.4.4 ［仕上げ］タブ

機能名称	選択肢	説明
［ステープル］	ON/OFF、左コーナー /右コーナー /2 点（左）/2 点（右）/2 点（上）	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。
［中とじ］	ON/OFF	中とじを設定します。
［パンチ］	ON/OFF、2 穴（左）/2 穴（右）/2 穴（上）/3 穴（左）/3 穴（右）/3 穴（上）/4 穴（左）/4 穴（右）/4 穴（上）	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。
［折り］	ON/OFF、［中折り］	折りを設定します。 ドロップダウンリストで折りの状態を指定できます。
［排紙トレイ］	デフォルト、トレイ 1 ～ 3	用紙を排出するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［辺あわせ］	［仕上り優先］/［生産性優先］	両面印刷する場合、辺あわせ（とじ位置補正）の方法を設定します。［仕上り優先］にすると、全データ受信後に辺あわせ処理を行います。［生産性優先］にすると、データを受信／印刷しながら処理します。

参考

- ［ステープル］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** が装着されている場合のみ使用可能となります。
- ［パンチ］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**パンチキット**が装着されている場合のみ使用可能となります。
- ［中とじ］、［折り］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**中綴じ機**が装着されている場合のみ使用可能となります。

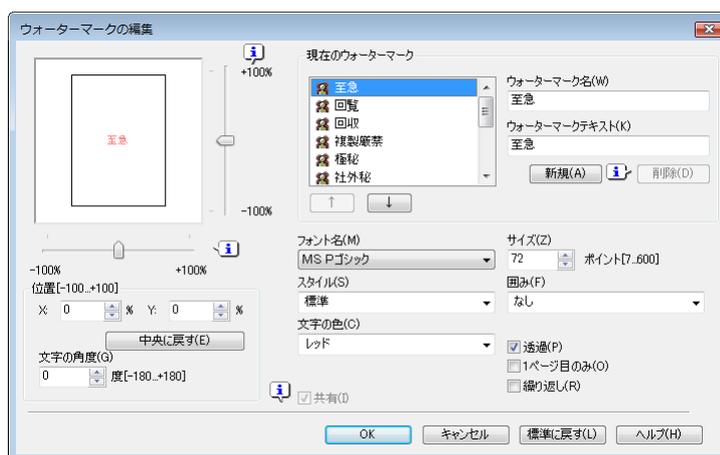
9.4.5 ［カバーシート / 挿入紙］タブ

機能名称	選択肢	説明
［表カバー］	ON/OFF、［白紙］/［印刷］	表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで［自動］以外の設定が選択されているときに指定できます。
［表カバー用トレイ］	トレイ 1 ～ 4、LCT、手差し	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［裏カバー］	ON/OFF、［白紙］/［印刷］	裏表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで［自動］以外の設定が選択されているときに指定できます。
［裏カバー用トレイ］	トレイ 1 ～ 4、LCT、手差し	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［ページ単位設定］	ON/OFF	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。［リスト編集 ...］でページごとに条件を設定したリストを作成できます。
［リスト編集 ...］	［リスト名］	編集するリスト名を選択します。設定内容が一覧されます。
	［リスト名編集 ...］	リスト名を変更します。
	［上へ］/［下へ］	選択している条件行の位置を入替えます。ページ番号が小さい順に並ぶように順番を変更してください。
	［追加］	条件を追加します。条件は、［追加 / 編集］の項目で設定します。
	［削除］	選択している条件行を削除します。
	［ページ番号］	ページ番号を半角数字で入力します。複数のページ番号を入力するときは、カンマで区切るか、ハイフンで範囲を指定します。
	［印刷種類］	［設定変更］のドロップダウンリストで印刷種類を設定します。
	［給紙トレイ］	［設定変更］のドロップダウンリストで使用する給紙トレイを設定します。
	［ステープル］	［設定変更］のドロップダウンリストでステープルの数と位置を設定します。
［OHP 合紙］	ON/OFF、［白紙］	OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。 用紙種類で［OHP フィルム］が選択されているときに指定できます。
［合紙用トレイ］	トレイ 1 ～ 4、LCT	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

9.4.6 ［スタンプ / ページ印字］タブ

機能名称	選択肢	説明
［ウォーターマーク］	ON/OFF	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。［編集 ...］でウォーターマークの作成、変更、削除ができます。
［編集 ...］	－	詳しくは、9-18 ページをごらんください。
［オーバーレイ］	［なし］	オーバーレイ機能を使用しません。
	［PC に画像を作成］	この設定で原稿を印刷することでオーバーレイ用のデータを作成します。作成したデータはコンピューターに保存します。
	［PC の画像を印刷］	［PC に画像を作成］で作成したオーバーレイ用のデータと原稿を重ねて印刷します。 この設定を選択すると、コンピューターに保存されているオーバーレイ用のデータが下のリストに表示され、選択できるようになります。 ［編集 ...］でオーバーレイ印刷の条件を指定できます。
	［装置の画像を印刷］	本機のオーバーレイ用のデータと原稿を重ねて印刷します。 ［編集 ...］で本機に登録されているオーバーレイ用のデータや条件を指定できます。
［編集 ...］	－	詳しくは、9-19 ページをごらんください。
［コピーセキュリティー］	ON/OFF、［コピープロテクト］ / ［繰り返しスタンプ］ / ［コピーガード］ / ［パスワードコピー］	コピーを防止するための特殊なパターンやパスワードを設定します。［編集 ...］で印刷する項目や位置、合成方法、パスワードを指定できます。 ［パスワードコピー］を選択すると、［編集 ...］画面が表示され、パスワードを設定できます。
［編集 ...］	－	詳しくは、9-21 ページをごらんください。
［日付 / 時刻］	ON/OFF	日付や時刻を付けて印刷します。［編集 ...］で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
［ページ番号］	ON/OFF	ページ番号を付けて印刷します。［編集 ...］で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
［編集 ...］	－	詳しくは、9-23 ページをごらんください。
［ヘッダー / フッター］	本体設定 1 ～ 20	ヘッダー / フッターを付けて印刷します。ヘッダー / フッターの内容は本体で設定されている一覧から選択します。［編集 ...］で印刷する項目や印刷するページを指定できます。

機能名称	選択肢	説明
［編集 ...］	［装置情報取得］	本機と通信し、本機のヘッダー設定を読み取ります。
	［部数管理番号］	複数部数を印刷する場合、部数番号をヘッダー / フッターに印刷します。
	［編集 ...］	部数管理番号の条件を設定します。
	［印字ページ］	印刷するページを設定します。
	［文字の色］	印刷する文字の色を設定します。

参考

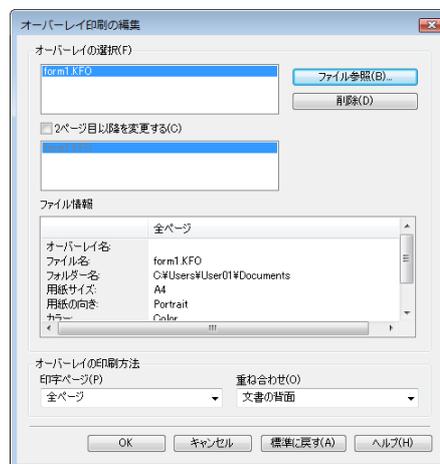
- ［オーバーレイ］機能の［装置の画像を印刷］は PCL ドライバーのみの機能です。
- ［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
  また、［装置情報取得］を利用するときは、本機の［管理者設定］で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［使用しない］に設定してください。詳しくは、13-56 ページをごらんください。
- ［コピーガード］、［パスワードコピー］は、オプションの**セキュリティーキット SC-507** を装着し、本機の［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［セキュリティー詳細］で、［パスワードコピー］および［コピーガード］を［する］に設定している場合に使用できます。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

ウォーターマークの編集

機能名称	説明
［ウォーターマーク名］	名称を入力します。 30 文字まで入力できます。
［ウォーターマークテキスト］	ウォーターマークのテキストを入力します。 30 文字まで入力できます。
［新規］	新規ウォーターマークを作成します。
［削除］	選択しているウォーターマークを削除します。
［ ↑ ］/［ ↓ ］	リストに表示する順番を入れ替えます。よく使う項目を上に移動できます。
［位置］	上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。
［中央に戻す］	位置を中央に戻します。
［文字の角度］	印刷角度を設定します。
［フォント名］	フォントを設定します。
［サイズ］	サイズを設定します。
［スタイル］	フォントのスタイルを設定します。
［囲み］	囲みスタイルを設定します。

機能名称	説明
［文字の色］	文字色を設定します。
［透過］	ウォーターマークを透過イメージで印刷します。
［1 ページ目のみ］	ウォーターマークを 1 ページ目のみ印刷します。
［繰り返し］	ウォーターマークを 1 ページの中で繰り返し印刷します。
［共有］	ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。

オーバーレイの編集

［編集 ...］で表示される画面はオーバーレイの選択肢［PC の画像を印刷］、［装置の画像を印刷］で異なります。

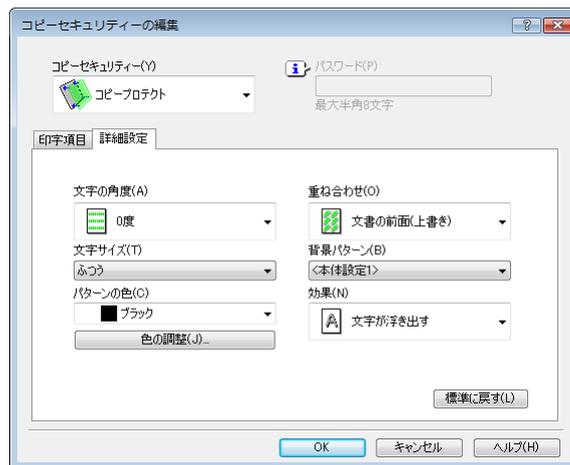
［PC の画像を印刷］の場合：
オーバーレイ印刷の条件を指定できます。オーバーレイ用のデータがリストに表示されないときは、ファイルを指定して読込みます。

機能名称	説明
［ファイル参照 ...］	オーバーレイファイルを読込みます。
［削除］	選択しているオーバーレイを削除します。
［2 ページ目以降を変更する］	2 ページ目以降のオーバーレイファイルを変更する場合に選択します。
［ファイル情報］	選択しているオーバーレイの情報を表示します。
［印字ページ］	印刷するページを設定します。
［重ね合わせ］	印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。

［装置の画像を印刷］の場合：
本機に登録されているオーバーレイを選択し、オーバーレイ印刷の条件を指定できます。

機能名称	説明
［装置情報取得］	本機と通信し、本機のオーバーレイ設定を読み取ります。
［オーバーレイ情報］	選択しているオーバーレイの情報を表示します。
［表面に印刷する］/［裏面に印刷する］	表面 / 裏面それぞれの印刷の有無を設定します。
［オーバーレイ名］	本機に登録されているオーバーレイ名を選択します。
［参照 ...］	選択しているオーバーレイの詳細情報を表示します。
［カラー選択］	オーバーレイの印刷色を選択します。
［濃度］	オーバーレイの印刷濃度を選択します。
［重ね合わせ］	印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。
［表面と同じオーバーレイを使用する］	チェックボックスを OFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。
［印字ページ］	印刷するページを設定します。

参考
- ［オーバーレイ］機能の［装置の画像を印刷］は PCL ドライバーのみの機能です。
- ［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。また、［装置情報取得］を利用するときは、本機の［管理者設定］で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［使用しない］に設定してください。詳しくは、13-56 ページをごらんください。

コピーセキュリティーの編集

機能名称	説明
[コピーセキュリティー]	不正コピーを防止するための機能を選択します。 [コピープロテクト]:指定した文字を背景に合成して印刷します。印刷時には目立ちませんが、文書が不正コピーされたときに文字が浮き出すような効果が得られます。 [繰り返しスタンプ]:指定した文字を合成して印刷します。印刷時から判別できる状態です。 [コピーガード]:コピーガード用のパターンを合成して印刷します。本機能に対応した装置で文書が不正コピーされたときに、合成されたパターンが読み取られ、コピーが中止されます。 [パスワードコピー]:パスワードコピー用のパターンを合成して印刷します。 本機能に対応した装置で文書が不正コピーされたときに、合成されたパターンが読み取られ、パスワードの入力が必要になります。印刷時に設定したパスワードを入力することでコピーできます。
[パスワード]	[パスワードコピー] のパスワードを入力します。
[文字列]	選択した文字列をパターンに埋め込みます。あらかじめ用意されている文字列(定型スタンプ)か、本機に登録されている文字列(登録スタンプ)を指定できます。
[日付 / 時刻]	日時と時刻をパターンに埋め込みます。[書式] の [編集 ...] で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。
[シリアル番号]	本機のシリアル番号をパターンに埋め込みます。
[部数管理番号]	複数部数を印刷する場合、部数番号をパターンに埋め込みます。[開始番号] の [編集 ...] で開始番号や表示桁数を設定できます。
[ジョブ番号]	自動的に割り付けられる文書の印刷ジョブ番号をパターンに埋め込みます。
[装置情報取得]	本機と通信し、本機のコピーセキュリティー設定を読み取ります。

機能名称	説明
[文字の角度]	パターンの角度を指定します。
[文字サイズ]	パターンの文字サイズを指定します。
[パターンの色]	パターンの色を設定します。[色の調整] で濃度やコントラストを設定できます。
[重ね合わせ]	パターンと原稿との重ね合わせ順を設定します。
[背景パターン]	背景のパターンを設定します。
[効果]	パターンがどのように埋め込まれるかを設定します。

参考

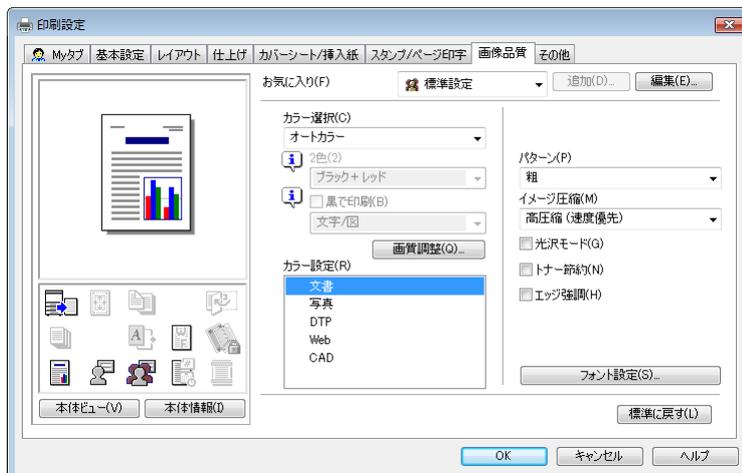
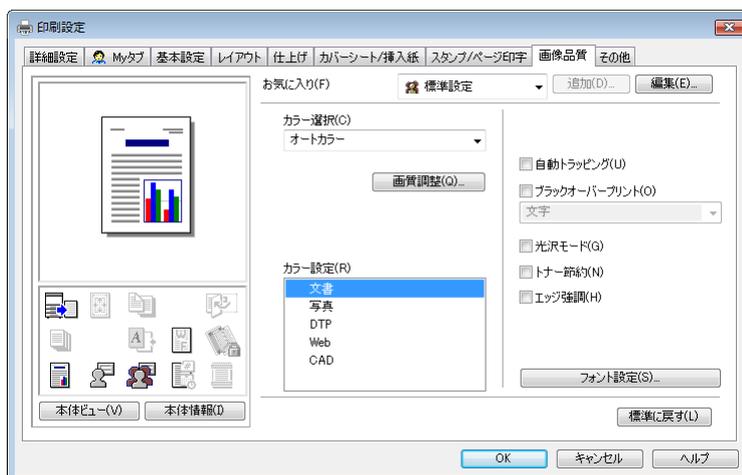
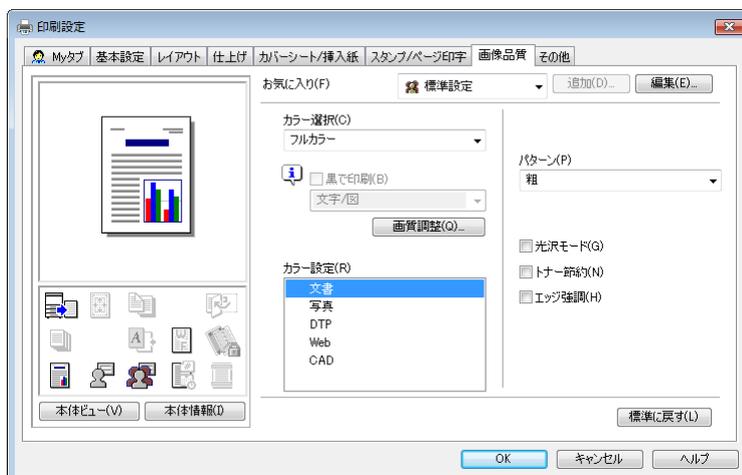
- [装置情報取得] の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
  また、[装置情報取得] を利用するときは、本機の [管理者設定] で [システム連携] − [OpenAPI 設定] − [認証] を [使用しない] に設定してください。詳しくは、13-56 ページをごらんください。
- 選択した [コピーセキュリティー] の機能により、設定できる項目が異なります。

日付 / 時刻 / ページ番号の編集

機能名称	説明
[書式]	印刷する日時と時刻の書式を表示します。[編集 ...] で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。
[印字ページ]	日時と時刻を印刷するページを設定します。
[文字の色]	印刷する文字の色を設定します。
[印字位置]	印刷する位置を設定します。
[印刷開始ページ]	ページ番号印刷の開始ページを設定します。
[印刷開始番号]	ページ番号印刷の開始番号を設定します。
[カバーシートへの印字]	カバーシートを付けている場合、表カバーや裏カバーにページ番号を印刷するかどうかを設定します。
[文字の色]	印刷する文字の色を設定します。
[印字位置]	印刷する位置を設定します。

9.4.7　［画像品質］タブ

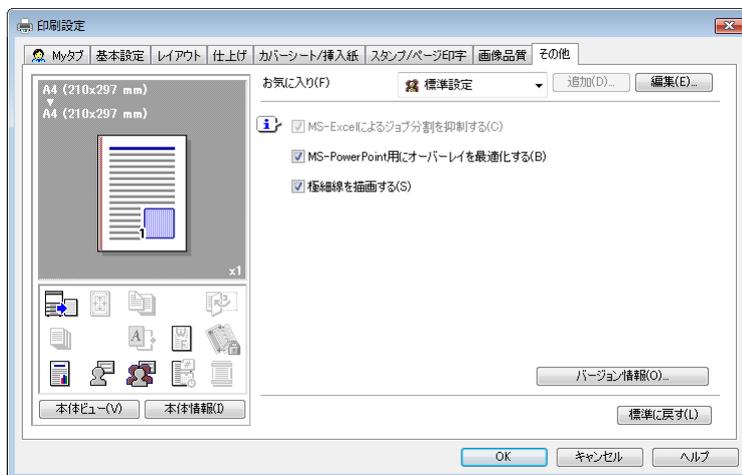
表示される機能が、PCL/PS/XPS ドライバーで異なります。

PCL ドライバー

PS ドライバー

XPS ドライバー

機能名称	選択肢	説明
［カラー選択］	［オートカラー］	印刷データで使用されている色を判断し、印刷します。
	［フルカラー］	印刷データ（カラー / グレースケール）に関わらず、フルカラーのプロセス（YMCK）で印刷します。
	［グレースケール］	グレースケールで印刷します。
	［2 色カラー］	2 色で印刷します。
［2 色］	［ブラック+レッド］ ［ブラック+グリーン］ ［ブラック+ブルー］ ［ブラック+シアン］ ［ブラック+マゼンタ］ ［ブラック+イエロー］	［カラー選択］で［2 色カラー］を選択したときに設定できます。 カラー部分とグレースケール部分を指定した 2 色で印刷します。
［黒で印刷］	ON/OFF ［文字］、［文字 / 図］、［全て］	［カラー選択］で［グレースケール］を選択したときに設定できます。 選択した条件に合わせ、色付き文字や線、図形などが薄く印刷されないようにします。
［画質調整 ...］	−	画質を調整します。文書全体を調整する［簡易］と文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整する［詳細］を選択できます。 PS ドライバーは、プロファイルの管理も行えます。
［カラー設定］	［文書］、［写真］、［DTP］、［Web］、［CAD］	選択した原稿に適した画質で印刷します。 ［文書］：文字の多い文書に適した処理です。 ［写真］：写真に適した処理です。 ［DTP］：DTP で作成した文書に適した処理です。 ［WEB］：WEB ページの印刷に適した処理です。 ［CAD］：CAD データの印刷に適した処理です。
［パターン］	［密］、［粗］	グラフィックパターンの細かさを設定します。
［イメージ圧縮］	［標準（品質優先）］、［高圧縮（速度優先）］	グラフィックイメージの圧縮率を設定します。
［自動トラッピング］	ON/OFF	絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。
［ブラックオーバープリント］	ON/OFF ［文字］、［文字 / 図］	黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。 重なる条件を、文字だけにするか、文字と図にするかを選択できます。
［光沢モード］	ON/OFF	光沢効果を加えて印刷します。
［トナー節約］	ON/OFF	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
［エッジ強調］	ON/OFF	文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。
［フォント設定 ...］	−	コンピューターから本機にダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。また、印刷時に、TrueType をプリンターフォントに置き換えるかを設定します。 PCL ドライバーで印刷時に文字化けが発生する場合は、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。

参考

- ［カラー選択］の［2 色カラー］の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。［2 色カラー］を選択すると、2 色の組み合わせを設定できます。
- ［カラー選択］の［フルカラー］の選択肢は PS/XPS ドライバーの機能です。
- ［カラー選択］の［オートカラー］の選択肢は PCL/PS ドライバーの機能です。
- ［カラー選択］で［グレースケール］を選択したときに設定できる［黒で印刷］の機能は PCL/XPS ドライバーの機能です。
- ［パターン］の機能は PCL/XPS ドライバーの機能です。
- ［イメージ圧縮］の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- ［自動トラッピング］、［ブラックオーバープリント］の機能は PS ドライバーのみの機能です。

- PS ドライバは、[画質調整]でプロファイルの管理も行えます。詳しくは、12-36 ページ、12-38 ページをごらんください。
- [フォント設定]の機能は、PCL/PS ドライバーの機能です。

9.4.8　[その他]タブ

機能名称	選択肢	説明
[MS-Excel によるジョブ分割を抑制する]	ON/OFF	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。
[MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する]	ON/OFF	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。
[極細線を描画する]	ON/OFF	縮小印刷する場合に、細い線がかすれることがあります。この機能にチェックすると、細い線が消えてしまうことを防ぎます。
[バージョン情報...]	−	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

参考

- [MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する]の機能は PCL/XPS ドライバーの機能です。
- [極細線を描画する]の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- [MS-Excel によるジョブ分割を抑制する]、[MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する]の設定は、Windows XP Professional ×64、Windows Vista ×64、Windows Server 2003 ×64、Windows Server 2008 ×64 では使用できません。
- [MS-Excel によるジョブ分割を抑制する]は、[プリンタ](Windows XP/Server 2003 の場合は[プリンタと FAX])ウィンドウで、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ変更できます。

10 Mac OS X の印刷機能

10　Mac OS X の印刷機能

OS X 用の PS プリンタードライバーの機能について説明します。

10.1　印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1　アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから [印刷]（または [プリント]）をクリックします。

➔ メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

[プリント] 画面が表示されます。

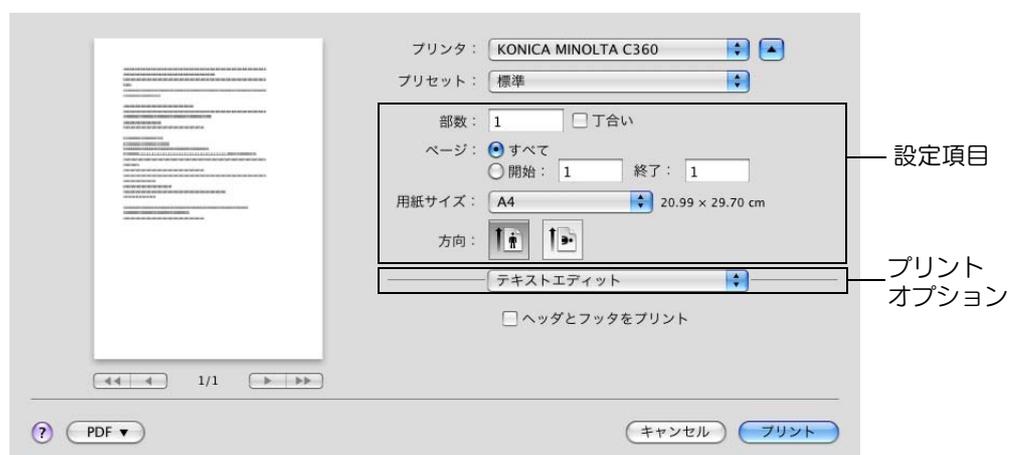
2　[プリンタ :] で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。

➔ プリンターが表示されないときは、[プリントとファクス]、[プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントセンター] でプリンターを選択します。詳しくは、6-3 ページ、6-10 ページをごらんください。

➔ [プリント] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

3　印刷するページ範囲や部数を設定します。

➔ OS X10.5 で設定項目が表示されていない場合は、[プリンタ :] 右側の をクリックします。

4　必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ プリントオプションのポップアップメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、10-9 ページをごらんください。

➔ [プリント] 画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5　[プリント] をクリックします。

印刷が実行され、本機のデータランプが点滅します。

➔ [インストール可能なオプション] で [セキュリティー印刷のみ許可] にチェックがしてある場合は、[セキュリティー印刷] 画面が表示されます。手順 6 へ進みます。

6　文書の［ID:］と［パスワード :］を入力し、［OK］をクリックします。
データが送信され、本機の［セキュリティー文書ボックス］に保存されます。

参照

［インストール可能なオプション］については、10-4 ページをごらんください。
［セキュリティー印刷］については、12-5 ページをごらんください。

10.2　プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

重要
本機に装着されているオプションが［プリンタ情報］で設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

10.2.1　オプション設定

1 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面）を開きます。

➔ ［プリントとファクス］画面は、［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］から開きます（OS X 10.4/10.5）。

➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面は、［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から開きます。

2 ［プリンタ情報］画面を表示します。

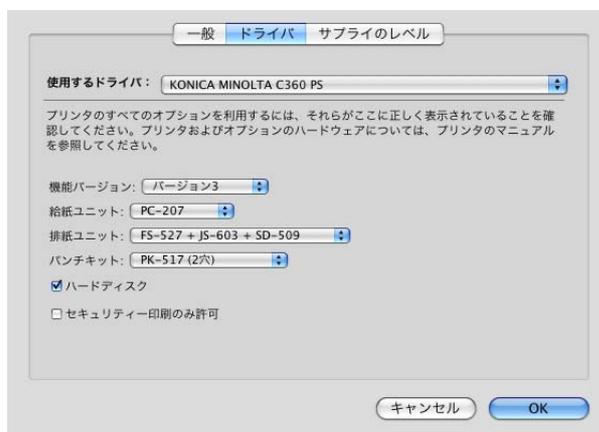
➔ ［プリントとファクス］画面の場合は、［オプションとサプライ ...］（OS X 10.5）、［プリンタ設定 ...］（OS X 10.4）をクリックします。

➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面の場合は、［プリンタ］メニューの［情報を見る］を選択します。

3 ［インストール可能なオプション］画面を表示します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ］をクリックします。

➔ OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、［インストール可能なオプション］を選択します。

4 装着しているオプションを設定します。

5 ［OK］または［変更を適用］をクリックしてから［プリンタ情報］画面を閉じます。

参考

- オプションの選択は必ず行ってください。
- ［機能バージョン］は、本機のバージョンに対応します。本機のバージョンは、操作パネルの**設定メニュー / カウンター**を押し、［装置情報表示］を押すと確認できます。［装置情報表示］が表示されない場合のバージョンは「バージョン 2」です。本書の内容は、バージョン 3 の機能に対応しています。
- ［セキュリティー印刷のみ許可］をチェックしてある場合は、セキュリティー印刷ジョブのみ許可されます。セキュリティー印刷については、12-5 ページをごらんください。

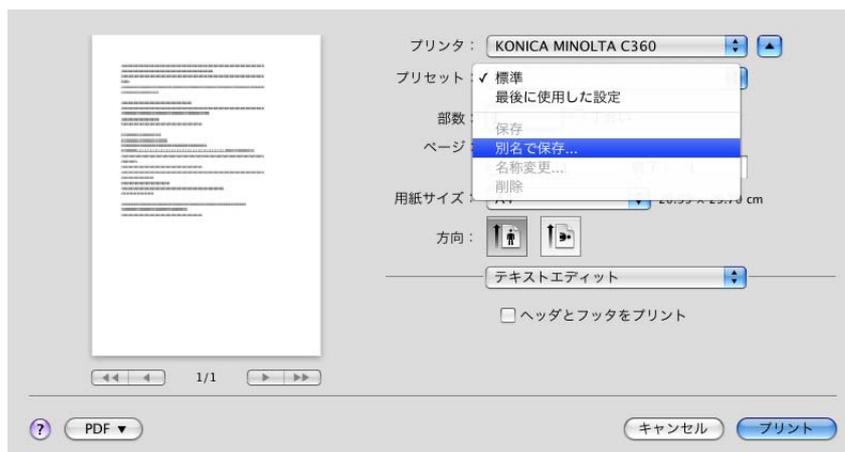
10.2.2 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS X の場合は、用紙の設定はデフォルト設定として登録できますが、そのほかの印刷機能の設定は［プリセット］機能で設定を保存し、必要に応じて呼出して利用します。

［ページ設定］画面の設定は、［設定 :］から［デフォルトとして保存］を選択することで保存します。

［プリント］画面から設定するプリンタードライバーの機能は、［プリセット :］から［別名で保存 ...］を選択することで保存します。

この設定は、使用するときに［プリセット :］から選択します。

参考

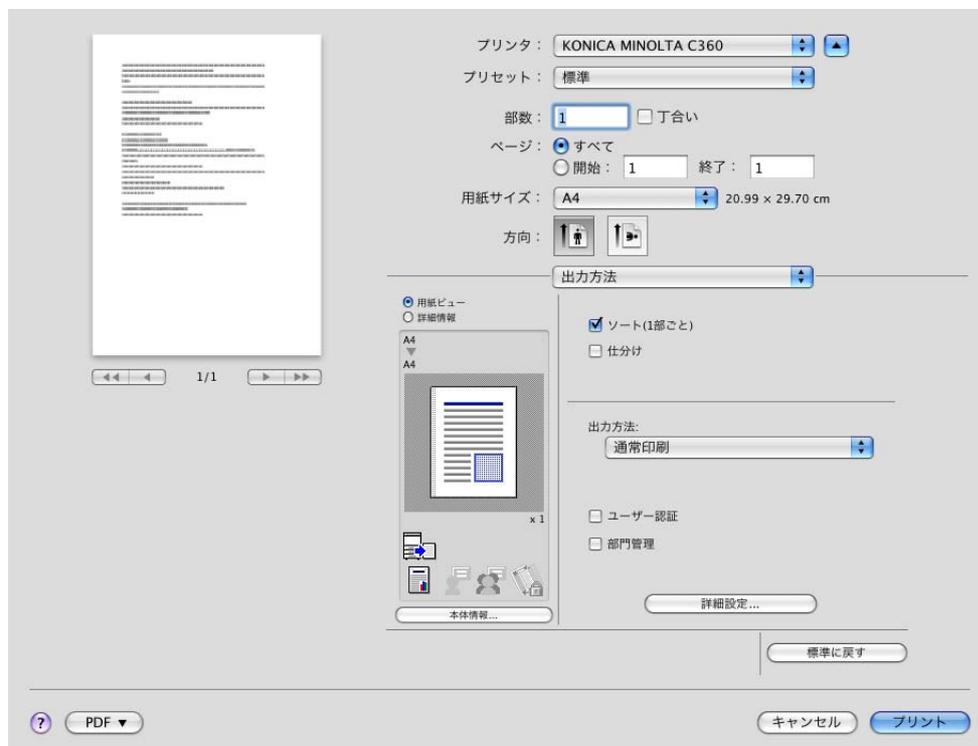
- ［ページ単位設定］のリストはプリセットに保存されません。

参照

プリンタードライバーの機能や設定項目については、10-9 ページをごらんください。

10.3　共通項目

［プリント］画面から設定する本機の固有機能（［出力方法］、［レイアウト / 仕上げ］、［給紙トレイ / 排紙トレイ］、［カバーシート / OHP 合紙］、［ページ単位設定］、［スタンプ / ページ印字］、［画像品質］）で表示される共通項目について説明します。

OS X 10.5：

OS X 10.4：

項目名	機能
［用紙ビュー］	現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。
［詳細情報］	現在の設定内容が文字で表示されます。
［本体情報 ...］	オプション装着の状態を表示します。
［標準に戻す］	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
［キャンセル］	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
［プリント］	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして印刷します。

参考

- 本体情報ダイアログの［装置情報取得］は本機と通信し、本機での設定の状態を読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

10.4　カスタムサイズの追加方法

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを登録します。

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

2 カスタムサイズの登録画面を開きます。
  ➔ OS X 10.4/10.5 の場合は、用紙サイズの一覧から［カスタムサイズを管理 ...］を選択します。
  ➔ OS X 10.2/10.3 の場合は、［設定 :］から［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3 ［+］（OS X 10.4/10.5）または［新規］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。

4 用紙サイズの名称を入力します。
  A4、Custom など、既存の定型紙の名称は使用できません。

5 各項目を設定します。
  ➔ ページサイズ（用紙サイズ）：任意の用紙サイズを設定します。
  ➔ プリンタの余白：用紙の余白を設定します。

6 ［OK］（OS X 10.4/10.5）または［保存］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。
  カスタム用紙サイズが登録され、［ページ属性］の用紙サイズで選択できるようになります。

参考

- OS X 10.5 の場合は、［プリント］画面の［用紙サイズ :］でも［カスタムサイズを管理 ...］を選択できます。

10.5　設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は［ページ設定］画面から指定する［ページ属性］と［プリント］画面から設定する［出力方法］、［レイアウト / 仕上げ］、［給紙トレイ / 排紙トレイ］、［カバーシート / OHP 合紙］、［ページ単位設定］、［スタンプ / ページ印字］、［画像品質］の各画面で設定します。

10.5.1　［ページ属性］

［ファイル］メニューの［ページ設定］（または［用紙設定］）で選択します。

機能名称	選択肢	説明
［用紙サイズ :］	本機で利用できる定型用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。
	カスタムサイズを管理（OS X 10.4/10.5）	
［方向 :］	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
［拡大縮小 :］	－ （OS X のバージョンで異なります。）	拡大・縮小率を設定します。

参考

- 用紙サイズ「12 × 18」は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2mm です。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、10-8 ページをごらんください。
- 定形サイズ全面に相当するデータを印刷したい場合は、用紙サイズで各定形用紙の「W」を選択することで原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。
  たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーで［用紙サイズ］を［A4W］、［給紙トレイ］を使用するトレイに設定します。
  本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの［基本設定］画面の［用紙］でトレイを選択して［選択トレイの設定変更］－［ワイド紙］で［A4W］を指定し、［選択サイズ］で［自動検出］が選択され、A3 が表示されていることを確認します。
  セットしている用紙が 12-1/4 × 18 の場合、［選択サイズ］で［12-1/4 × 18］を選択する必要があります。
  印刷用紙が不定形サイズの場合は、手差しトレイを使用し、［選択トレイの設定変更］－［ワイド紙］で［A4W］、［サイズ変更］で使用する用紙サイズを入力します。
- OS X 10.5 の場合は、プリント画面でも［用紙サイズ］と［方向］を設定できます。

参照

トレイにセット可能な用紙サイズについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

10.5.2 ［印刷部数と印刷ページ］

［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］）で選択します。

機能名称	選択肢	説明
［部数 :］	1 ～ 9999	印刷する部数を設定します。
［丁合い］	ON/OFF	この機能は設定しないでください。 ［出力方法］の［ソート（1 部ごと）］で設定してください。
［ページ :］	－	印刷するページ範囲を設定します。

参考

- OS X 10.5 の場合は、［用紙サイズ :］、［方向 :］も表示されますが、［ページ属性］の機能と同じです。
- OS X 10.5 で設定項目が表示されていない場合は、［プリンタ :］右側の ▼ をクリックします。

10.5.3 ［出力方法］

機能名称	選択肢	説明
［ソート（1 部ごと）］	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
［仕分け］	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。

機能名称	選択肢	説明
［出力方法 :］	［通常印刷］	すぐに印刷されます。
	［セキュリティー印刷］	印刷文書を本機の［セキュリティー文書ボックス］に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
	［ボックス保存］	印刷文書を本機のボックスに保存します。
	［ボックス保存 & 印刷］	ボックスに保存すると同時に印刷もします。
	［確認印刷］	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
	［認証 & プリント］	印刷文書を本機の［認証 & プリントボックス］に保存します。印刷するときに本機の操作パネルでユーザー認証が必要になります。
［ユーザー認証］	−	本機で［ユーザー認証］を設定している場合のユーザー名／パスワードを設定します。 チェックボックスを ON にすると設定画面が表示されます。
［部門管理］	−	本機で［部門管理］を設定している場合の部門名／パスワードを設定します。 チェックボックスを ON にすると設定画面が表示されます。
［詳細設定 ...］	−	詳細設定項目のある機能を表示します。

参照

［出力方法 :］の各印刷機能について詳しくは、12-2 ページをごらんください。

［出力方法］の詳細設定を確認する

［詳細設定 ...］をクリックすると、［出力方法］機能のうち、詳細設定項目のある機能が表示されます。

［すべて開く］をクリックすると、設定内容が表示されます。

各機能を選択して［設定 ...］をクリックすると、各機能の詳細設定ダイアログが表示されます。

機能名称	説明
［セキュリティー印刷］	［出力方法 :］で［セキュリティー印刷］を指定したときに表示される画面と同じです。
［ボックス保存］	［出力方法 :］で［ボックス保存］または［ボックス保存＆印刷］を指定したときに表示される画面と同じです。
［ユーザー認証］	［出力方法 :］で［ユーザー認証］のチェックボックスを ON にしたときに表示される画面と同じです。

機能名称	説明
［部門管理］	［出力方法 :］で［部門管理］のチェックボックスを ON にしたときに表示される画面と同じです。
［管理者設定］	認証設定の入力ダイアログの表示設定や［暗号化ワード :］を変更するダイアログを表示します。

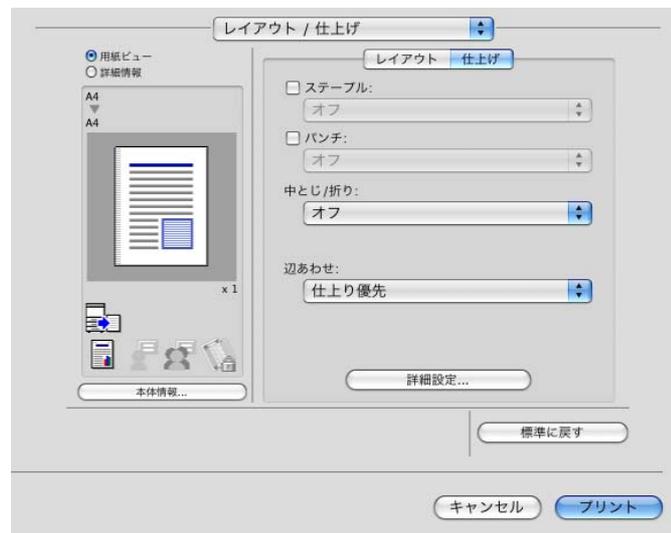
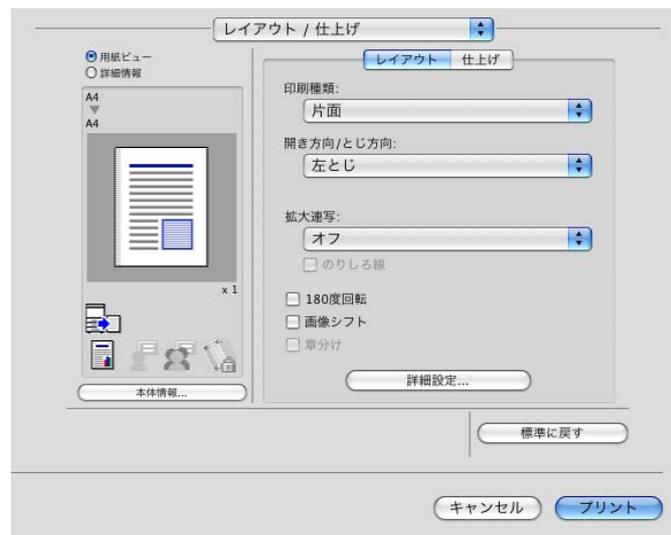
機能名称	説明
［印刷時に入力画面を表示する］	印刷を指定するときにユーザー認証や部門管理設定、セキュリティー印刷ダイアログを表示し、毎回ユーザー名や部門名、文書の ID、パスワードの入力を確認させます。
［暗号化ワード :］	本機との通信を暗号化するための文字列です。 本機の暗号化ワードが、［出荷値を使用］でなく［ユーザー定義］に変更している場合に、本機と同じ暗号化ワードを入力します。 入力した文字に対する暗号鍵が自動的に生成され、本機との通信に利用されます。
［拡張サーバー認証 :］	外部サーバーによるユーザー認証を利用しているときは［オン］に設定します。

参考
- ［暗号化ワード :］は本機の［ドライバーパスワード暗号化設定］で設定した暗号化ワードと一致させてください。

参照

［暗号化ワード :］をユーザー定義にする方法については、12-32 ページをごらんください。

10.5.4 ［レイアウト / 仕上げ］

［レイアウト］設定画面と［仕上げ］設定画面とを切換えて表示します。

機能名称	選択肢	説明
［印刷種類 :］	［片面］、［両面］、［小冊子］	両面印刷や小冊子印刷を設定します。
［開き方向 / とじ方向 :］	［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］	とじ位置を設定します。
［拡大連写 :］	オフ、2 × 2、3 × 3、4 × 4	1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。［のりしろ線］で境界枠の有無が設定できます。 1 つの印刷ジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書を印刷すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。
［のりしろ線］	ON/OFF	のりしろの有無を設定します。拡大連写が［オフ］以外のときに設定できます。
［180 度回転］	ON/OFF	180°回転して印刷します。

機能名称	選択肢	説明
［画像シフト］	ON/OFF	印刷イメージを全体にずらして印刷します。設定を有効にしたときに表示される画面でずれ量の詳細が設定できます。
	［表面］/［裏面］	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、［表面と裏面を同じ値にする］のチェックボックスをOFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。
［章分け］	ON/OFF	オモテ面に印刷するページを指定します。設定を有効にしたときに表示される画面でページが設定できます。 印刷種類が［両面］、［小冊子］のときに設定できます。
	［ページ番号 :］	［章分け］を ON にしたとき、オモテ面に印刷するページを入力します。
［ステープル :］	ON/OFF	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。
［パンチ :］	ON/OFF	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数を指定できます。
［中とじ / 折り :］	オフ、［中とじ］、［中折り］	中とじ / 折りを設定します。
［辺あわせ :］	［仕上り優先］/［生産性優先］	両面印刷する場合、辺あわせ（とじ位置補正）の方法を設定します。［仕上り優先］にすると、全データ受信後に辺あわせ処理を行います。［生産性優先］にすると、データを受信／印刷しながら処理します。

参考

- ［ステープル :］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** が装着されている場合のみ使用可能となります。
- ［パンチ :］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**パンチキット**が装着されている場合のみ使用可能となります。
- ［中とじ / 折り :］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**中綴じ機**が装着されている場合のみ使用可能となります。

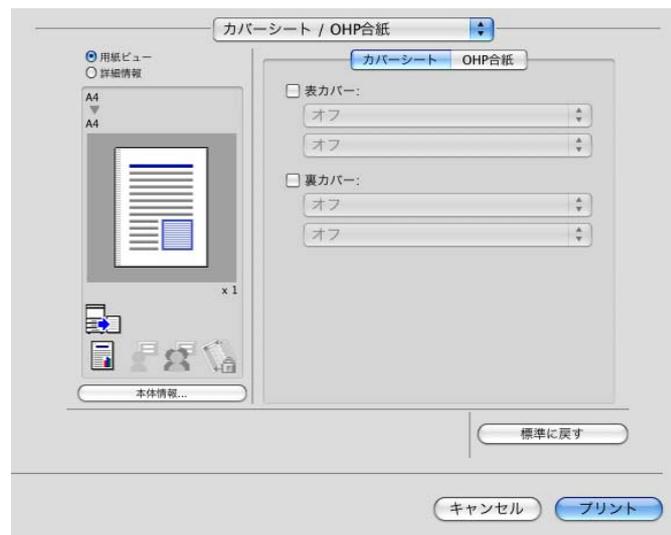
10.5.5 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］

機能名称	選択肢	説明
［給紙トレイ :］	自動、トレイ 1 ～ 4、LCT、手差し	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［用紙種類 :］	本機で利用できる用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。 給紙トレイが［自動］のときのみ変更できます。給紙トレイが［自動］以外の設定の場合は、［給紙トレイ別用紙設定 ...］で登録されている用紙種類になります。
［給紙トレイ別用紙設定 ...］	［給紙トレイ］	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	［用紙種類 :］	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。
［排紙トレイ :］	デフォルト、トレイ 1 ～ 3	用紙を排出するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

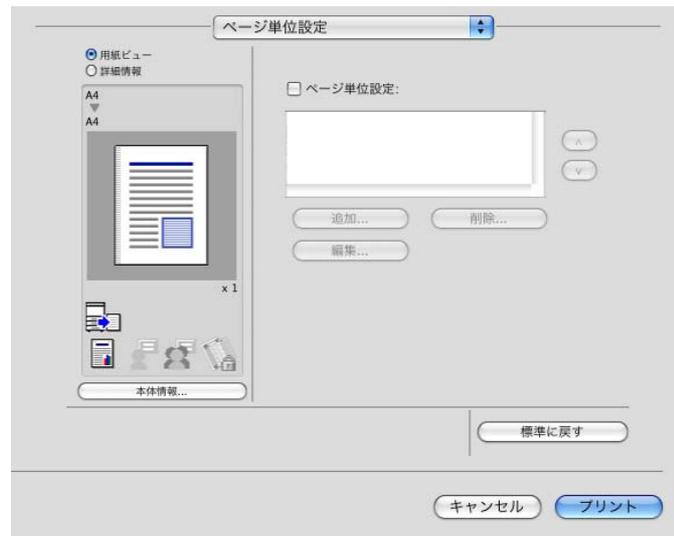
参考

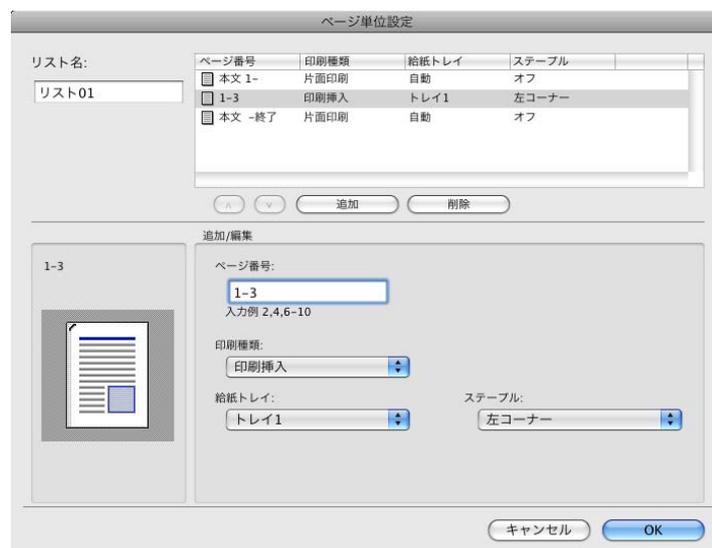
- 用紙種類の［両面 2 面目］は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。
- 用紙種類の［ユーザー紙］は、よく使う用紙種類として本機側に登録されている用紙種類です。ユーザー紙の登録については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

10.5.6 ［カバーシート /OHP 合紙］

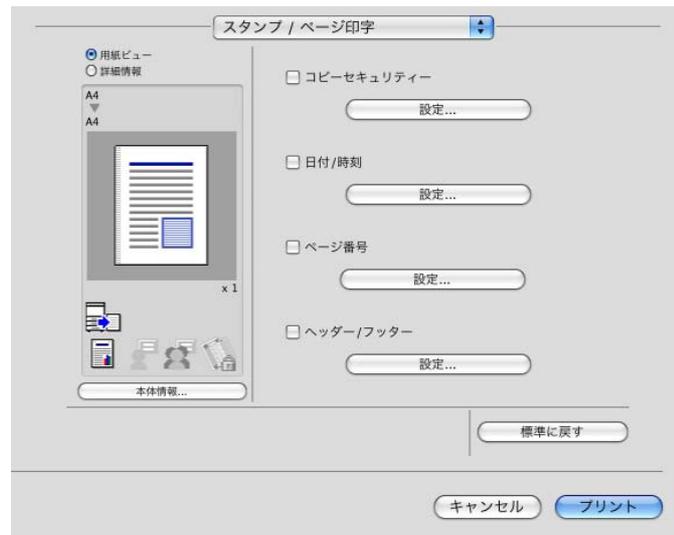
［カバーシート］設定画面と［OHP 合紙］設定画面とを切換えて表示します。

機能名称	選択肢	説明
［表カバー：］	ON/OFF	表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで［自動］以外の設定が選択されているときに指定できます。
	オフ、［印刷］、［白紙］	表紙に印刷するかどうかを選択します。
	オフ、トレイ 1 ～ 4、LCT、手差し	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［裏カバー：］	ON/OFF	裏表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで［自動］以外の設定が選択されているときに指定できます。
	オフ、［印刷］、［白紙］	裏表紙に印刷するかどうかを選択します。
	オフ、トレイ 1 ～ 4、LCT、手差し	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［OHP 合紙：］	ON/OFF	OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。 用紙種類で［OHP フィルム］が選択されているときに指定できます。
	オフ、［白紙］	OHP 合紙を白紙で出力する設定になります（変更できません）。
	オフ、トレイ 1 ～ 4、LCT	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

10.5.7 ［ページ単位設定］

各ページの印刷種類や給紙トレイを指定できます。複数ページの印刷で、途中で給紙トレイを変えたい場合などに便利です。設定内容はリストに登録でき、必要なときに利用できます。

機能名称	選択肢	説明
［ページ単位設定 :］	ON/OFF	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。
［追加 ...］	－	［ページ単位設定］ダイアログを表示し、条件を設定したリストを作成します。
［削除 ...］	－	リストを削除します。
［編集 ...］	－	［ページ単位設定］ダイアログを表示し、条件を設定したリストを編集します。

ページ単位設定の編集

機能名称	説明
［リスト名 :］	リストの名称を入力します。
［追加］	リストに条件を追加します。
［削除］	リストの条件を削除します。

機能名称	説明
[▲][▼]	選択している条件行の順番を入れ替えます。ページ順になるように並べ換えてください。
[ページ番号 :]	選択している条件行のページ番号を入力します。 ページ番号は、半角数字で入力します。複数のページ番号を入力する時は、例えば「2,4,6」のようにカンマで区切るか、「6-10」のようにハイフンでページ範囲を指定します。
[印刷種類 :]	選択している条件行の印刷／白紙および両面／片面印刷を設定します。
[給紙トレイ :]	選択している条件行の印刷で使用する給紙トレイを設定します。
[ステープル :]	選択している条件行のステープルの数と位置を設定します。

10.5.8 [スタンプ / ページ印字]

機能名称	選択肢	説明
[コピーセキュリティー]	ON/OFF	コピーを防止するための特殊なパターンやパスワードを設定します。[設定 ...] で印刷する項目や位置、合成方法、パスワードを指定できます。
[設定 ...]	−	詳しくは、10-19 ページをごらんください。
[日付 / 時刻]	ON/OFF	日付や時刻を付けて印刷します。[設定 ...] で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
[設定 ...]	−	詳しくは、10-20 ページをごらんください。
[ページ番号]	ON/OFF	ページ番号を付けて印刷します。[設定 ...] で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
[設定 ...]	−	詳しくは、10-21 ページをごらんください。
[ヘッダー / フッター]	ON/OFF	ヘッダー / フッターを付けて印刷します。ヘッダー / フッターの内容は本体で設定されている一覧から選択します。[設定 ...] で印刷する項目や印刷するページを指定できます。
[設定 ...]	−	詳しくは、10-21 ページをごらんください。

コピーセキュリティーの編集

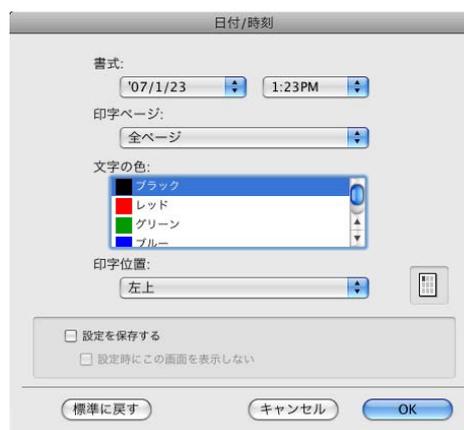
機能名称	説明
[コピーセキュリティー：]	不正コピーを防止するための機能を選択します。 [コピープロテクト]：指定した文字を背景に合成して印刷します。印刷時には目立ちませんが、文書が不正コピーされたときに文字が浮き出すような効果が得られます。 [繰り返しスタンプ]：指定した文字を合成して印刷します。印刷時から判別できる状態です。 [コピーガード]：コピーガード用のパターンを合成して印刷します。本機能に対応した装置で文書が不正コピーされたときに、合成されたパターンが読み取られ、コピーが中止されます。 [パスワードコピー]：パスワードコピー用のパターンを合成して印刷します。 本機能に対応した装置で文書が不正コピーされたときに、合成されたパターンが読み取られ、パスワードの入力が必要になります。印刷時に設定したパスワードを入力することでコピーできます。
[パスワード：]	[パスワードコピー]のパスワードを入力します。
[文字列：]	選択した文字列をパターンに埋め込みます。あらかじめ用意されている文字列（定型スタンプ）か、本機に登録されている文字列（登録スタンプ）を指定できます。
[日付／時刻：]	日時と時刻をパターンに埋め込みます。ドロップダウンリストで表示種類や時刻表示の有無を設定できます。
[シリアル番号]	本機のシリアル番号をパターンに埋め込みます。
[部数管理番号：]	複数部数を印刷する場合、部数番号をパターンに埋め込みます。開始番号や表示桁数を設定できます。
[ジョブ番号]	自動的に割り付けられる文書の印刷ジョブ番号をパターンに埋め込みます。

参考

- [コピーガード]、[パスワードコピー]は、オプションの**セキュリティーキット SC-507**を装着し、本機の[管理者設定]－[セキュリティー設定]－[セキュリティー詳細]で、[パスワードコピー]および[コピーガード]を[する]に設定している場合に使用できます。詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編]をごらんください。

機能名称	説明
[文字サイズ：]	パターンの文字サイズを指定します。
[文字の角度 :]	パターンの角度を指定します。
[効果 :]	パターンがどのように埋め込まれるかを設定します。
[重ね合わせ :]	パターンと原稿との重ね合わせ順を設定します。
[背景パターン :]	背景のパターンを設定します。
[色の調整 ...]	パターンの色を設定します。

参考
- 選択した［コピーセキュリティー］の機能により、設定できる項目が異なります。

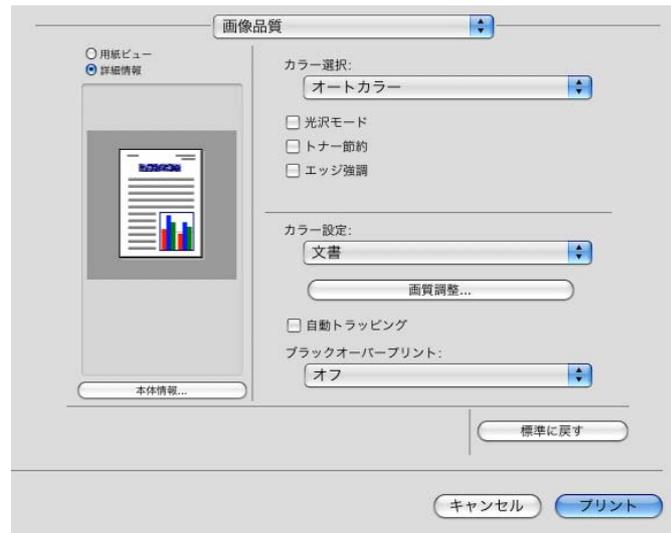
日付 / 時刻の編集

機能名称	説明
[書式 :]	印刷する日時と時刻の書式を表示します。
[印字ページ :]	日時と時刻を印刷するページを設定します。
[文字の色 :]	印刷する文字の色を設定します。
[印字位置 :]	印刷する位置を設定します。

ページ番号の編集

機能名称	説明
[印刷開始ページ :]	ページ番号印刷の開始ページを設定します。
[印刷開始番号 :]	ページ番号印刷の開始番号を設定します。
[カバーシートへの印字 :]	カバーシートを付けている場合、表カバーや裏カバーにページ番号を印刷するかどうかを設定します。
[文字の色 :]	印刷する文字の色を設定します。
[印字位置 :]	印刷する位置を設定します。

ヘッダー／フッターの編集

機能名称	説明
[ヘッダー / フッター呼出し :]	本機に登録されているヘッダー / フッターの設定を選択します。
[部数管理番号 :]	複数部数を印刷する場合、部数番号をヘッダー / フッターに印刷します。開始番号や表示桁数を設定できます。
[印字ページ :]	ヘッダー / フッターを印刷するページを設定します。
[文字の色 :]	印刷する文字の色を設定します。

10.5.9 ［画像品質］

機能名称	選択肢	説明
［カラー選択 :］	［オートカラー］、［フルカラー］、［グレースケール］	印刷する色を設定します。 ［オートカラー］：印刷データで使用されている色を判断し、印刷します。 ［フルカラー］：印刷データ（カラー / グレースケール）に関わらず、フルカラーのプロセス（CMYK）で印刷します。 ［グレースケール］：グレースケールで印刷します。
［光沢モード］	ON/OFF	光沢効果を加えて印刷します。
［トナー節約］	ON/OFF	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
［エッジ強調］	ON/OFF	文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。
［カラー設定 :］	［文書］、［写真］、［DTP］、［Web］、［CAD］	選択した原稿に適した画質で印刷します。 ［文書］：文字の多い文書に適した処理です。 ［写真］：写真に適した処理です。 ［DTP］：DTP で作成した文書に適した処理です。 ［WEB］：WEB ページの印刷に適した処理です。 ［CAD］：CAD データの印刷に適した処理です。
［画質調整 ...］	－	画質を調整します。文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整できます。プロファイルの管理も行えます。
［自動トラッピング］	ON/OFF	絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。
［ブラックオーバープリント :］	オフ、［文字］、［文字 / 図］	黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。 重なる条件を、文字だけにするか、文字と図にするかを選択できます。

参照

プロファイルの管理については、12-36 ページ、12-38 ページをごらんください。

11
Mac OS 9.2 の印刷機能

11 Mac OS 9.2 の印刷機能

OS 9.2 用のプリンタードライバーの機能について説明します。

11.1 印刷操作

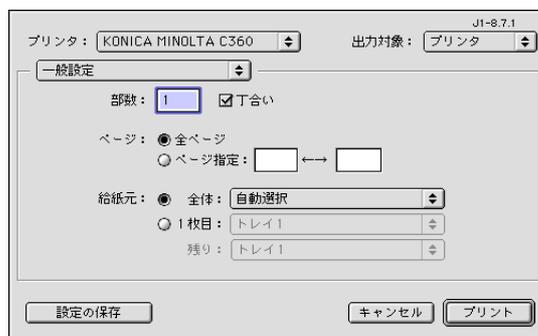
通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］（または［プリント］）をクリックします。

➔ メニューがない場合は、［印刷］ボタンをクリックします。

［プリント］画面が表示されます。

2 ［プリンタ :］で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。
➔ プリンターが表示されないときは、［セレクタ］でプリンターを選択します。詳しくは、6-15 ページをごらんください。
➔ ［プリント］画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

4 必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ ［一般設定］のメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、11-5 ページをごらんください。
➔ ［プリント］画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5 ［プリント］をクリックします。

印刷が実行され、本機のデータランプが点滅します。

11.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

重要
本機に装着されているオプションが設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

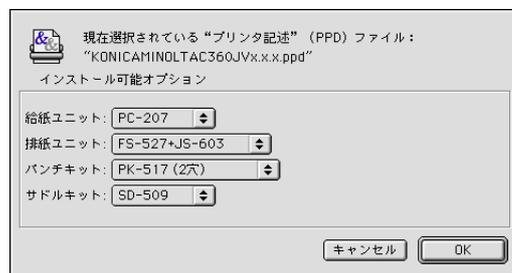
11.2.1 オプション設定

1 ［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

2 プリンター名を選択します。

3 ［再設定 ...］をクリックします。

4 ［構成］をクリックします。

オプションの設定画面が表示されます。

➔ LPR プリンターとして設定している場合は、デスクトップ上にある LPR プリンターのアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューの［設定の変更 ...］をクリックするとオプションの設定画面が表示されます。

5 本機に装着しているオプションを設定します。

6 ［OK］をクリックします。

［セレクタ］画面に戻ります。

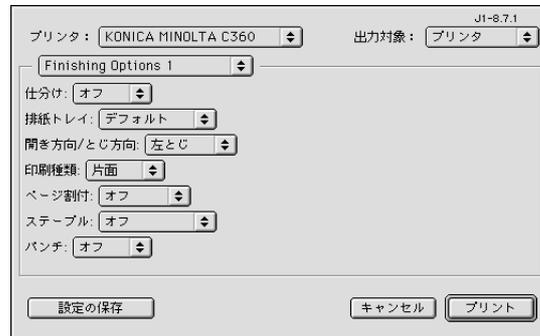
7 ［セレクタ］画面を閉じます。

参照
オプションの設定は、最初にプリンタードライバーを選択したときには、自動的に表示します。詳しくは、6-15 ページをごらんください。

11.2.2　デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS 9.2 の場合は、［プリント］画面で［設定の保存］をクリックして保存します。

参照

プリンタードライバーの機能や設定項目については、11-5 ページをごらんください。

参考

- ［ページ設定］画面の設定は保存できません。

11.3 設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は［ページ設定］画面から指定する［ページ属性］と［プリント］画面から設定する、［レイアウト］、［Finishing Options］の各画面で設定します。

11.3.1 ページ属性

［ファイル］メニューの［ページ設定］（または［用紙設定］）で選択します。

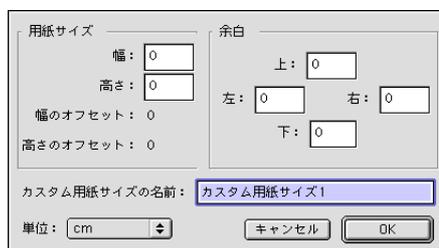
機能名称	説明
［用紙 :］	印刷する用紙サイズを設定します。
［方向 :］	原稿の用紙方向を設定します。
［拡大縮小 :］	拡大・縮小率を設定します。

参考

- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、11-5 ページをごらんください。

11.3.2 カスタム用紙サイズの設定

［ページ設定］画面で［カスタム用紙サイズ］を選択します。

1. ［ファイル］メニューの［用紙設定］（または［ページ設定］）を選択します。
2. ［カスタム用紙サイズ］を選択します。
3. ［新規］をクリックします。
4. 各項目を設定します。

機能名称	説明
［用紙サイズ］	希望する用紙サイズを設定します。
［余白］	用紙の余白を設定します。
［カスタム用紙サイズの名前 :］	設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、［OK］をクリックします。
［単位 :］	設定単位を選択します。

5　［OK］をクリックします。

カスタムページ設定が登録され、［ページ属性］の用紙で選択できるようになります。

11.3.3 一般設定

［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］）で選択します。

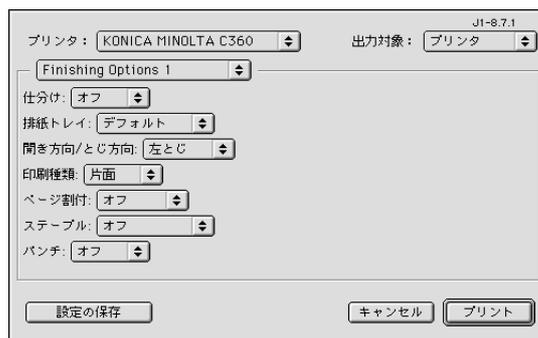
機能名称	説明
［部数 :］	印刷する部数を設定します。
［丁合い］	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
［ページ :］	印刷するページ範囲を設定します。
［給紙元 :］	使用する給紙トレイや用紙種類を選択します。

11.3.4 ［レイアウト］（ページ割付）

複数ページを 1 枚の用紙に割付けるときに設定します。

機能名称	説明
［ページ割り付け :］	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付けます。
［レイアウト方向 :］	ページの割付け順を設定します。
［枠線 :］	ページ間に境界線を設定します。

11.3.5　プリンター固有機能（Finishing Option 1 ～ 5）

プリンター固有の機能を設定します。ステープルやパンチなど本機の機能を利用するときに設定します。

機能名称	説明
［仕分け :］	仕分けを設定します。
［排紙トレイ :］	排紙トレイを選択します。
［開き方向 / とじ方向 :］	とじ位置を設定します。
［印刷種類 :］	両面印刷を行います。
［ページ割付 :］	小冊子印刷を行います。
［ステープル :］	ステープルを行います。
［パンチ :］	パンチを行います。
［折り :］	折りを行います。
［表カバー :］	オモテ表紙を付けて印刷します。
［表カバー用トレイ :］	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
［裏カバー :］	ウラ表紙を付けて印刷します。
［裏カバー用トレイ :］	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
［OHP 合紙 :］	OHP フィルムに合紙を付けて印刷します。
［合紙用トレイ :］	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
［出力方法 :］	文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる［確認印刷］を指定します。
［カラー選択 :］	印刷する色をカラーまたはグレースケールに設定します。
［光沢モード :］	光沢効果を加えて印刷します。
［カラー設定 :］	原稿に適した画質で印刷します。
［自動トラッピング :］	絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。
［ブラックオーバープリント :］	黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。 重なる条件を、文字だけにするか、文字と図にするかを選択できます。
［カラーマッチング（文字）:］	原稿内の文字のカラー画質を調整します。
［グレー補償（文字）:］	原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。
［スクリーン（文字）:］	原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。
［カラーマッチング（写真）:］	原稿内の写真のカラー画質を調整します。
［グレー補償（写真）:］	原稿内の写真のグレー補償を ON/OFF します。
［スクリーン（写真）:］	原稿内の写真のスクリーン処理を設定します。
［スムージング（写真）:］	原稿内の写真のスムージング処理を設定します。
［カラーマッチング（図表グラフ）:］	原稿内の図表グラフのカラー画質を調整します。

機能名称	説明
［グレー補償（図表グラフ）:］	原稿内の図表グラフのグレー補償を ON/OFF します。
［スクリーン（図表グラフ）:］	原稿内の図表グラフのスクリーン処理を設定します。
［スムージング（図表グラフ）:］	原稿内の図表グラフのスムージング処理を設定します。
［トナー節約 :］	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
［エッジ強調 :］	文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。

参考

- ［ステープル :］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** が装着されている場合のみ使用可能となります。
- ［パンチ :］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**パンチキット**が装着されている場合のみ使用可能となります。
- ［折り :］機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**中綴じ機**が装着されている場合のみ使用可能となります。

12 機能詳細説明

12 機能詳細説明

プリンタードライバーと本機のパネル操作を組み合わせる必要があるなど、特に注意が必要な機能について説明します。

12.1 確認印刷

確認印刷機能は、複数部数を印刷するときに、1 部のみ出力して残り部数を待機する機能です。印刷結果を確認してから残り部数を出力できるので、大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。

確認印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで残り部数の出力を実行します。

12.1.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 5 種類です。

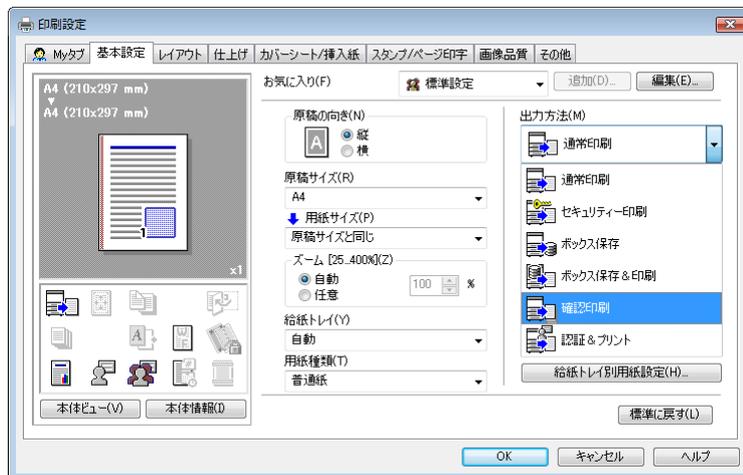
- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー
- Mac OS 9.2 用 PostScript PPD プリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

- 出力方法：[確認印刷]
- 印刷部数：複数部数

Windows の場合

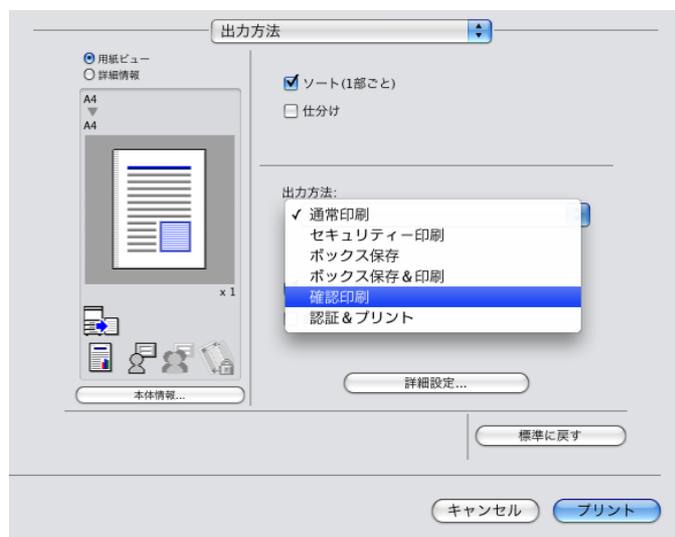
1 ［基本設定］タブを表示します。

2 ［出力方法］で［確認印刷］を選択します。

3 目的の部数を指定して印刷します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

Mac OS X の場合

1 ［出力方法］画面を表示します。

2 ［出力方法 :］で［確認印刷］を選択します。

3 目的の部数を指定して印刷します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

➔ OS 9.2 では、［Finishing Options 3］画面の［出力方法 :］で選択できます。

12.1.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

参考

- 操作パネルの各キーのはたらきについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

1 本体操作パネルの［ジョブ表示］を押し、さらに［ジョブ詳細］を押します。

印刷画面が表示されます。

2 ［実行中リスト］が表示されている状態で、［蓄積解除］を押します。

［蓄積解除］画面が表示されます。

3 ジョブリストから印刷するジョブを選択します。

➔ そのまま残り部数を印刷する場合は、手順 6 へ進みます。
➔ 印刷条件を変更する場合は、手順 4 へ進みます。

➔ 蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、［ ↑ ］または［ ↓ ］を押して表示させます。ジョブを間違えて選択したときは、選択したジョブをもう一度押すと選択は取り消されます。

4 ［設定変更］を押します。

［設定変更］画面が表示されます。

➔ 設定を変更した結果を確認するときは、ジョブリストから確認するジョブを選び、操作パネルの**プレビュー**を押します。
1 部のみ出力され、内容を確認できます。
プレビュー後は、設定が元に戻りますので、再度設定してください。

5 ［設定変更］画面で印刷条件を変更して、［OK］を押します。

［蓄積解除］画面に戻ります。

➔ 蓄積解除を中止する場合は、［中止］を押します。

6 ［実行］または操作パネルの**スタート**を押します。

蓄積ジョブは動作中ジョブに変わり、印刷されます。

12.2　セキュリティー印刷

セキュリティー印刷機能は、印刷ジョブを本機のセキュリティー文書ボックスに保存する機能です。操作パネルから ID とパスワードを入力することで出力するので、機密性の高い文書の出力に便利です。

セキュリティー印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力を実行します。

情報漏えいを防ぐため、本機での印刷をセキュリティー印刷のみに限定できます。

参照

セキュリティー印刷のみに限定する機能については、本機での設定の場合は 13-58 ページをごらんください。

プリンタードライバーの設定は、Windows の場合は 9-4 ページ、Mac OS X の場合は 10-4 ページをごらんください。

参考

- セキュリティー印刷を使用する頻度が高いときは、本機の［画面カスタマイズ設定］－［ボックス設定］で［セキュリティー文書ボックス］を表示するように設定しておくと便利です。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

12.2.1　プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

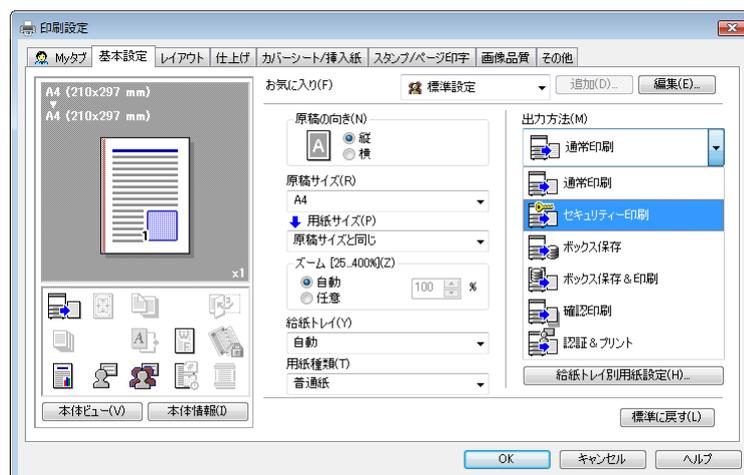
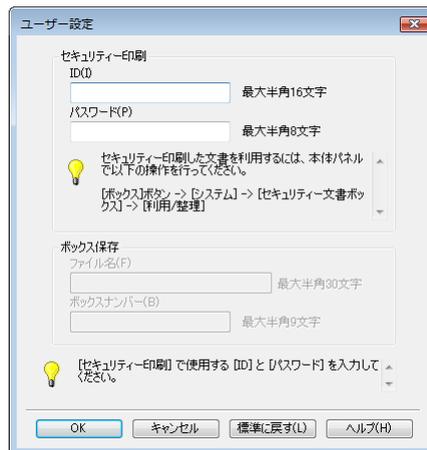
- 出力方法：［セキュリティー印刷］

参考

- BMLinkS 統合プリンタードライバーを利用している場合も「機密印刷」の設定でセキュリティー印刷を指定できます。詳しくは 16-10 ページをごらんください。

Windows の場合

1　［基本設定］タブを表示します。

2　［出力方法］で［セキュリティー印刷］を選択します。

3　［ID］と［パスワード］を入力します。

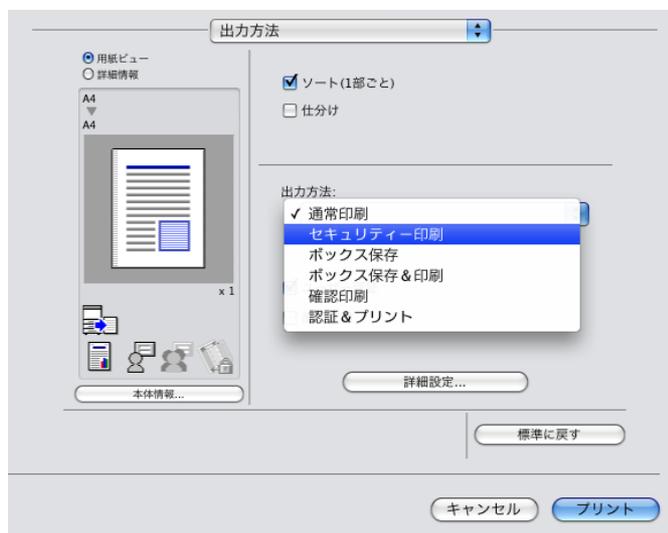
➔ 本機側で［パスワード規約］が有効の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。［パスワード規約］については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

4　印刷します。

➔ ［基本設定］タブの［ユーザー設定 ...］では、セキュリティー印刷で必要な ID とパスワードをあらかじめ登録しておくことができます。常に同じ ID とパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと［セキュリティー印刷］を選択したときに ID とパスワードを入力する画面が表示されません。

Mac OS X の場合

1　［出力方法］画面を表示します。

2　［出力方法 :］で［セキュリティー印刷］を選択します。

3 ［ID:］と［パスワード :］を入力します。

➔ ［設定を保存する］を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

➔ 本機側で［パスワード規約］が有効の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。［パスワード規約］については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

4 印刷します。

12.2.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

［セキュリティー印刷］によるジョブは、［セキュリティー文書ボックス］に保存されます。セキュリティー文書を印刷するには、プリンタードライバーで指定した ID とパスワードが必要です。

参考

- セキュリティー文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、管理者モードで設定できます。詳しくは、13-43 ページをごらんください。
- 印刷したセキュリティー文書を手動で削除するときは管理者モードで操作します。詳しくは、13-42 ページをごらんください。

参照

操作パネルの各キーのはたらきについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

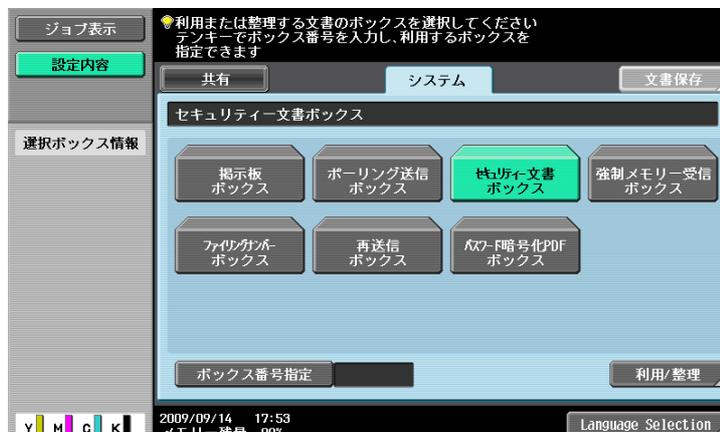
本機のボックス機能については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

［セキュリティー文書アクセス方式］の設定について詳しくは［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

［セキュリティー文書アクセス方式］が［モード 1］に設定されている場合

1 本体操作パネルの**ボックス**を押します。

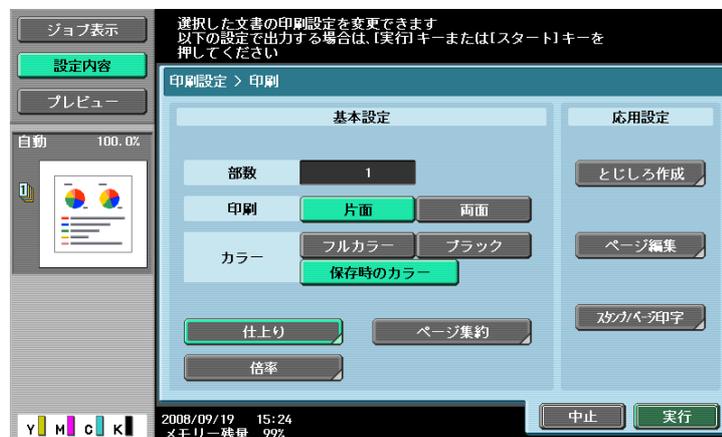
➔ アプリケーションメニューが表示される場合は、［ボックス］を押してください。

2 ［システム］の［セキュリティー文書ボックス］を選択し、［利用 / 整理］を押します。

3 セキュリティー文書の［ID］を入力し、［OK］を押します。

4 セキュリティー文書のパスワードを入力し、［OK］を押します。

指定した ID、パスワードと一致するセキュリティー文書の一覧が表示されます。

5　［印刷設定］タブで印刷したい文書を選択し、［印刷］を押します。
文書の内容やプレビューは、［文書詳細］で確認できます。

6　必要に応じて印刷条件を変更します。

7　［実行］または操作パネルの**スタート**を押します。

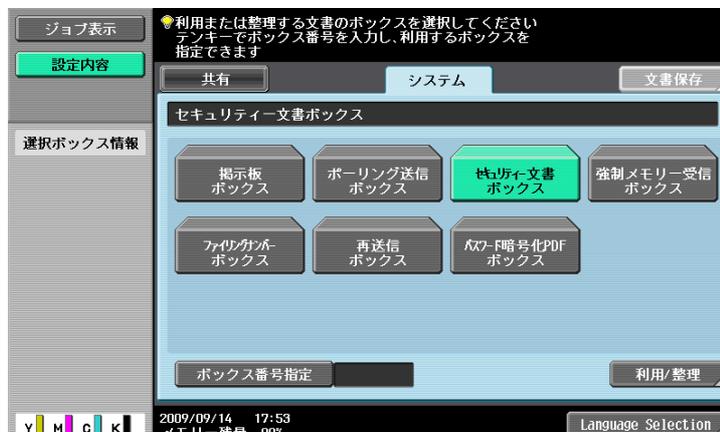
文書が印刷されます。

➔ 操作を中止する場合は、［中止］を押します。

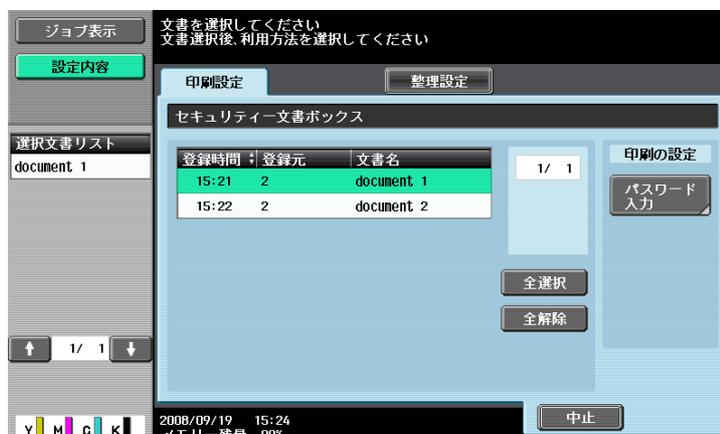
［セキュリティー文書アクセス方式］が［モード 2］に設定されている場合

1　本体操作パネルの**ボックス**を押します。

➔ アプリケーションメニューが表示される場合は、［ボックス］を押してください。

2　［システム］の［セキュリティー文書ボックス］を選択し、［利用 / 整理］を押します。

3　セキュリティー文書の［ID］を入力し、［OK］を押します。

指定した ID と一致するセキュリティー文書の一覧が表示されます。

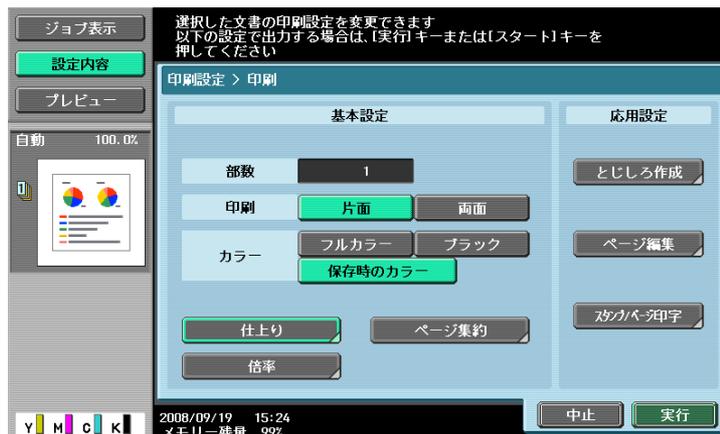
4　印刷したい文書を選択し、［パスワード入力］を押します。

5　セキュリティー文書のパスワードを入力し、［OK］を押します。

指定したパスワードと一致するセキュリティー文書の一覧が表示されます。

➔ 管理者設定の［認証操作禁止機能］で［モード 2］が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、選択している文書がロックされます。操作禁止状態の解除については管理者に問合わせてください。

6　［印刷設定］タブで印刷したい文書を選択し、［印刷］を押します。

文書の内容やプレビューは、［文書詳細］で確認できます。

7　必要に応じて印刷条件を変更します。

8　［実行］または操作パネルの**スタート**を押します。

➔ 文書が印刷されます。

➔ 操作を中止する場合は、［中止］を押します。

12.3 ボックス保存

ボックス保存機能は、印刷ジョブを本機のユーザーボックスに保存する機能です。操作パネルからボックスを指定することで出力するので、文書の配布にも利用できます。

ボックス保存は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力や配信を実行します。

参照

本機のボックス機能については、[ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。

12.3.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

- 出力方法：[ボックス保存]または[ボックス保存＆印刷]

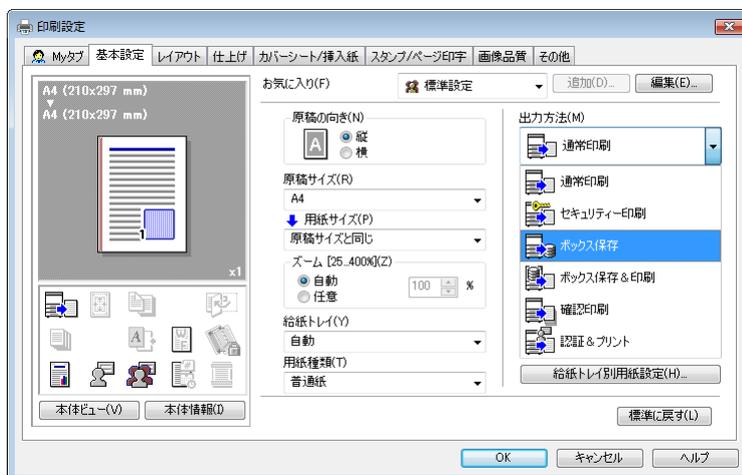
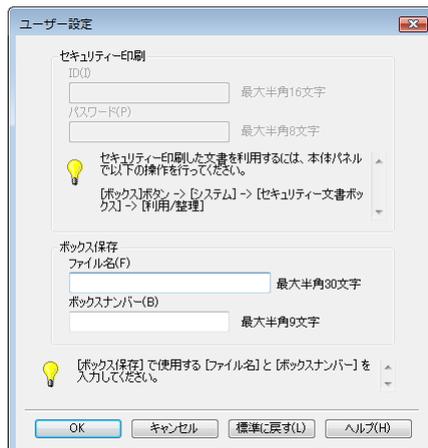
参考

- 保存先のボックスは本機のボックス機能であらかじめ作成しておいてください。本機のボックス機能については、[ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。

Windows の場合

1 [基本設定]タブを表示します。

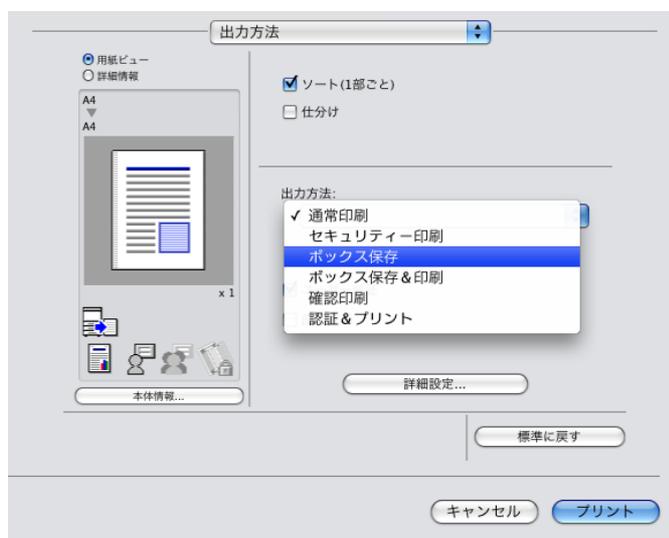
2 [出力方法]で[ボックス保存]または[ボックス保存 & 印刷]を選択します。

➔ ボックスへの保存と印刷を同時に実行したいときは[ボックス保存＆印刷]を選択します。

3　文書の［ファイル名］と保存先の［ボックスナンバー］を入力します。

4　印刷します。

➔［基本設定］タブの［ユーザー設定］では、ボックス保存で必要なファイル名とボックス番号をあらかじめ登録しておくことができます。常に同じファイル名とボックス番号で保存する場合は、あらかじめ登録しておくと［ボックス保存］を選択したときにファイル名とボックス番号を入力する画面が表示されません。

Mac OS X の場合

1　［出力方法］画面を表示します。

2　［出力方法 :］で［ボックス保存］または［ボックス保存＆印刷］を選択します。

3　文書の［ファイル名 :］と保存先の［ボックスナンバー :］を入力します。

→［設定を保存する］を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

4　印刷します。

12.3.2　操作パネルからのジョブ呼び出し

［ボックス保存］、［ボックス保存＆印刷］によるジョブは、指定した番号のボックスに保存されます。

ボックスに保存された文書を印刷するには、指定したボックスを開いて文書を取り出します。ボックスにパスワードが設定されている場合は、ボックスパスワードが必要です。

参考

- ボックス文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、ボックス作成時に設定できます。

参照

操作パネルの各キーのはたらきについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

本機のボックス機能については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

1　本体操作パネルの**ボックス**を押します。

→ アプリケーションメニューが表示される場合は、［ボックス］を押してください。

2　目的のボックス番号を選択し、［利用 / 整理］を押します。

ボックスは、［共有］、［個人］、［グループ］の分類で分かれています。
保存したボックスの分類から目的のボックスを指定します。
ボックス番号で直接指定することもできます。

→ ボックスにパスワードが設定されている場合は、手順 3 へ進みます。

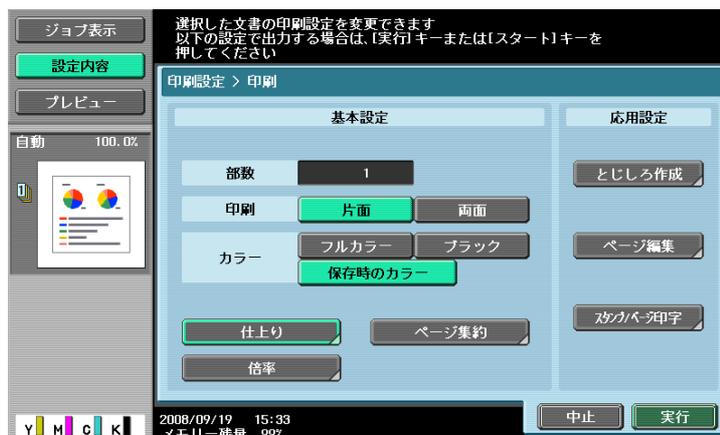
→ ボックスにパスワードが設定されていない場合は、手順 4 へ進みます。

3　ボックスのパスワードを入力し、[OK] を押します。

指定したボックスの文書一覧が表示されます。

4　[印刷設定] タブで印刷したい文書を選択し、[印刷] を押します。

➔ ボックスに保存された文書は、Email 送信、ファクス送信などで配信できます。本機のボックス機能については、[ユーザーズガイド ボックス機能編] をごらんください。

5　必要に応じて印刷条件を変更します。

6　[実行] または操作パネルの**スタート**を押します。

文書が印刷されます

➔ 操作を中止する場合は、[中止] を押します。

12.4 ユーザー認証を設定している本機で印刷する

本機側で［ユーザー認証］が設定されている場合、印刷時にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

参考

- 本機側の［ユーザー認証］で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して印刷したり、または［ユーザー認証］を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 本機の［ユーザー認証］が設定され、［認証操作禁止機能］で［モード 2］が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、該当するユーザーがロックされアクセスができなくなる場合があります。
- 登録ユーザーであっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。また、カラー印刷が許可されていないユーザーはカラー印刷できません。ユーザー認証については、本機の管理者にお問合わせください。
- オプションの**認証装置**による［ユーザー認証］を行っている場合も、ユーザー名とパスワードを入力してください。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

Windows の場合

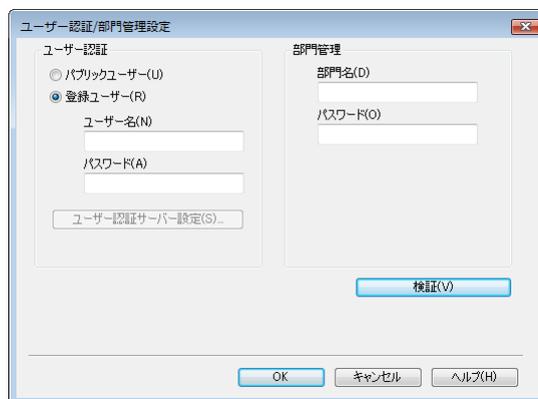
1 ［基本設定］タブを表示します。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

3 ［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名］、［パスワード］を入力します。

➔ ユーザー名は半角 64 文字 / 全角 32 文字まで、パスワードは半角 64 文字まで入力できます。

➔ 本体で［パブリックユーザー］が許可されている場合は、［パブリックユーザー］で利用できます。

➔ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。

➔ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問合せください。

4 ［OK］をクリックして設定後、印刷します。

入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

参考

- ユーザー認証が［装置情報］タブで設定されていないと、ユーザー認証が行えません。ユーザー認証を利用している場合は、必ず［装置オプション］で設定してください。詳しくは、9-4 ページをごらんください。
- ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。［ユーザー認証サーバー設定 ...］をクリックし、サーバーを選択してください。
- ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、本機の［管理者設定］で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［使用しない］に設定してください。詳しくは、13-56 ページをごらんください。

Mac OS X の場合

1　［出力方法］画面を表示します。

2　［ユーザー認証］のチェックボックスを ON にします。

3　［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名 :］、［パスワード :］を入力します。

➔ ユーザー名は半角 64 文字 / 全角 32 文字まで、パスワードは半角 64 文字まで入力できます。

➔ 本体で［パブリックユーザー］が許可されている場合は、［パブリックユーザー］で利用できます。

➔ ［設定を保存する］を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

➔ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問合せください。

4　［OK］をクリックして設定後、印刷します。

入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

参考

- ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。［ユーザー認証サーバー設定 ...］をクリックし、サーバーを選択してください。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、本機の［管理者設定］で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を［使用しない］に設定してください。詳しくは、13-56 ページをごらんください。

12.5　部門管理機能を使用している本機で印刷する

本機側で［部門管理］機能を使用している場合、印刷時に部門管理コード（暗証番号）を入力する必要があります。

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

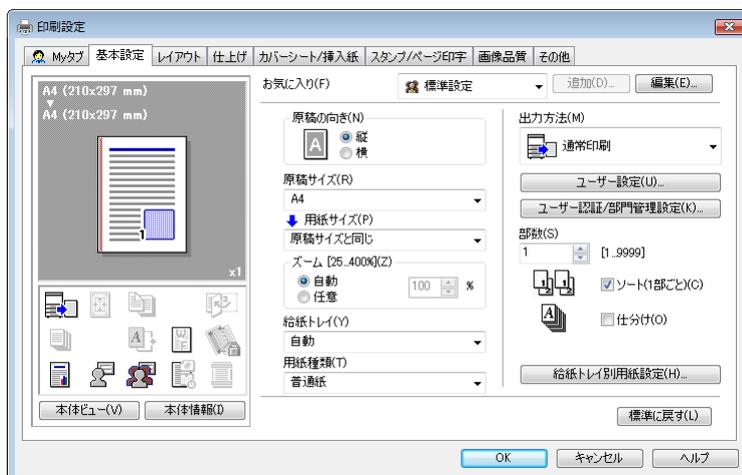
参考

- 本機側の［部門管理］機能で有効ではない暗証番号を入力して印刷した、または［部門管理］を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
  本機の［部門管理］が設定され、［認証操作禁止機能］で［モード 2］が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、該当する部門がロックされアクセスができなくなる場合があります。
- 登録部門であっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。また、カラー印刷が許可されていないユーザーはカラー印刷できません。
- 部門管理については、本機の管理者にお問合わせください。

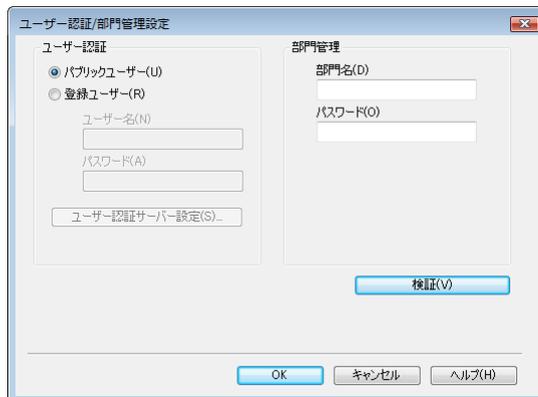
12.5.1　プリンタードライバーの設定

Windows の場合

1　［基本設定］タブを表示します。

2　［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

3 本機で登録されている［部門名］、［パスワード］を入力します。

➔ 部門名とパスワードは半角 8 文字まで入力できます。

➔ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。

4 ［OK］をクリックして設定後、印刷します。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷され、指定した部門番号にカウントされます。

参考

- 部門管理が［装置情報］タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず［装置オプション］で設定してください。詳しくは、9-4 ページをごらんください。
- ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力した部門で認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

Mac OS X の場合

1 ［出力方法］画面を表示します。

2 ［部門管理］のチェックボックスを ON にします。

3 本機で登録されている［部門名 :］と［パスワード :］を登録します。

➔ 部門名とパスワードは半角 8 文字まで入力できます。

➔ ［設定を保存する］を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

4 ［OK］をクリックして設定後、印刷します。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷され、指定した部門番号にカウントされます。

12.6 認証＆プリント

認証＆プリント機能を選択してプリントすると、本機の操作パネルでユーザー名とパスワードを入力して認証が成功してはじめてプリントが開始されるため、文書の機密性を保持することができます。

認証 & プリントを使用するには、本機でユーザー認証を行っている必要があります。

コンピューターから印刷する時は、プリンタードライバーでユーザー名とパスワードを入力した上で、認証＆プリントを指定します。

認証 & プリントの印刷データは、［認証＆プリントボックス］に保存され、プリント後に［認証 & プリントボックス］から自動的に削除されます。本機の操作パネルからユーザー名とパスワードを入力して、本機にログインし、［認証 & プリントボックス］に保存されている印刷データをプリントすることもできます。

オプションの**認証装置（指静脈　生体認証タイプ）AU-101** または**認証装置（指静脈　生体認証タイプ）AU-102**、**認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201** による［ユーザー認証］を行っている場合は、認証装置に指または IC カードでタッチするだけで印刷またはログインできます。

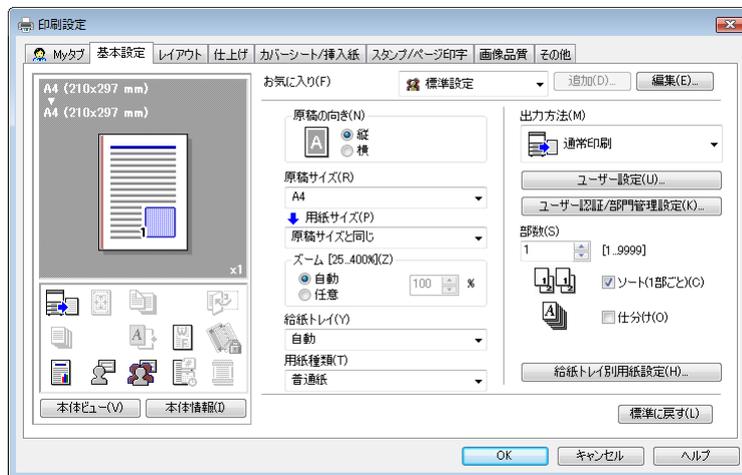
参照

コンピューターから印刷する時に認証＆プリント機能を有効にするには、プリンタードライバーで設定します。詳しくは、12-22 ページをごらんください。

［認証 & プリントボックス］に保存されているジョブ操作については、12-25 ページをごらんください。

認証装置による印刷またはログインについては、12-28 ページをごらんください。

12.6.1 プリンタードライバーの設定

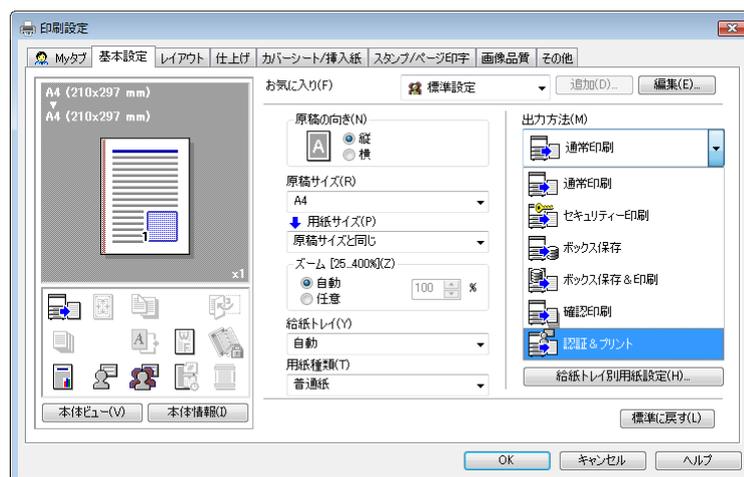
Windows の場合

1 ［基本設定］タブを表示します。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

3　［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名］、［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。

➔ ユーザー認証については、12-16 ページをごらんください。

➔ 本機の［管理者設定］で［ユーザー認証 / 部門管理］－［ユーザー認証設定］－［管理設定］－［認証＆プリント設定］の［認証なし / パブリックユーザージョブ］を［蓄積］に設定している場合でパブリックユーザージョブが許可されている場合は、パブリックユーザーのジョブも［認証＆プリントボックス］に保存されます。詳しくは、13-47 ページをごらんください。

4　［出力方法］で［認証＆プリント］を選択します。

➔ 本機の［管理者設定］で［ユーザー認証 / 部門管理］－［ユーザー認証設定］－［管理設定］－［認証＆プリント設定］の［認証＆プリント］を［使用する］に設定している場合は、通常印刷のジョブも［認証＆プリントボックス］に保存されます。詳しくは、13-47 ページをごらんください。

5　印刷します。

Mac OS X の場合

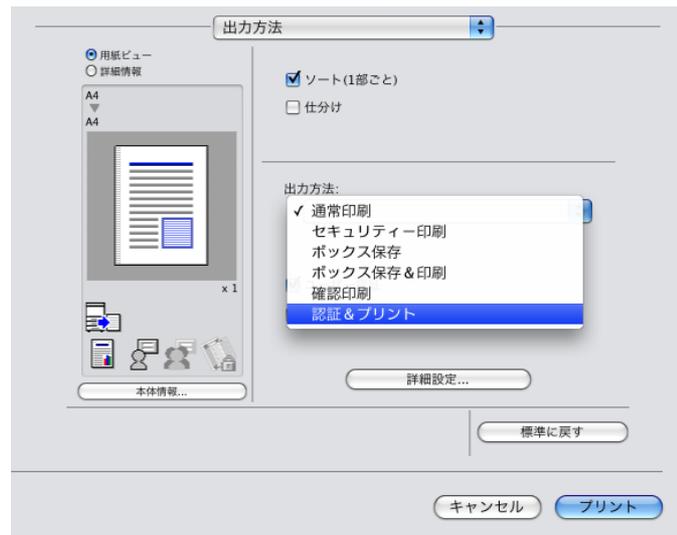
1　［出力方法］画面を表示します。

2　［ユーザー認証］のチェックボックスを ON にします。

3　［登録ユーザー］を選択し、本機で登録されている［ユーザー名 :］、［パスワード :］を入力して［OK］をクリックします。

➔ ユーザー認証については、12-16 ページをごらんください。

➔ 本機の［管理者設定］で［ユーザー認証 / 部門管理］－［ユーザー認証設定］－［管理設定］－［認証＆プリント設定］の［認証なし / パブリックユーザージョブ］を［蓄積］に設定している場合でパブリックユーザージョブが許可されている場合は、パブリックユーザーのジョブも［認証＆プリントボックス］に保存されます。詳しくは、13-47 ページをごらんください。

4 ［出力方法 :］で［認証＆プリント］を選択します。

➔ 本機の［管理者設定］で［ユーザー認証 / 部門管理］－［ユーザー認証設定］－［管理設定］－［認証＆プリント設定］の［認証＆プリント］を［使用する］に設定している場合は、通常印刷のジョブも［認証＆プリントボックス］に保存されます。詳しくは、13-47 ページをごらんください。

5 印刷します。

12.6.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

参考

- パブリックユーザーの場合は、パブリックユーザーでログイン後に認証＆プリントボックスを開いて文書を印刷します。

ユーザー情報を入力して印刷する

1 本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

➔ パブリックユーザーがログインなしで許可されている場合など、ログイン後の画面が表示されているときは、ID を押してログアウトするとログイン画面が表示されます。

2 ［印刷開始］を押します。

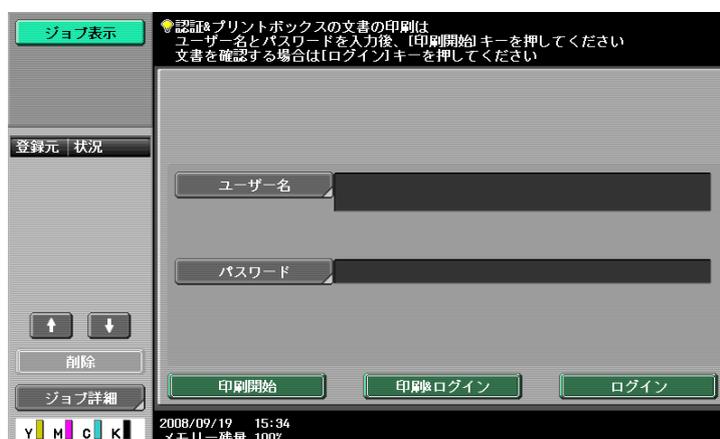
ユーザーが認証されるとジョブが出力されます。

➔ ［印刷＆ログイン］を押すと、ジョブの出力と通常のログインができます。
➔ ［ログイン］を押すと、通常のログインのみとなり、ジョブは出力されません。ログイン後に［認証＆プリントボックス］を開いて文書を印刷してください。
➔ 複数のジョブがある場合は、全てのジョブが出力されます。文書を選択して印刷したい場合は、［ログイン］を押し、［認証＆プリントボックス］から文書を印刷してください。
➔ オプションの**認証装置**を装着している場合は、［本体認証］と［認証装置］が表示されます。キーを選択することで、認証方法を本体認証または認証装置のどちらかに切換えて利用できます。

［認証＆プリントボックス］から文書を指定して印刷する

参考

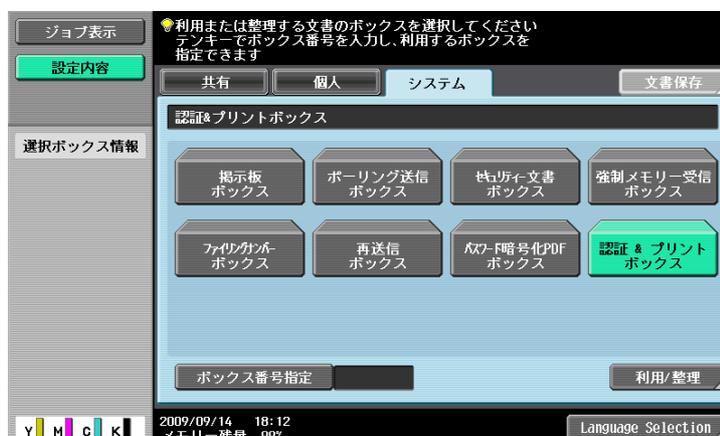
- ［認証＆プリントボックス］を使用する頻度が高いときは、本機の［画面カスタマイズ設定］－［ボックス設定］で［認証＆プリントボックス］を表示するように設定しておくと便利です。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

1 本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

2 ［ログイン］を押します。

本機にログインします。

3 本体操作パネルの**ボックス**を押します。

➔ アプリケーションメニューが表示される場合は、［ボックス］を押してください。

4 ［システム］の［認証＆プリントボックス］を選択し、［利用 / 整理］を押します。

5 印刷したい文書を選択し、［印刷］を押します。

➔ 文書の内容やプレビューは、［文書詳細］で確認できます。

➔ 操作を中止する場合は、［中止］を押します。

6 ジョブの削除を確認する画面が表示される場合は、処理方法を選択します。

➔ ［印刷＆文書削除］を選択すると、［認証＆プリントボックス］の文書を削除して印刷します。

文書が印刷されます。

参考

- 本機の［管理者設定］で［環境設定］－［ボックス設定］－［認証＆プリント印字後削除設定］を［ユーザーに確認］に設定している場合に［認証 ＆ プリントボックス］から文書を指定して印刷すると、ジョブの削除を確認する画面が表示されます。詳しくは、13-45 ページをごらんください。

認証装置でログインする

1　［認証装置］を押し、［印刷開始］を押します。

2　認証装置に指または IC カードでタッチします。

ユーザーが認証されるとジョブが出力されます。

➔ ［印刷＆基本画面へ］でログインすると、ジョブの出力と通常のログインができます。

➔ ［基本画面へ］でログインすると、通常のログインのみとなり、ジョブは出力されません。ログイン後に［認証＆プリントボックス］を開いて文書を印刷してください。

➔ 複数のジョブがある場合、［認証＆プリント動作設定］が［全ジョブ印刷］に設定されているときは 1 回の認証で全てのジョブが出力され、［1 ジョブ印刷］に設定されているときは蓄積された順に 1 ジョブずつ出力されます。

参考

- ［認証＆プリント動作設定］は、本機の［管理者設定］の［ユーザー認証 / 部門管理］－［ユーザー認証設定］－［管理設定］－［認証＆プリント動作設定］で設定できます。詳しくは、13-48 ページをごらんください。
- 複数のジョブがある場合に文書を選択して印刷したい場合は、［基本画面へ］を押し、［認証＆プリントボックス］から文書を印刷してください。
- 認証装置装着時でも［本体認証］でユーザー情報を入力して印刷することができます。詳しくは、12-25 ページをごらんください。
- 初期画面で選択されている動作（［印刷開始］、［印刷 & 基本画面へ］、［基本画面へ］）は、［管理者設定］－［ユーザー認証 / 部門管理］－［ユーザー認証設定］－［管理設定］－［認証後のデフォルト動作設定］の設定で変更できます。詳しくは、13-49 ページをごらんください。

参考

- オプションの**認証装置**については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

12.7 携帯電話 /PDA からの印刷

Bluetooth 機能を搭載した携帯電話や PDA を本機に無線接続して、携帯電話や PDA に保存されているデータを印刷することや、本機のボックスに保存することができます。

12.7.1 動作条件について

本機と接続できる携帯電話 /PDA および印刷できるファイル形式は、以下の条件です。

通信プロトコル	Bluetooth Ver.2.0+EDR
対応プロファイル	OPP/BPP/SPP
対応ファイル形式	PDF/ コンパクト PDF/XPS/ コンパクト XPS/TIFF/JPEG/ XHTML/RepliGo ・ XHTML 形式の場合、文字コードは UTF-8/Shift-JIS/ISO-8859、リンクファイルの拡張子は JPEG/JPG/PNG に対応しています。 ・ RepliGo のバージョンは、2.1.0.9 に対応しています。
PIN コード	4 桁の数字

参考

- 携帯電話 /PDA から印刷をする場合は、オプションの**ローカル接続キット EK-605** が必要です。また、Bluetooth 通信ができるよう設定が必要です。事前にサービスエンジニアにご相談ください。
- XHTML 形式の印刷でリンクファイルにアクセスできない場合は、[ユーザー設定] ‒ [携帯電話 /PDA 設定] ‒ [リンクファイルエラー時の出力] の設定により、印刷されない、もしくは黒枠で印刷されます。詳しくは、13-33 ページをごらんください。
- XHTML 形式の印刷でリンクファイルにアクセスするには、本機の [WebDAV 設定] が必要です。接続にプロキシを利用する場合は、[管理者設定] ‒ [ネットワーク設定] ‒ [WebDAV 設定] ‒ [WebDAV クライアント] ‒ [プロキシサーバーアドレス] にプロキシサーバーを登録し、[ユーザー設定] ‒ [携帯電話 /PDA 設定] ‒ [プロキシサーバー使用] を [する] に設定してください。詳しくは、13-35 ページをごらんください。
- 障害物や電波状況、磁場、静電気により、通信速度が遅くなったり、通信できない場合があります。
- 携帯電話や PDA のセキュリティーにより、保護された文書や画像データなど送信できない場合があります。

12.7.2 印刷する

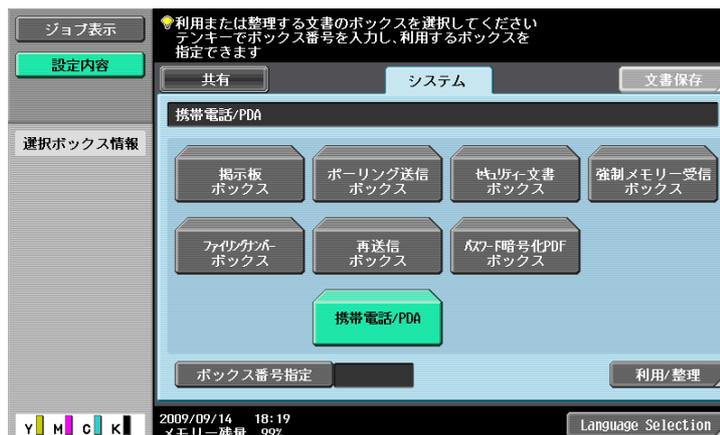
参考

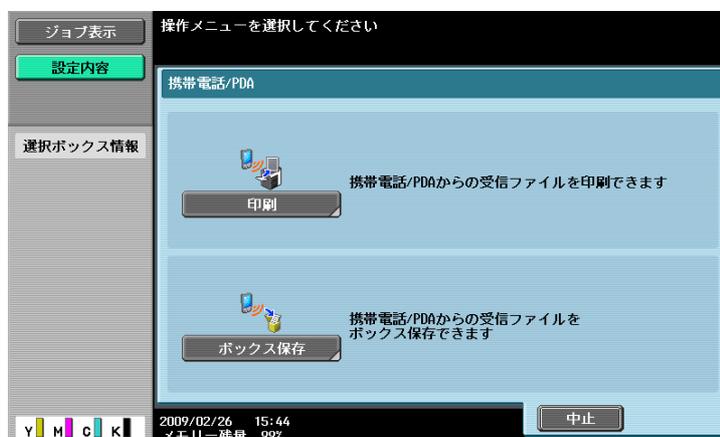
- 携帯電話 /PDA から印刷を行うには、あらかじめ [管理者設定] ‒ [システム連携] ‒ [携帯電話 /PDA 設定] を [許可する] に設定してください。詳しくは 13-57 ページをごらんください。また、Bluetooth 通信を利用するため、本機の [Bluetooth 設定] を有効にしておく必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。
- 本機の [ユーザー認証] が設定されている場合、登録ユーザーであっても、携帯電話 /PDA からの印刷が許可されていない場合は印刷できません。ユーザー認証については、本機の管理者にお問合わせください。
- 本機のボックス機能については、[ユーザーズガイド ボックス機能編] をごらんください。
- 携帯電話 /PDA の操作については、携帯電話 /PDA の説明書をごらんください。

1 携帯電話 /PDA を Bluetooth 通信できる状態にしてください。

2 本体操作パネルの**ボックス**を押します。

➔ アプリケーションメニューが表示される場合は、[ボックス] を押してください。

3　［システム］の［携帯電話 /PDA］を選択し、［利用 / 整理］を押します。

4　［印刷］を押します。

➔ ボックスに保存するときは、［ボックス保存］を押してから、保存するボックスを選択します。

5　表示される PIN コードを確認します。

6　携帯電話 /PDA で本機を選択します。

➔ 送信するデータを選択できる場合は選択します。

7　携帯電話 /PDA で 4 桁の PIN コードを入力します。

➔ 印刷の設定は、［印刷設定確認］で確認できます。

PIN コードが確認されると、接続が確立し、データの送信と印刷が始まります。

参照

携帯電話 /PDA からの印刷の設定を行う場合は、［ユーザー設定］－［携帯電話 /PDA 設定］－［印刷設定］で設定できます。詳しくは、13-36 ページをごらんください。

12.8 暗号化ワードをユーザー設定する

本機とプリンタードライバーは、ユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書のパスワードを暗号化共通鍵で暗号化して通信します。

暗号化共通鍵を生成する暗号化ワードは初期値で設定されていますが、ユーザー定義の暗号化ワードで生成することもできます。

暗号化ワードをユーザー定義する場合は、本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。

参考

- 本機とプリンタードライバーの暗号化ワードの値が異なる場合は、本機が暗号化されたユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書パスワードを復号することができないため、印刷されません。
- 暗号化共通鍵は、[暗号化ワード] で自動生成されます。暗号化共通鍵を直接設定することはできません。

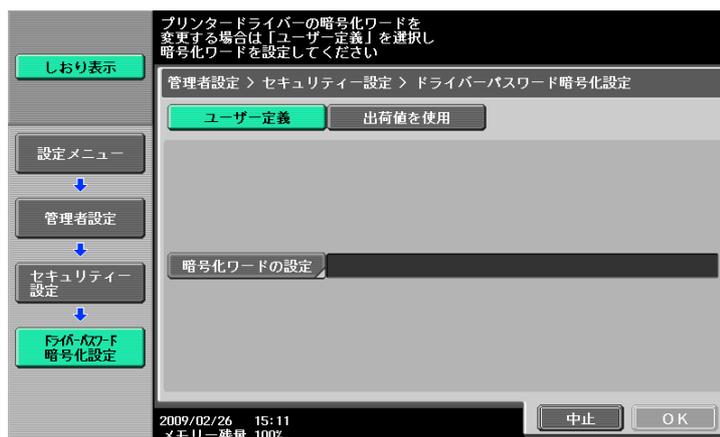
12.8.1 本機の設定

本機の設定は、管理者設定で行います。

1 [管理者設定] 画面で、[セキュリティー設定] を押します。

2 [セキュリティー設定] 画面で、[ドライバーパスワード暗号化設定] を押します。

3 [ユーザー定義] を押します。

➔ [暗号化ワード] をユーザー定義に設定しない場合は、[出荷値を使用] を押します。

4 [暗号化ワードの設定] を押します。

5　［暗号化ワード］を押し、暗号化ワードを入力します。

➔［暗号化ワード］は 20 文字の英数記号で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ［暗号化ワード］を設定してください。

➔「1111 ･･･」など、同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

6　［暗号化ワード確認入力］を押し、暗号化ワードを再入力します。

7　［OK］を押します。

暗号化ワードが設定されます。

12.8.2 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

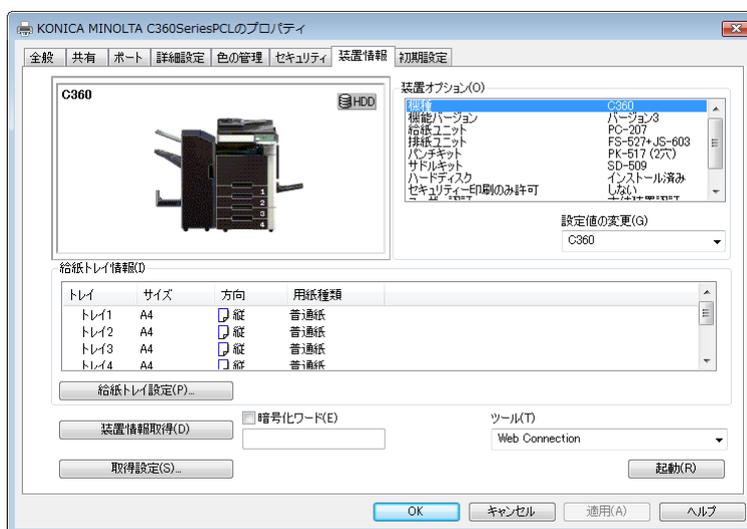
Windows の場合

1 プロパティ画面を表示します。

➔ プロパティ画面は、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開き、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックして表示させます。

2 ［装置情報］タブをクリックします。

3 ［暗号化ワード］をチェックし、暗号化ワードを入力します。

➔ ［暗号化ワード］をユーザー定義に設定しない場合は、［暗号化ワード］のチェックを外します。

➔ ［暗号化ワード］は 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ［暗号化ワード］を設定してください。

➔ 同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

➔ OpenAPI で SSL が有効な場合で、プリンタードライバーの装置情報の自動取得が可能であれば、暗号化共通鍵を本機側から取得することもできます。

4 ［OK］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 ［出力方法］画面を表示します。

2 ［詳細設定 ...］をクリックします。

［詳細設定］ダイアログが表示されます。

3 ［管理者設定］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

［管理者設定］ダイアログが表示されます。

4 ［暗号化ワード :］をチェックし、暗号化ワードを入力します。

➔ ［暗号化ワード :］をユーザー定義に設定しない場合は、［暗号化ワード :］のチェックを外します。

➔ ［暗号化ワード :］は 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ［暗号化ワード :］を設定してください。

➔ 同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

5 ［OK］をクリックします。

12.9 ICC プロファイルの設定

プリンタードライバーには、本機に登録されている ICC プロファイルを印刷時に指定する機能があります。

参考

- 本機に登録されている ICC プロファイルの初期値は、[ICC プロファイル設定] で設定できます。詳しくは、13-26 ページをごらんください。
- 本機に新たに追加した ICC プロファイルを利用するためには、あらかじめ本機の ICC プロファイルをプリンタードライバーに登録する必要があります。詳しくは、12-38 ページをごらんください。

12.9.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 2 種類です。

- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

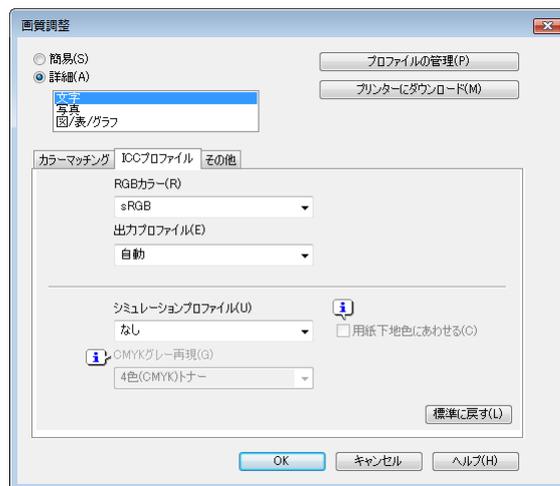
Windows の場合

1 ［画像品質］タブを表示します。

2 ［画質調整 ...］をクリックします。

［画質調整］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［詳細］をクリックし、文書の種類を選択します。

4 ［ICC プロファイル］タブをクリックします。

5 ［RGB カラー］、［出力プロファイル］、［シミュレーションプロファイル］の各項目を選択します。

➔ プリンタードライバーに登録されている ICC プロファイルが選択できます。

印刷時に、選択したプロファイルによってカラー処理が行われます。

6 ［OK］をクリックします。

Mac OS X の場合

1　［画像品質］画面を表示します。

2　［画質調整 ...］をクリックします。

［画質調整］ダイアログが表示されます。

3　印刷する文書の種類に対応した、［RGB カラー :］、［出力プロファイル :］、［シミュレーションプロファイル :］の各項目を選択します。

➔ プリンタードライバーに登録されている ICC プロファイルが選択できます。

印刷時に、選択したプロファイルによってカラー処理が行われます。

4　［OK］をクリックします。

12.10 プリンタードライバーに ICC プロファイルを登録する

本機にダウンロードして追加登録されている ICC プロファイルをプリンタードライバーに登録することができます。

登録されたプロファイルは、印刷時に指定できます。

参考

- 本機への ICC プロファイルの登録は、「DownloadManager（bizhub）」アプリケーションで行います。詳しくは、アプリケーションのヘルプをごらんください。

12.10.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 2 種類です。

- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

Windows の場合

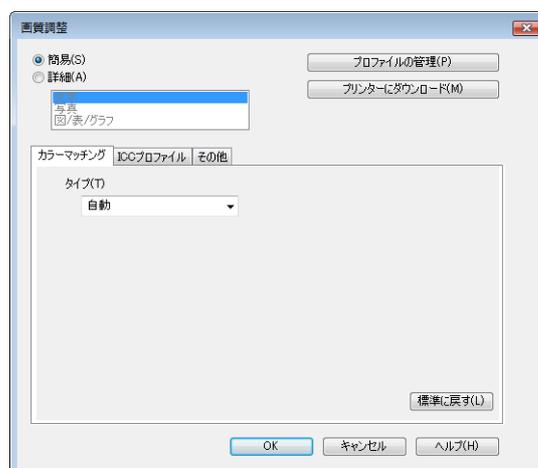
✔ ［カラープロファイルの管理］は本機と通信し、本機が利用できる ICC プロファイルを読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

✔ USB 経由で接続されている場合は、本機が利用できる ICC プロファイルを読み取ることができません。

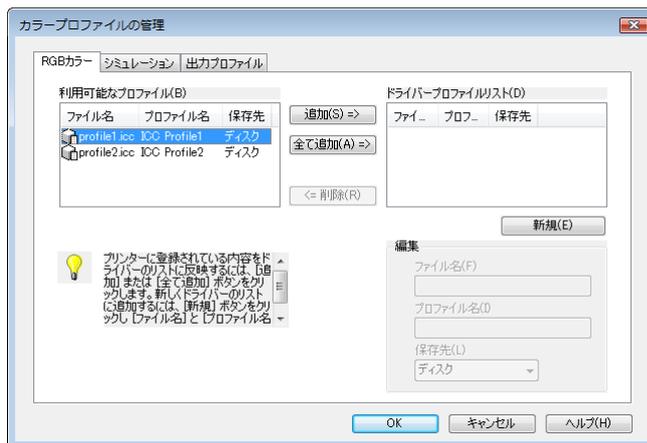
1 ［画像品質］タブを表示します。

2 ［画質調整 ...］をクリックします。

［画質調整］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［プロファイルの管理］をクリックします。

［カラープロファイルの管理］ダイアログボックスが表示されます。

➔ ［プリンターにダウンロード］をクリックすると「Download Manager（bizhub）」アプリケーションが起動します。この機能は、「Download Manager（bizhub）」インストール時のみ有効です。

4 本機に追加登録した利用可能なプロファイル一覧が表示されることを確認します。

5 タブをクリックし、カラープロファイルの種類を選択します。

6 ［利用可能なプロファイル］一覧から利用するプロファイルを選択し、［追加］をクリックします。

➔ 現在のドライバー設定をプロファイルとして登録する場合は、［新規］をクリックして［ファイル名］、［プロファイル名］を入力します。

➔ プロファイル名は、［編集］で変更できます。

選択したプロファイルが［ドライバープロファイルリスト］に追加され、［画質調整］ダイアログボックスの ICC プロファイルの項目で選択できるようになります。

7 ［OK］をクリックします。

Mac OS X の場合

✔ ［カラープロファイルの管理］は本機と通信し、本機が利用できるプロファイルを読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

1 ［画像品質］画面を表示します。

2 ［画質調整 ...］をクリックします。

［画質調整］ダイアログが表示されます。

3 ［プロファイルの管理］をクリックします。

［カラープロファイルの管理］ダイアログが表示されます。

➔ ［プリンターにダウンロード］をクリックすると「Download Manager（bizhub）」アプリケーションが起動します。この機能は、「Download Manager（bizhub）」インストール時のみ有効です。

4　本機に追加登録した利用可能なプロファイル一覧が表示されることを確認します。

5　ドロップダウンリストでカラープロファイルの種類を選択します。

6　［利用可能なプロファイル］一覧から利用するプロファイルを選択し、［追加］をクリックします。

➔ 現在のドライバー設定をプロファイルとして登録する場合は、［新規］をクリックして［ファイル名］、［プロファイル名］を入力します。

➔ プロファイル名は、［新規 / 編集］で変更できます。

選択したプロファイルが［ドライバープロファイルリスト］に追加され、［画質調整］ダイアログのプロファイルの項目で選択できるようになります。

7　［OK］をクリックします。

12.11 長尺紙印刷機能

本機では、操作パネルの設定により 1200 mm までの用紙を手差しトレイにセットし、印刷することができます。

以降本文中では、長い用紙をセットして印刷することを長尺紙印刷と呼びます。

12.11.1 用紙について

使用できる用紙

用紙幅	用紙長	用紙坪量
210 mm ～ 297 mm	457.3 mm ～ 1200 mm	127 g/m^2 ～ 210 g/m^2 （プリンタードライバーで、お使いの長尺用紙の坪量に対応した用紙種類を選択してください。 127 g/m^2 ～ 157 g/m^2：厚紙 1、厚紙 1（2 面目） 158 g/m^2 ～ 209 g/m^2：厚紙 2、厚紙 2（2 面目） 210 g/m^2：厚紙 3、厚紙 3（2 面目））

12.11.2 プリンタードライバーの種類と対応 OS

長尺紙印刷に対応しているドライバーは以下のとおりです。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー）
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー（XPS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

12.11.3 プリンタードライバーを設定する

印刷する用紙サイズを不定形サイズとして設定します。

Windows の場合

1 ［基本設定］タブをクリックします。

➔ PCL コニカミノルタ製ドライバーの場合、不定形サイズの設定は、Windows の［プリンタ］（Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］）ウィンドウから開くプリンタードライバーの［初期設定］タブであらかじめ登録しておくこともできます。

2 ［原稿サイズ］または［用紙サイズ］から［不定形サイズ］を選択します。

［不定形サイズ設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 不定形サイズの幅、長さを単位に合わせて設定し、［OK］をクリックします。

［設定変更の確認］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［はい］をクリック選択します。

5 必要に応じて、［給紙トレイ別用紙設定］、［手差し］、［用紙種類］、その他の項目を設定します。

6 ［OK］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

2 カスタムサイズの登録画面を開きます。

➔ OS X 10.4/10.5 の場合は、用紙サイズの一覧から［カスタムサイズを管理 ...］を選択します。
➔ OS X 10.2/10.3 の場合は、［設定：］から［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3 ［+］（OS X 10.4/10.5）または［新規］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。

4 用紙サイズの名称を入力します。

➔ A4、Custom など、既存の定型紙の名称は使用できません。

5 各項目を設定します。

➔ ページサイズ（用紙サイズ）：使用する長尺紙の用紙サイズを設定します。
長尺紙の仕様範囲（用紙幅：210 mm ～ 297 mm、用紙長：457.3 mm ～ 1200 mm）で設定してください。
➔ プリンタの余白：用紙の余白を設定します。

6 ［OK］（OS X 10.4/10.5）または［保存］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。

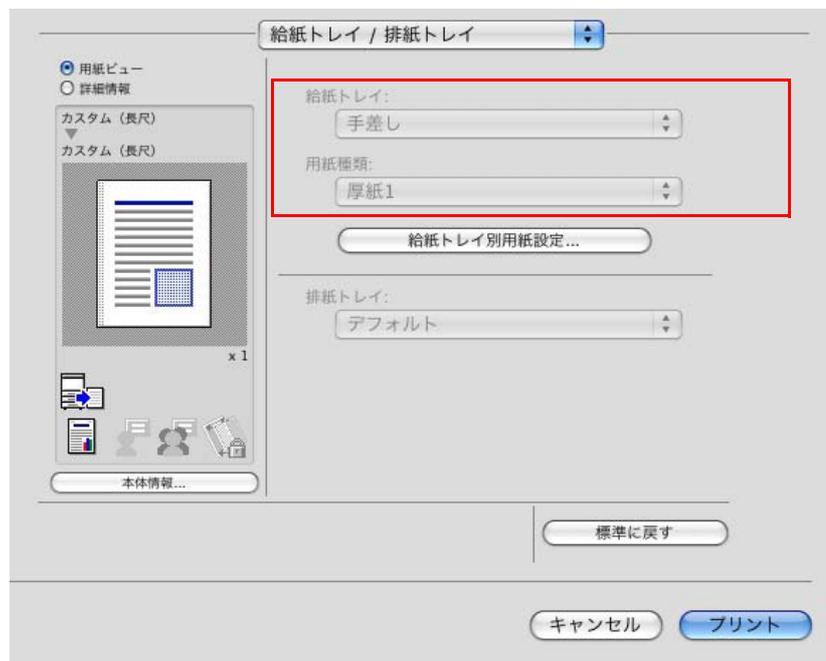
カスタム用紙サイズが登録されます。

7 作成したカスタム用紙サイズを［ページ属性］の用紙サイズで選択します。

OS X 10.5 の場合は、プリント画面の［用紙サイズ：］でも選択できます。

8 ［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］）を選択してプリント画面を表示します。

9 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］が「手差し」、［用紙種類 :］が使用する用紙種類（「厚紙 1 ～ 3」など）に設定され、変更できない（グレーアウトになっている）ことを確認します。

➔ ［用紙種類 :］が正しくないときは［給紙トレイ別用紙設定 ...］で設定してください。
➔ 設定した用紙サイズが長尺紙の仕様範囲になっていない場合は、［給紙トレイ :］や［用紙種類 :］がグレーアウトにならず、変更できる状態になっています。この場合は、カスタム用紙サイズの設定を確認してください。

10 必要に応じて、その他の項目を設定し、［プリント］をクリックします。

参考

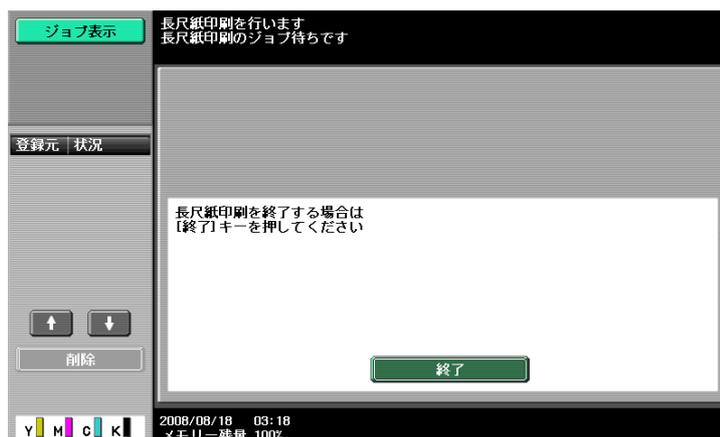
- 設定した用紙サイズや用紙種類が長尺紙の仕様範囲になっていない場合は、印刷時にエラーメッセージが表示される、または、ジョブが破棄されて印刷できません。

12.11.4 印刷する

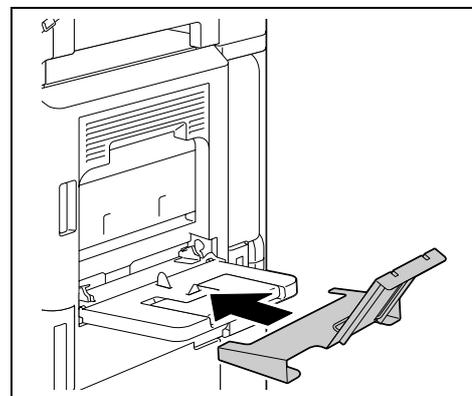
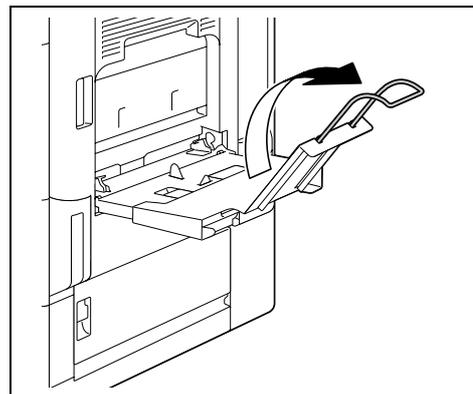
1 操作パネルの**設定メニュー / カウンター**を押します。

2 ［長尺紙印刷］を押します。

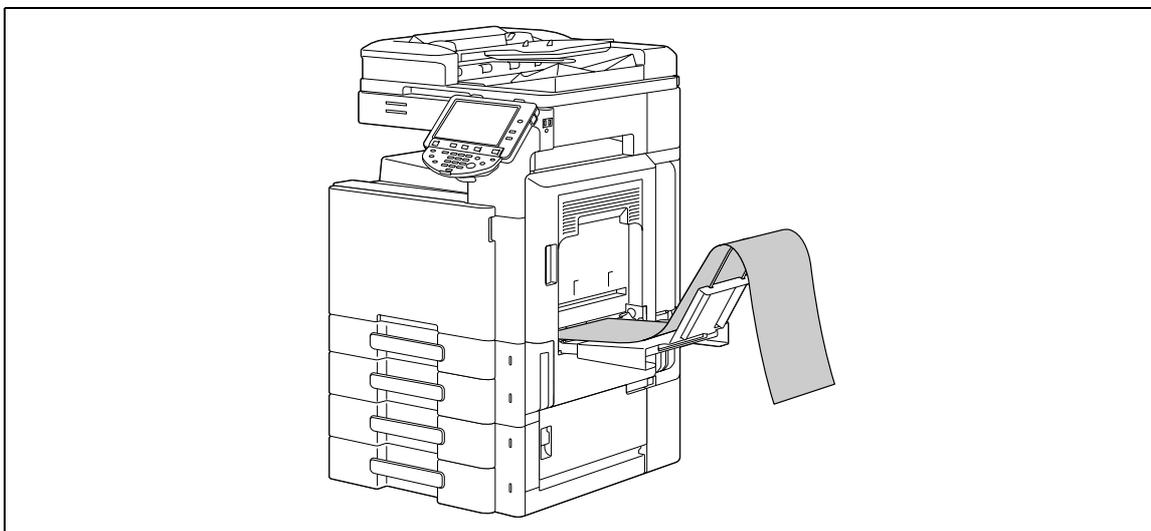
3 ［許可する］を押し、［OK］を押します。

4 長尺紙印刷のジョブ待ち画面になったことを確認し、コンピューターから長尺紙サイズの文書データを送って印刷します。

➔ 長尺紙サイズ以外のデータを送った場合はジョブが破棄されます。

5 **手差しトレイ**を開きます。

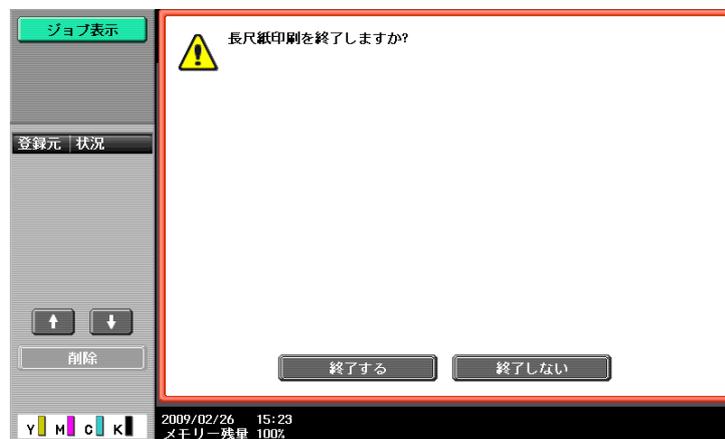
6 **手差しトレイ**に**取り付けキット**を取り付けます。

7 **取り付けキット**の**ガイド**を立てます。

8 印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差し込んでセットします。

印刷する枚数分をセットします。

9 **手差しトレイ**の**ガイド板**をスライドさせ、用紙サイズに合わせます。

10 以下の画面が表示された場合は、[セット完了] を押します。

データが印刷されます。
印刷後に排出される用紙を手で支えながら印刷してください。
続いて印刷する場合は、コンピュータから文書データを送ると印刷されます。

11 印刷を終了する場合は［終了］を押します。

12 ［終了する］を押します。

12.12 bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能

bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能は、サーバーに印刷データを蓄積（スプール）し、任意の複合機でサーバーから印刷データをダウンロードして印刷する機能です。

ここでは、プリントデータスプール機能の操作方法を説明します。

参考

- bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能を使用するためには､別途 bizmic PS Lite をご購入いただき、あらかじめサーバーとクライアントの環境を構築する必要があります。詳しくは、bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

12.12.1 印刷データをスプールする

プリンタードライバーの設定

印刷データを送信する前に、プリンタードライバーで以下の設定を行います。プリンタードライバーの設定について詳しくは、bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

- プロパティ画面の［装置情報］タブで、印刷する複合機の装置情報を取得する。
- 印刷設定画面の［基本設定］タブで、［ユーザー認証］と［部門管理］を設定する。

参考

- スプールしたデータを複合機から印刷するには、印刷する複合機に対応したプリンタードライバーを使用して、データをスプールする必要があります。印刷する複合機に応じて、対応するプリンタードライバーのポートの設定を変更してください。詳しくは bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

印刷データを送信する

サーバーに印刷データをスプールするには、印刷先のプリンターとして仮想プリンターを指定します。

参照

仮想プリンターについて詳しくは、bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

1. アプリケーションソフトウェアでデータを開き、メニューなどから印刷機能を選択します。
2. 印刷先のプリンターとして仮想プリンターを指定します。
3. 印刷を実行します。

   印刷データがサーバーに送信され、スプールされます。

12.12.2 複合機から印刷する

サーバーに登録されている複合機から、スプールしたデータを印刷します。

印刷方法には、認証と同時に印刷する方法と、ログイン後にサーバー内の印刷データを指定して印刷する方法があります。

オプションの**認証装置（指静脈　生体認証タイプ）AU-101** または**認証装置（指静脈　生体認証タイプ）AU-102**、**認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201** によるユーザー認証を行っている場合は、認証装置に指または IC カードでタッチするだけで印刷できます。

認証と同時に印刷する

サーバーに複合機を登録すると、複合機のログイン画面に［印刷開始］、［印刷＆ログイン］ボタンが表示されます。

1 本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

➔ 認証方式によって、ログイン画面の表示は異なります。

2 ［印刷開始］を押します。

➔ ［印刷＆ログイン］を押すと、ジョブの出力と通常のログインができます。

スプールされているデータがすべて印刷されます。

印刷データを指定して印刷する

装置にログインしてから、印刷するデータを選択します。

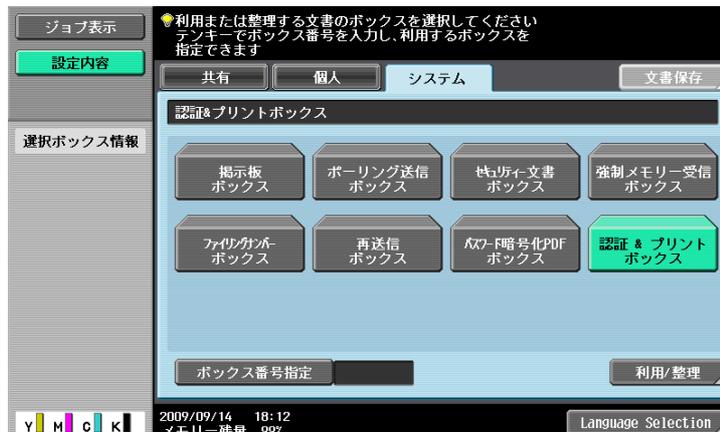
1 本体操作パネルで［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

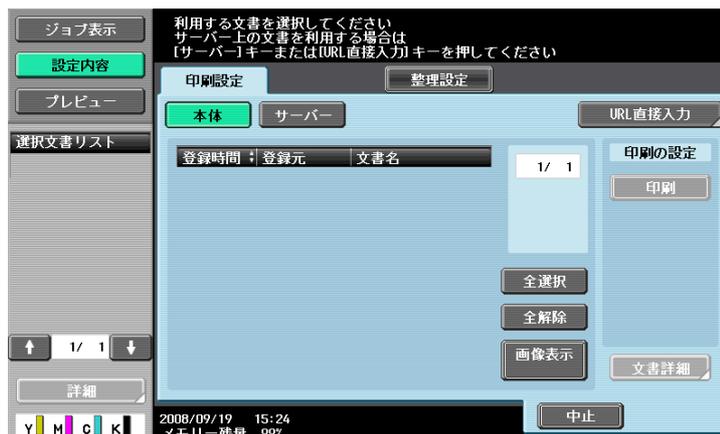
2 ［ログイン］を押します。

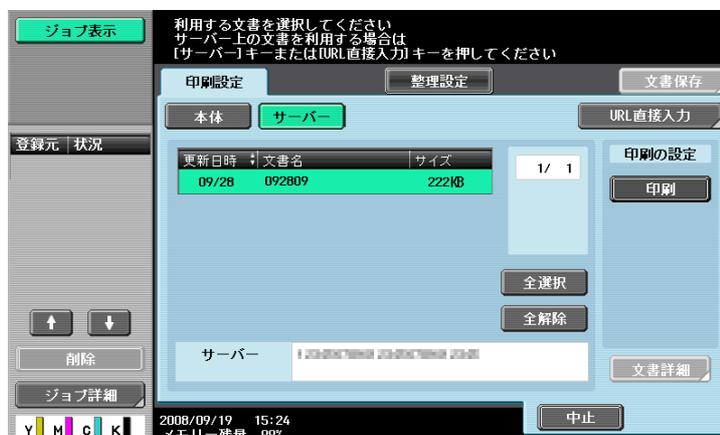
複合機にログインします。

3 本体操作パネルの**ボックス**を押します。

➔ アプリケーションメニューが表示される場合は、［ボックス］を押してください。

4 ［システム］の［認証＆プリントボックス］を選択し、［利用 / 整理］を押します。

5 ［サーバー］を押します。

➔ ［URL 直接入力］を押すと、サーバーの URL、ユーザー名、パスワードを直接指定してアクセスします。

サーバーにスプールされているデータの一覧が表示されます。

6 印刷したいデータを選択し、［印刷］を押します。

➔ ［印刷］を押すと、選択した文書をそのまま印刷するか、印刷後に削除するかを選択する画面が表示されます。［印刷＆文書削除］を選択すると、サーバーの文書を削除して印刷します。

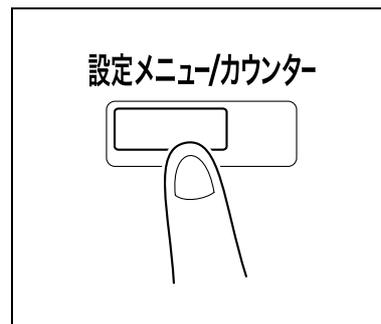
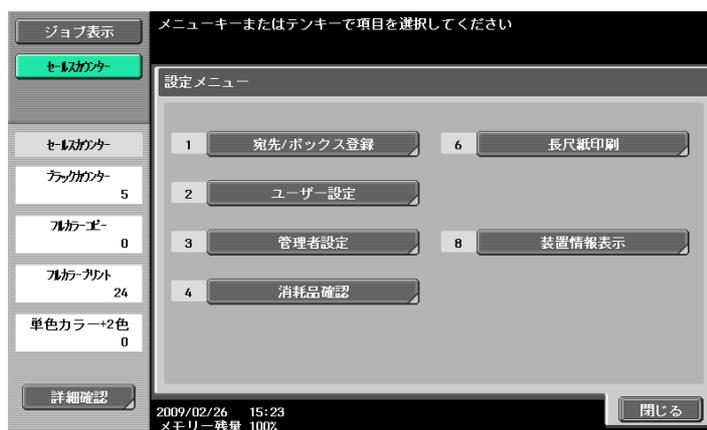
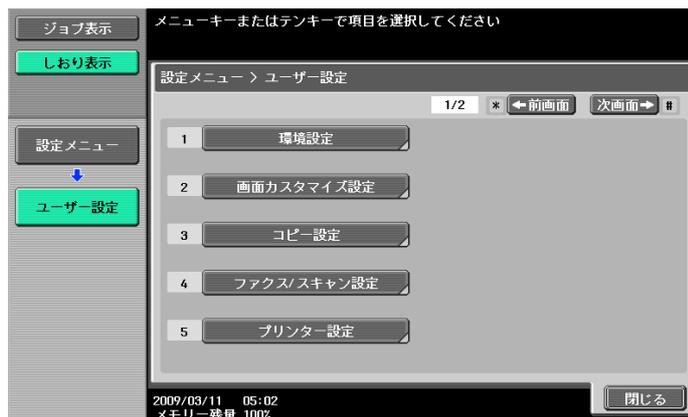
13 操作パネルでの各種設定

13　操作パネルでの各種設定

操作パネルで設定できるプリンター関連の機能を説明します。

13.1　ユーザー設定の基本操作

13.1.1　ユーザー設定画面を表示させるには

1　**設定メニュー / カウンター**を押します。

2　［ユーザー設定］を押します。

ユーザー設定画面が表示されます。

➔ キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。
［ユーザー設定］の場合は、テンキーの 2 と入力します。

➔ 設定メニューの設定を終了するときは、**設定メニュー / カウンター**を押します。コピー、ファクス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

➔ 設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで［閉じる］を押します。サブエリアのメニュー項目を押しても戻ります。

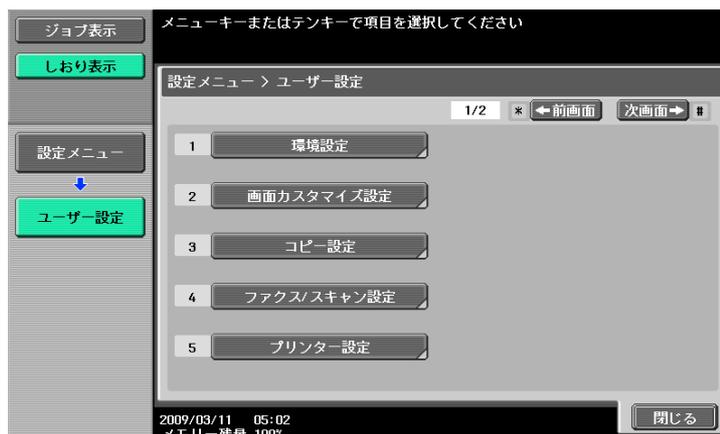
13.2　ユーザー設定

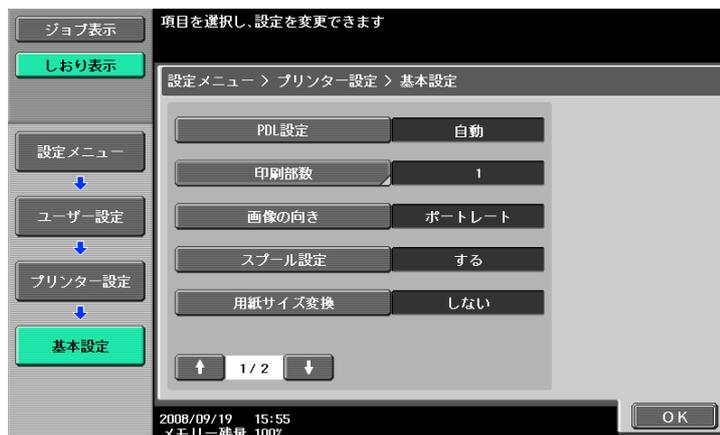
13.2.1　PDL 設定

Page Description Language の設定ができます。（初期値：[自動]）

- ［自動］：PCL と PS を自動で切換えます。
- ［PCL］：PCL を固定で使用します。
- ［PS］：PS を固定で使用します。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

→ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［基本設定］を押します。

3　［PDL 設定］を押します。

4 希望するキーを押します。

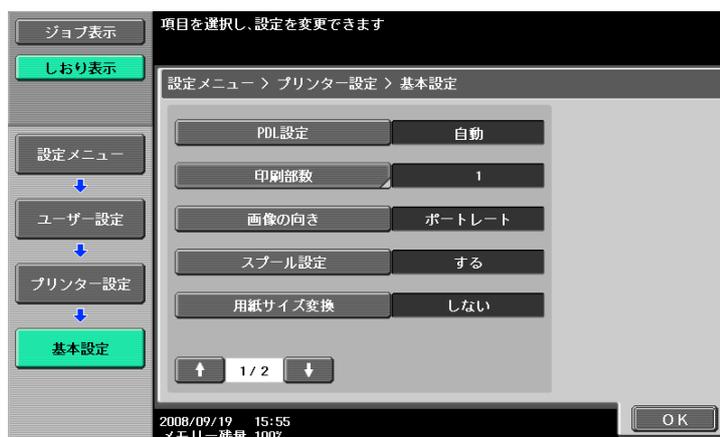
13.2.2 印刷部数

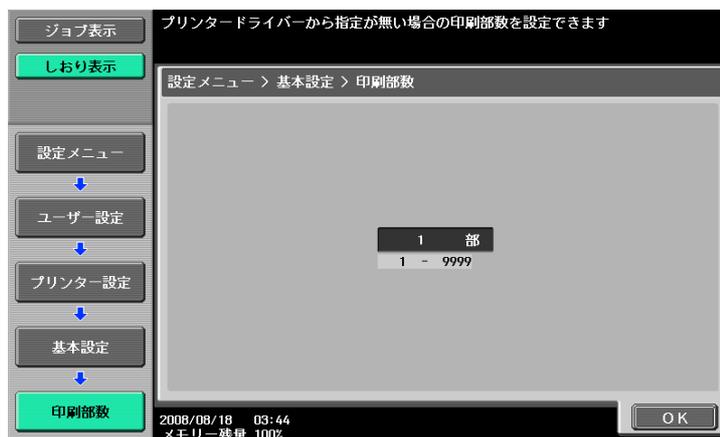
印刷部数の初期値を設定できます。（初期値：1 部）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［基本設定］を押します。

3 ［印刷部数］を押します。

4 C を押し数値をクリアしてから、テンキーで部数を入力します。（1 部～ 9999 部）

➔ 設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

5 ［OK］を押します。

印刷部数が設定されます。

13.2.3 画像の向き

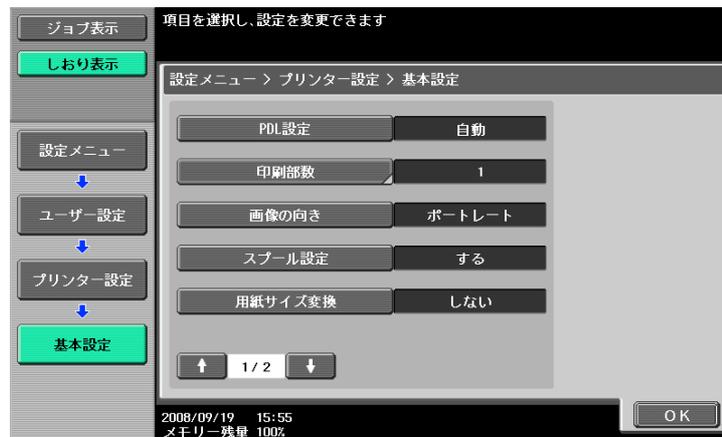
画像の向きの初期値が設定できます。（初期値：［ポートレート］）

- ［ポートレート］：用紙を縦置きにして印刷する画像
- ［ランドスケープ］：用紙を横置きにして印刷する画像

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［基本設定］を押します。

3 ［画像の向き］を押します。

4 希望するキーを押します。

13.2.4 スプール設定

スプールの設定ができます。（初期値：[する]）

- ［する］：ジョブの処理中に次のジョブを受信した場合、HDD にジョブを格納します。
- ［しない］：HDD に印刷データを格納しません。

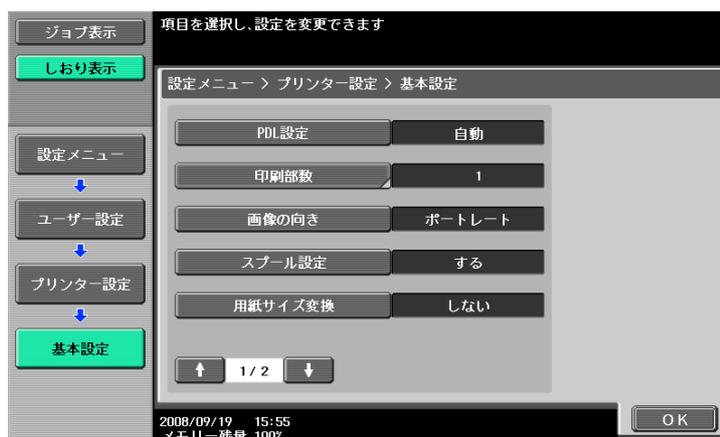
参考

- 通常は、［しない］の設定変更はしないでください。印刷が正常にできない場合があります。

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

→ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［基本設定］を押します。

3 ［スプール設定］を押します。

4 希望するキーを押します。

13.2.5 用紙サイズ変換

プリンタードライバーで指定されている用紙がトレイにセットされていない場合に、A4 ⇔ Letter、A3 ⇔ Ledger の用紙変換をし、近いサイズの用紙で印刷します。（初期値：[しない]）

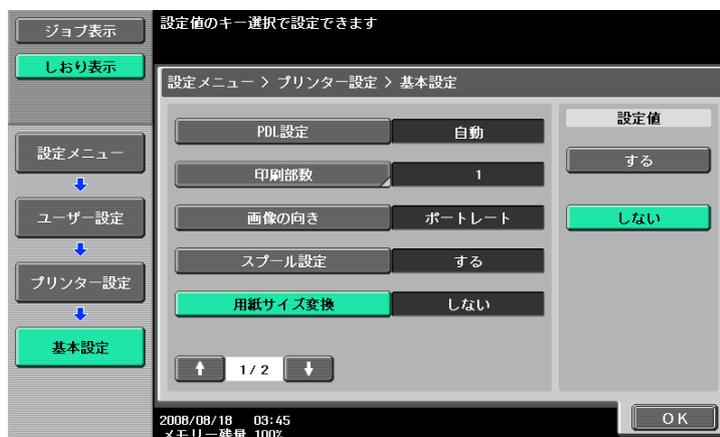
参考

- 強制的に印刷をするため、画像が欠損する場合があります。

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。
   ➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［基本設定］を押します。

3 ［用紙サイズ変換］を押します。

4 希望するキーを押します。

13.2.6　バナーシート設定

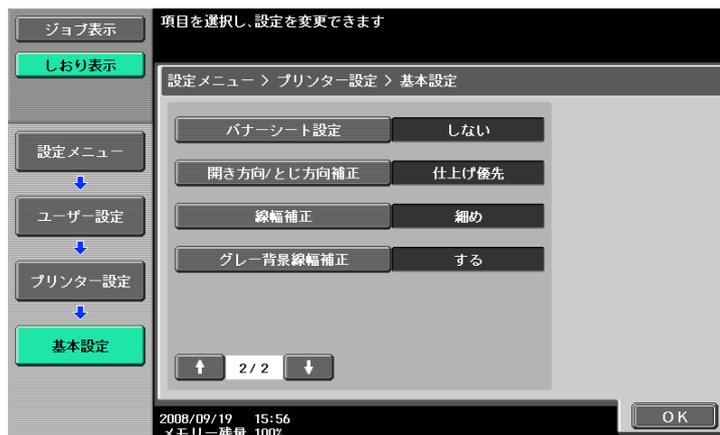
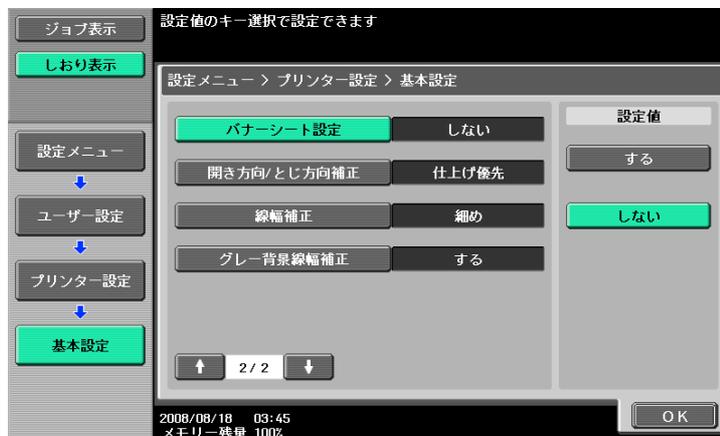
印刷ジョブの送信者や表題などの入ったバナーページ（表紙）を印刷するかどうかを設定できます。（初期値：[しない]）

- [する]：バナーページを印刷します。
- [しない]：バナーページを印刷しません。

1　ユーザー設定画面で、[プリンター設定］を押します。

→ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　[基本設定］を押します。

3　[↑] または [↓] を押してページを切換え、[バナーシート設定］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.2.7　開き方向 / とじ方向補正

両面印刷する場合の辺あわせ（とじ位置補正）処理を設定します。（初期値：[仕上げ優先]）

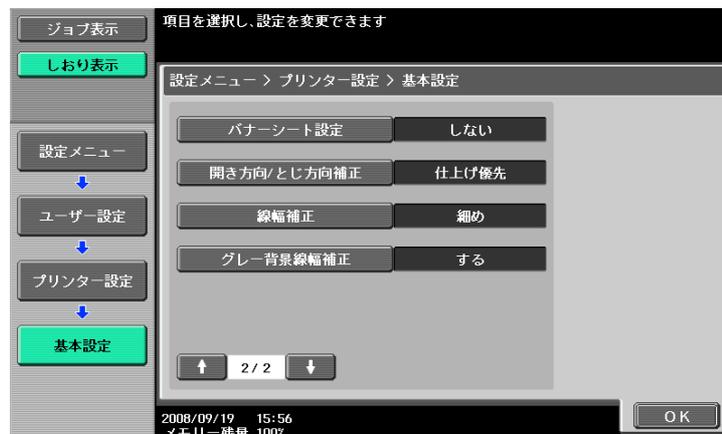
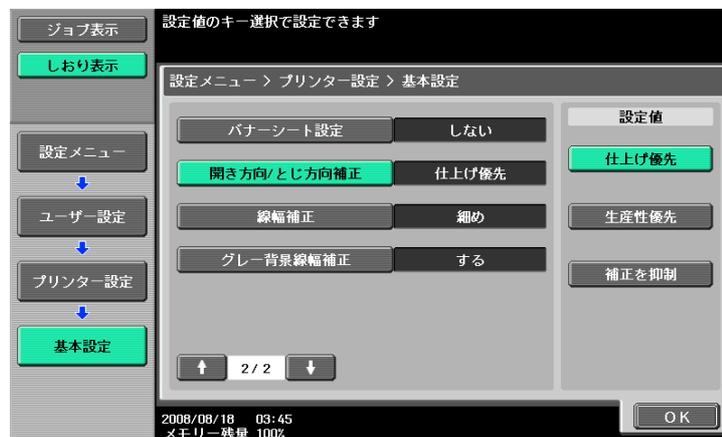
印刷効率を上げたい場合は［生産性優先］に設定してください。辺の位置や幅が思うように揃わない場合は［仕上げ優先］に設定してください。

- ［仕上げ優先］：本機で全印刷データ受信後に辺あわせ処理を行うため全ページを最適に処理できます。
- ［生産性優先］：データを受信／印刷しながら処理するため、印刷処理を効率的に行えます。
- ［補正を抑制］：辺あわせ処理を行わず、プリンタードライバーからの指定にしたがいます。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［基本設定］を押します。

3　［ ↑ ］または［ ↓ ］を押してページを切換え、［開き方向 / とじ方向補正］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.2.8　線幅補正

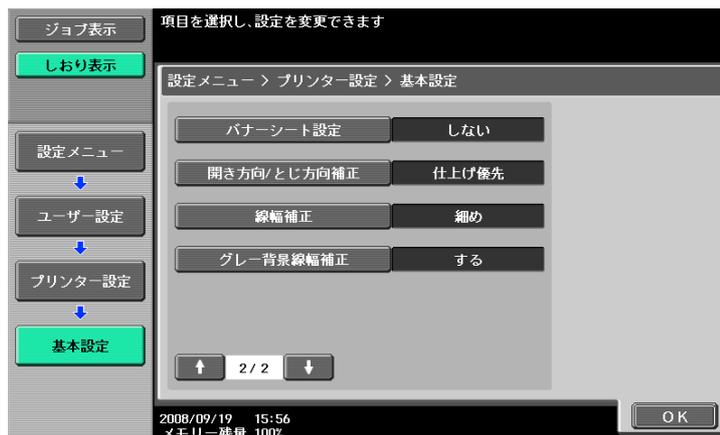
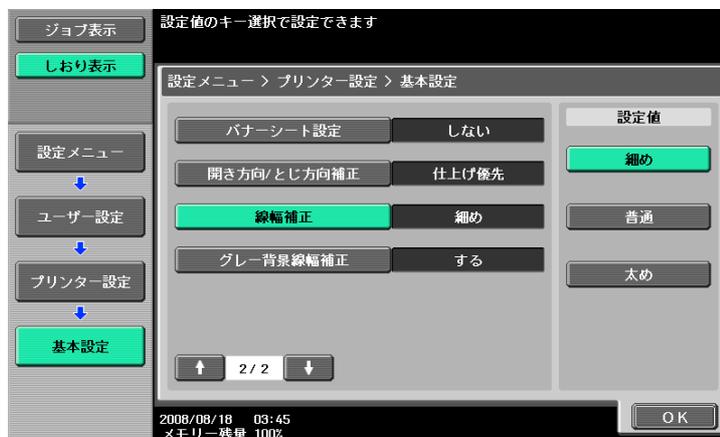
線幅を補正して細い線や小さい文字を見えやすくします。（初期値：[細め]）

- [細め]：文字や線をシャープに描画します。文字や図形の細部を精巧に再現します。
- [普通]：文字や線を中間の太さで描画します。
- [太め]：文字や線を太めに描画します。文字や図形をくっきりと再現します。

1　ユーザー設定画面で、[プリンター設定］を押します。

→ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　[基本設定］を押します。

3　[↑] または [↓] を押してページを切換え、[線幅補正］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.2.9 グレー背景線幅補正

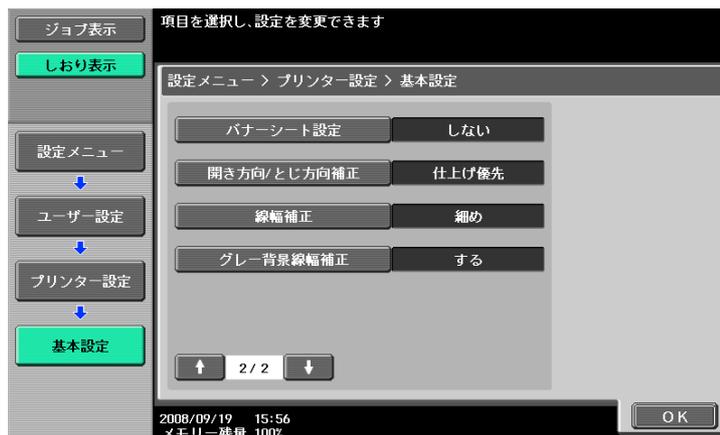
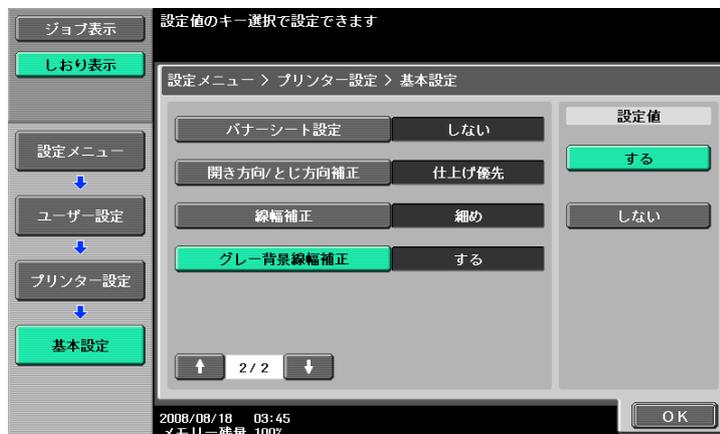
文字や線の背景がグレーの場合、背景がグレー以外の部分と比較すると、文字や線の線幅が太く見えることがあります。本機能で線幅を補正することができます。

- ［する］：グレー部分の文字や線を、グレー以外の部分と同じ太さになるよう補正します。
- ［しない］：補正を行いません。

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［基本設定］を押します。

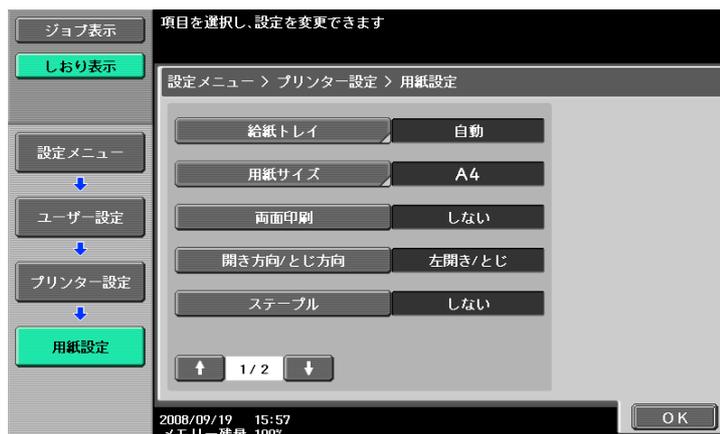
3 ［↑］または［↓］を押してページを切換え、［グレー背景線幅補正］を押します。

4 希望するキーを押します。

13.2.10 給紙トレイ

給紙トレイの初期値を設定できます。（初期値：[自動]）

1 ユーザー設定画面で、[プリンター設定] を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 [用紙設定] を押します。

3 [給紙トレイ] を押します。

4 希望するトレイのキーを押します。

➔ 給紙トレイを自動で選択させる場合は [自動] を押します。

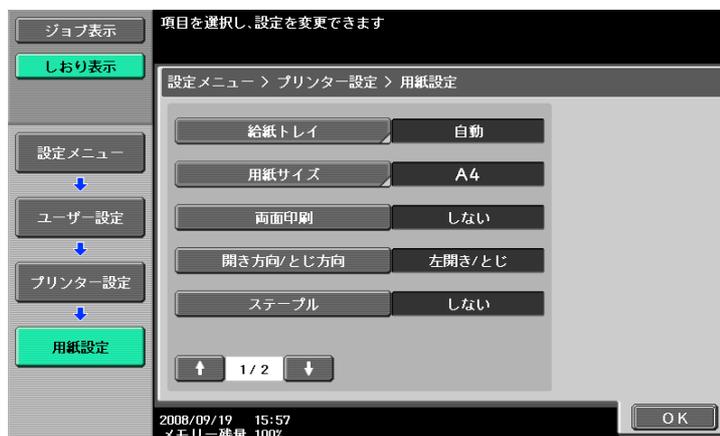
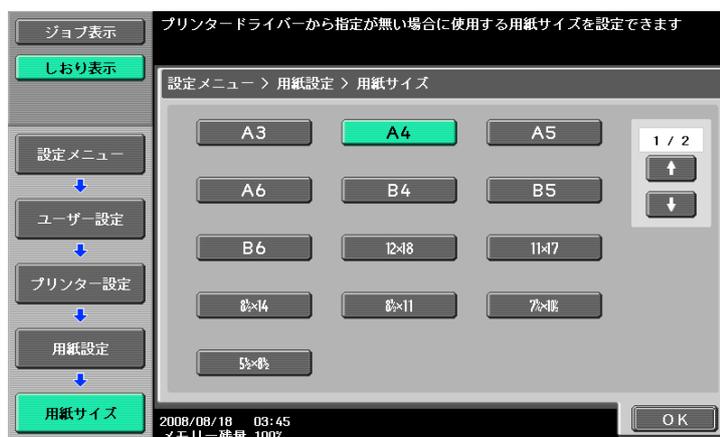
5 [OK] を押します。

13.2.11 用紙サイズ

用紙サイズの初期値を設定できます。（初期値：[A4]）

1 ユーザー設定画面で、[プリンター設定］を押します。
   ➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 [用紙設定］を押します。

3 [用紙サイズ］を押します。

4 希望するキーを押します。
   ➔ その他の用紙を選択するときは、[↑] または [↓] を押してページを切換えます。

5 [OK］を押します。

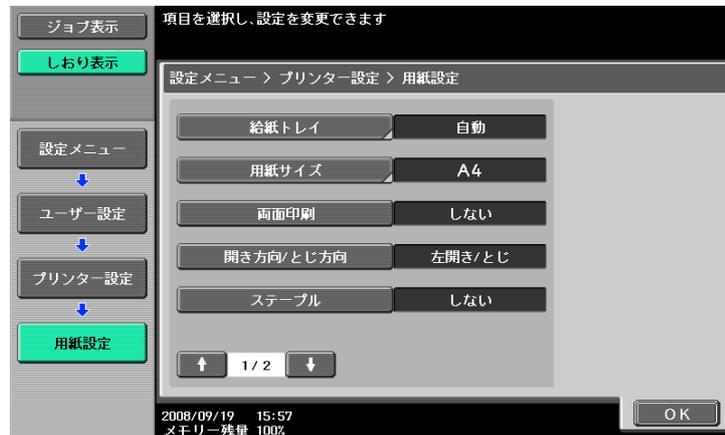
13.2.12 両面印刷

両面印刷の初期値が設定できます。（初期値：[しない]）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［用紙設定］を押します。

3 ［両面印刷］を押します。

4 希望するキーを押します。

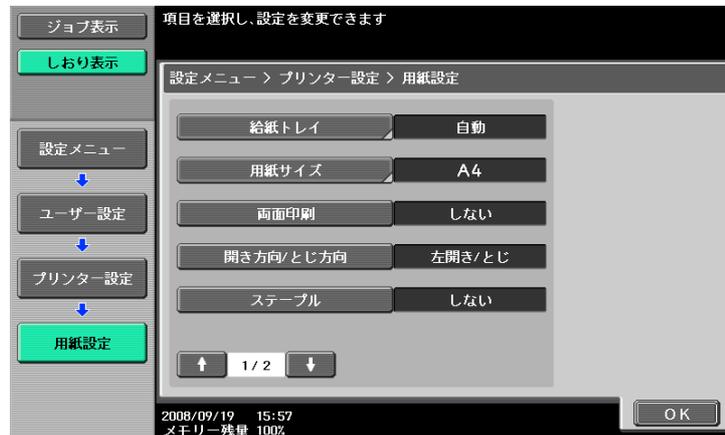
13.2.13 開き方向 / とじ方向

両面印刷時のとじ方向の初期値を設定できます。（初期値：［左開き / とじ］）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［用紙設定］を押します。

3 ［開き方向 / とじ方向］を押します。

4 希望するキーを押します。

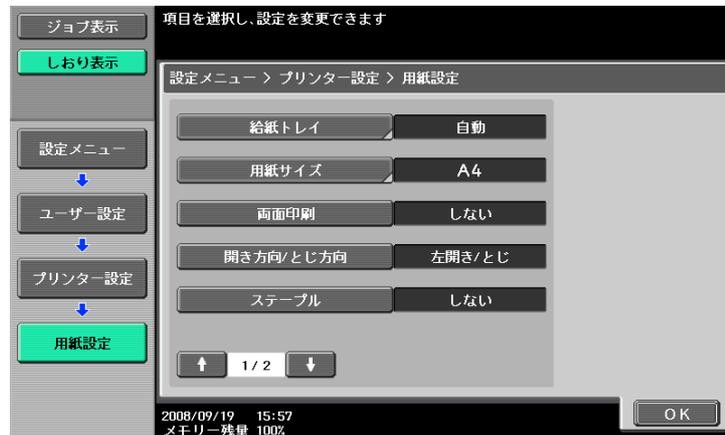
13.2.14 ステープル

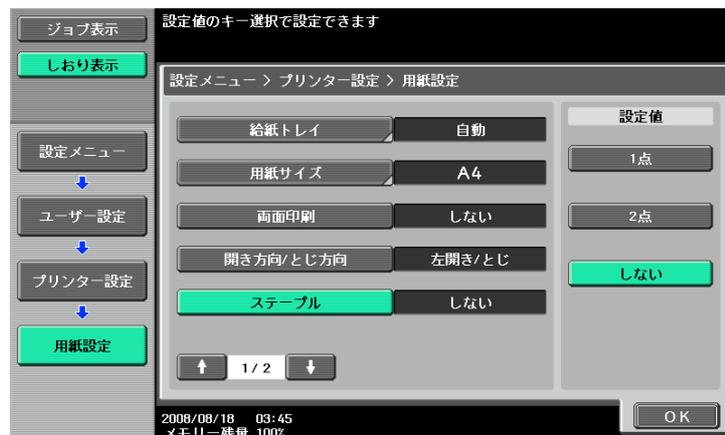
印刷データにステープルの設定情報がない場合のステープルの設定ができます。(初期値:[しない])

1 ユーザー設定画面で、[プリンター設定] を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 [用紙設定] を押します。

3 [ステープル] を押します。

4 希望するキーを押します。

参考

- ステープル機能は、オプションのフィニッシャー FS-527 またはフィニッシャー FS-529 が装着されている場合のみ使用可能となります。

13.2.15 パンチ

印刷データにパンチの設定情報がない場合のパンチの設定ができます。（初期値：[しない]）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［用紙設定］を押します。

3 ［ ↑ ］または［ ↓ ］を押してページを切換え、［パンチ］を押します。

4 希望するキーを押します。

参考

- パンチ機能は、オプションの**フィニッシャー FS-527** にパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。

13.2.16 バナーシート給紙トレイ

バナーページの印刷で使用する給紙トレイを設定できます。（初期値：［自動］）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［用紙設定］を押します。

3 ［ ↑ ］または［ ↓ ］を押してページを切換え、［バナーシート給紙トレイ］を押します。

4 希望するキーを押します。

5 ［OK］を押します。

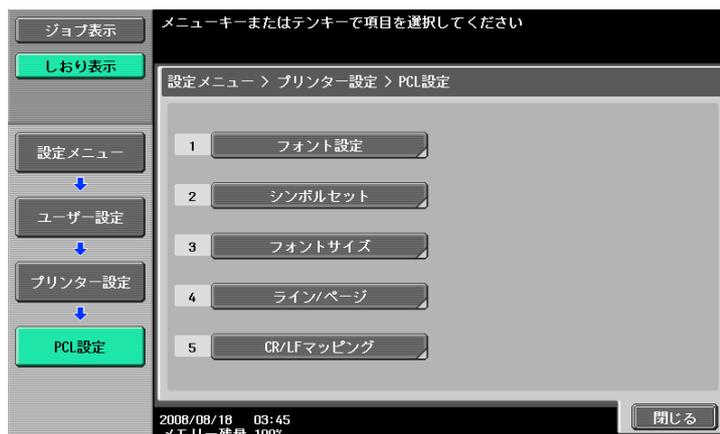
13.2.17 フォント設定

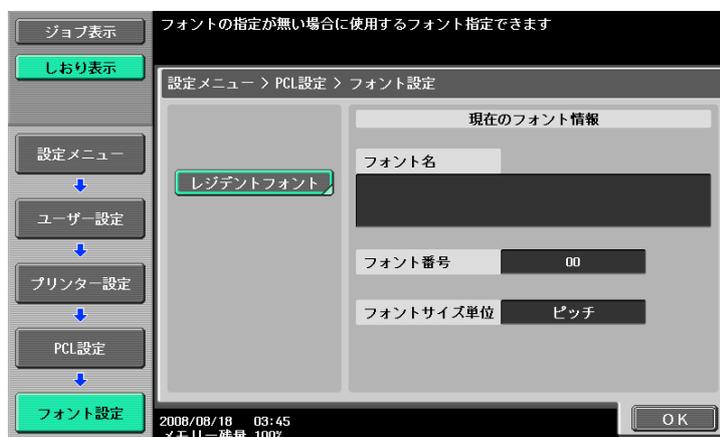
フォントの初期値を設定できます。（初期値：Courier）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［PCL 設定］を押します。

3 ［フォント設定］を押します。

4 ［レジデントフォント］を押します。

➔ ダウンロードフォントがある場合は、［ダウンロードフォント］も選択できます。

5 希望するフォント名を押します。

➔ ［↑］または［↓］を押してページを切換え、希望するフォント名を押します。

➔ 選択したフォントのフォント番号とフォントサイズ単位を確認できます。

6 ［OK］を押します。

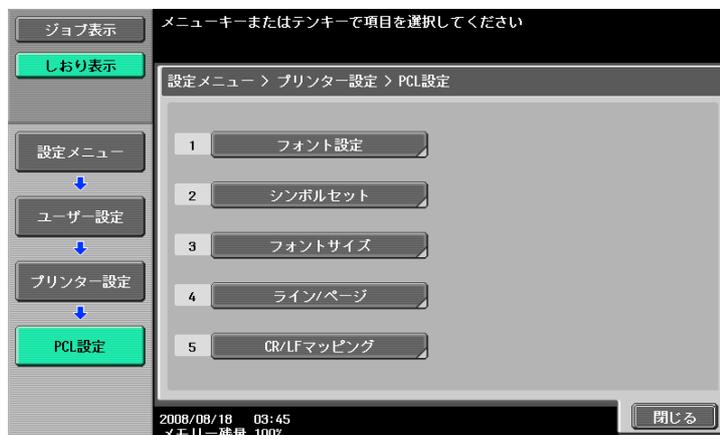
13.2.18 シンボルセット

フォントシンボルセットの初期値を設定できます。（初期値：PC-8、Code Page 437）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［PCL 設定］を押します。

3 ［シンボルセット］を押します。

4　希望するシンボルセット名を押します。

➔［↑］または［↓］を押してページを切換え、希望するシンボルセット名を選択します。

5　［OK］を押します。

13.2.19 フォントサイズ

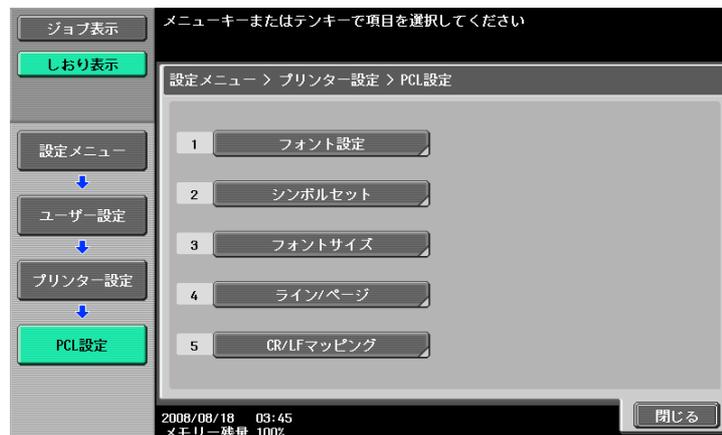
フォントサイズの初期値を設定します。（初期値：［プロポーショナルフォント］-12.00 ポイント／［固定幅フォント］-10.00 ピッチ）

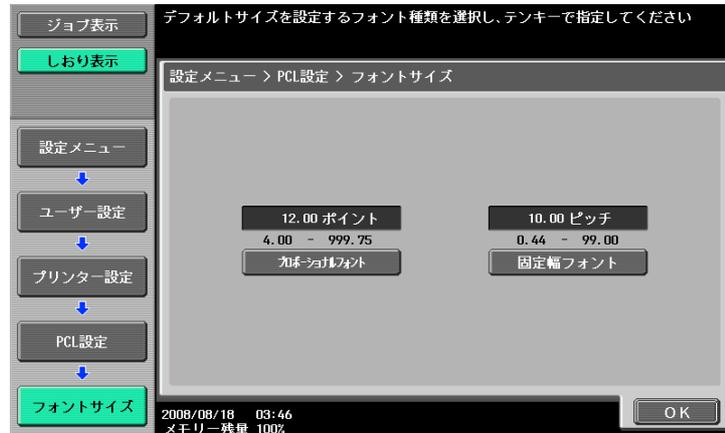
- ［プロポーショナルフォント］：フォントサイズ（単位：ポイント）を設定します。
- ［固定幅フォント］：固定幅フォントの幅をピッチで設定します。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［PCL 設定］を押します。

3　［フォントサイズ］を押します。

4　C を押し数値をクリアしてから、テンキーでサイズを入力します。（プロポーショナルフォント：4.00 ポイント～ 999.75 ポイント、固定幅フォント：0.44 ピッチ～ 99.00 ピッチ）

➔ 設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

5　［OK］を押します。

フォントサイズが設定されます。

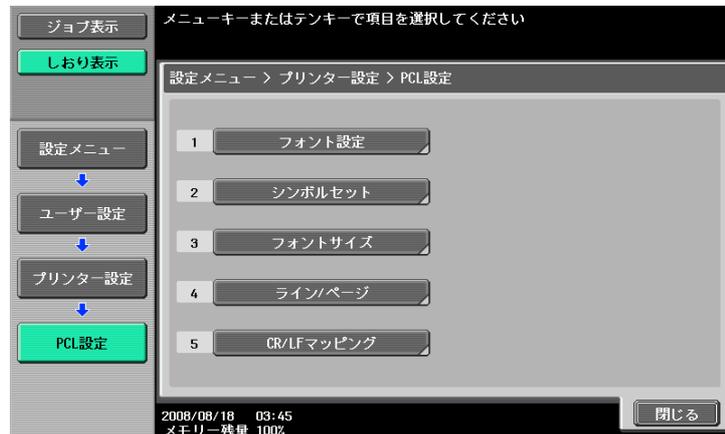
13.2.20 ライン / ページ

テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定できます。（初期値：64 ライン）

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［PCL 設定］を押します。

3　［ライン / ページ］を押します。

4　C を押し数値をクリアしてから、テンキーでライン数を入力します。（5 ライン～ 128 ライン）

➔ 設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

5　［OK］を押します。

ライン数が設定されれます。

13.2.21 CR/LF マッピング

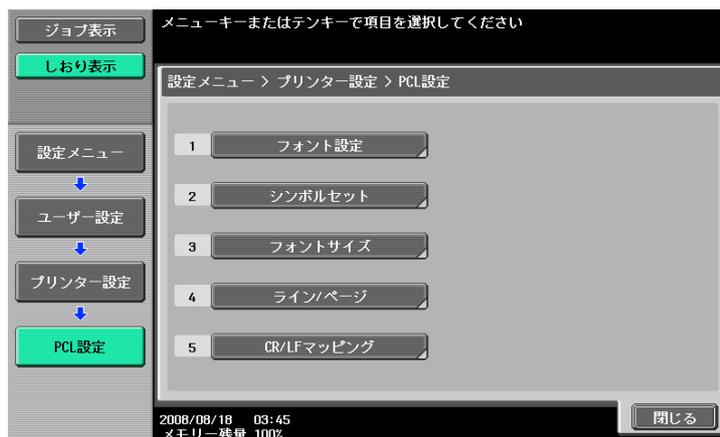
テキストデータを印刷する場合の CR と LF の置換え方法を設定できます。（初期値：［しない］）

- ［モード 1］：CR を CR-LF に置換えます。
- ［モード 2］：LF を CR-LF に置換えます。
- ［モード 3］：CR-LF に置換えます。
- ［しない］：置換えは行いません。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［PCL 設定］を押します。

3　［CR/LF マッピング］を押します。

4　［する］、［しない］を選択し、［する］の場合はさらに希望するキーを押します。

5　［OK］を押します。

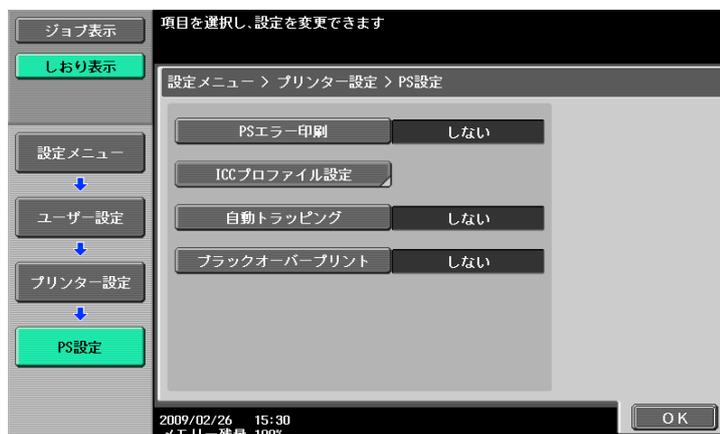
13.2.22 PS エラー印刷

PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかの設定ができます。（初期値：［しない］）

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［PS 設定］を押します。

3　［PS エラー印刷］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.2.23 ICC プロファイル設定

プリンタードライバーに表示されるプロファイルの初期値を設定できます。

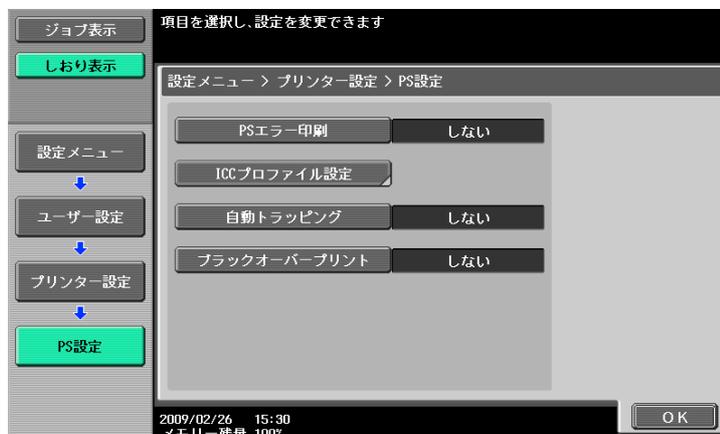
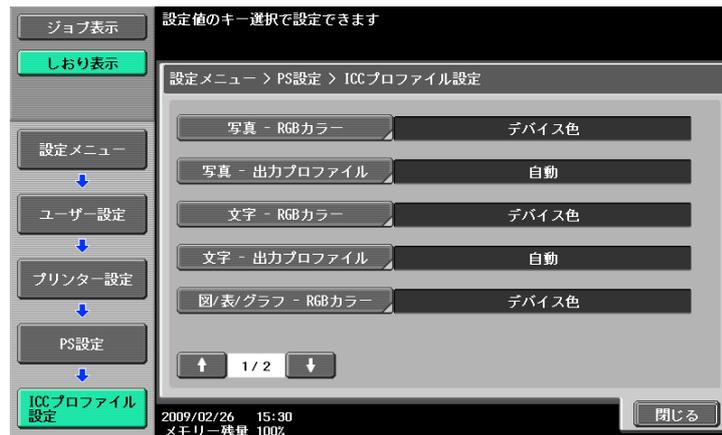
参照

プリンタードライバーで ICC プロファイルを選択する方法については、12-36 ページをごらんください。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

→ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［PS 設定］を押します。

3　［ICC プロファイル設定］を押します。

4　希望する設定項目を押します。

5　希望するプロファイル名を押します。

6　［OK］を押します。

13.2.24 自動トラッピング

絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。（初期値：[しない]）

- ［する］：隣り合う色を重ねて印刷します。グラフや図形などで色の境界に白い線が出るようなときは［する］に設定してください。
- ［しない］：トラッピング処理をせず、データのまま印刷します。

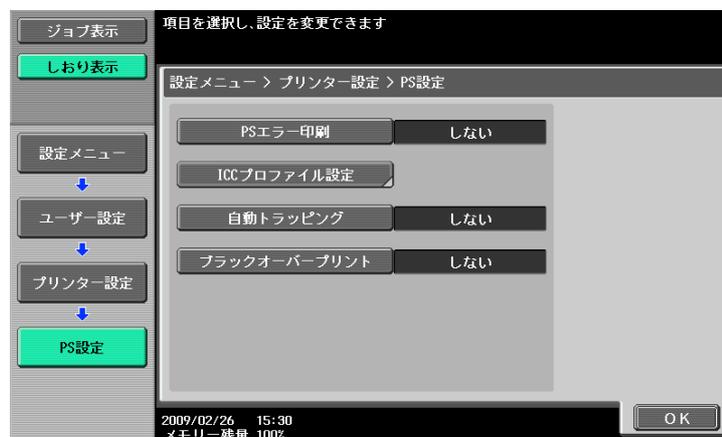
参考

- ［する］に設定して、色の境界部分の発色が悪くなるような場合は［しない］に設定してください。
- トラッピング処理は、アプリケーションで設定できる場合があります。アプリケーションで設定している場合、本機側の設定は［しない］に設定してください。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

→ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［PS 設定］を押します。

3　［自動トラッピング］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.2.25 ブラックオーバープリント

黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように印刷します。（初期値：[しない]）

- [文字 / 図]：文字と図の部分で、隣り合う色に黒を重ねて印刷します。グラフや図形などで黒の周りに白い線が出るようなときに設定してください。
- [文字]：文字の部分で、隣り合う色に黒を重ねて印刷します。文字の周りに白い線が出るようなときに設定してください。
- [しない]：ブラックオーバープリント処理をせず、データのまま印刷します。

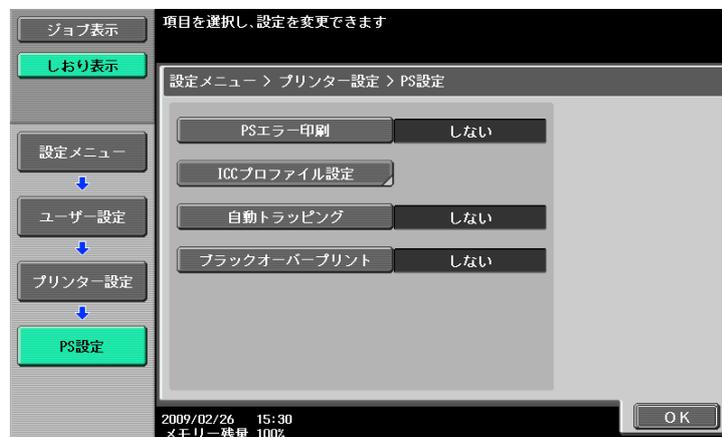
参考

- [する] に設定して、黒の周囲の発色が悪くなるような場合は [しない] に設定してください。
- ブラックオーバープリント処理は、アプリケーションで設定できる場合があります。アプリケーションで設定している場合、本機側の設定は [しない] に設定してください。

1 ユーザー設定画面で、[プリンター設定] を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 [PS 設定] を押します。

3 [ブラックオーバープリント] を押します。

4 希望するキーを押します。

13.2.26 XPS デジタル署名検証

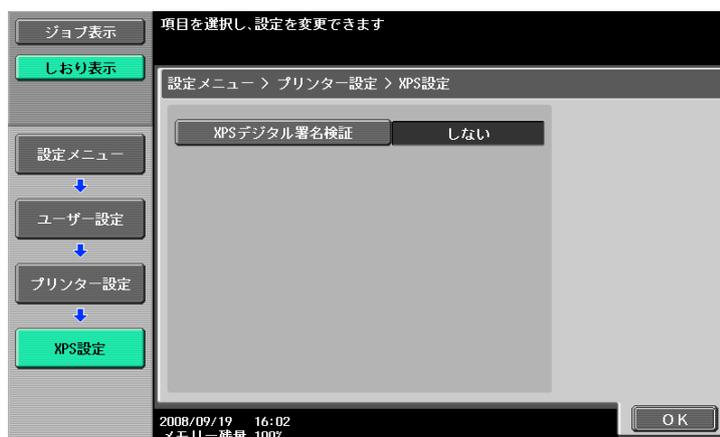
XPS 印刷でデジタル署名の検証を行うかどうかを設定できます。検証を［する］に設定した場合、署名が無効な場合に印刷されません。（初期値：［しない］）

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［XPS 設定］を押します。

➔ 署名検証でエラーになった場合で、［XPS エラー印刷］で情報を印刷する設定になっている場合は、エラー情報が印刷されます。詳しくは、13-53 ページをごらんください。

3 ［XPS デジタル署名検証］を押します。

4 希望するキーを押します。

13.2.27 レポート出力

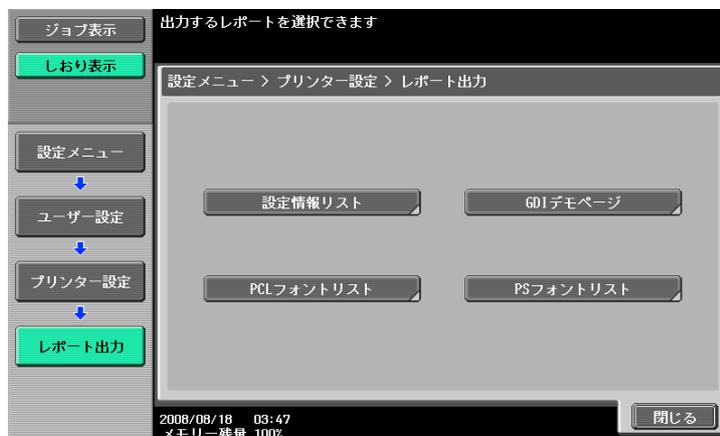
レポートの出力を行います。以下の 4 種類のレポートを出力することができます。ここではレポートの出力方法を PCL フォントリストで説明をします。

- ［設定情報リスト］：本機の設定内容の一覧が出力されます。
- ［GDI デモページ］：テストページが出力されます。
- ［PCL フォントリスト］：PCL フォントリストを出力します。
- ［PS フォントリスト］：PS フォントリストを出力します。

1 ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2 ［レポート出力］を押します。

3 希望するキーを押します。

4　希望する給紙トレイのキーと片面／両面のキーを押します。

5　［実行］または**スタート**を押し、レポートを出力します。

➔ 操作を中止する場合は、［中止］を押します。

13.2.28 TIFF 画像用紙設定

TIFF や JPEG の画像データを、直接印刷するときに、どのように用紙サイズを決定するかを設定します。（初期値：［自動］）
直接印刷は、PageScope Web Connection のダイレクトプリント機能や外部メモリー、携帯電話 /PDA から文書を印刷する場合に行います。

- ［自動］：
  TIFF/JPEG（JFIF）の場合は、データの解像度とピクセル数から画像の大きさを計算し、画像サイズに適合する用紙に画像を印刷します。
  画像の大きさと同じ大きさの用紙に印刷する場合はこちらを選択してください。
  JPEG（EXIF）の場合は、［ユーザー設定］－［プリンター設定］－［用紙設定］－［用紙サイズ］で設定された用紙サイズに印刷します。用紙サイズに合わせて、画像を拡大 / 縮小します。
- ［優先用紙サイズ］：
  携帯電話 /PDA から印刷する場合は、［ユーザー設定］－［携帯電話 /PDA 設定］－［印刷設定］－［用紙］で設定した用紙サイズに印刷します。
  PSWC、外部メモリーからダイレクトプリントする場合は、［ユーザー設定］－［プリンター設定］－［用紙設定］－［用紙サイズ］で設定された用紙サイズに印刷します。
  用紙サイズに合わせて、画像を拡大 / 縮小します。

1　ユーザー設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

2　［TIFF 画像用紙設定］を押します。

3　［用紙選択］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.2.29 リンクファイルエラー時の出力

携帯電話 /PDA から XHTML 形式のファイルを印刷するときに、リンクファイルにアクセスできない場合の処理を設定できます。（初期値：［する］）

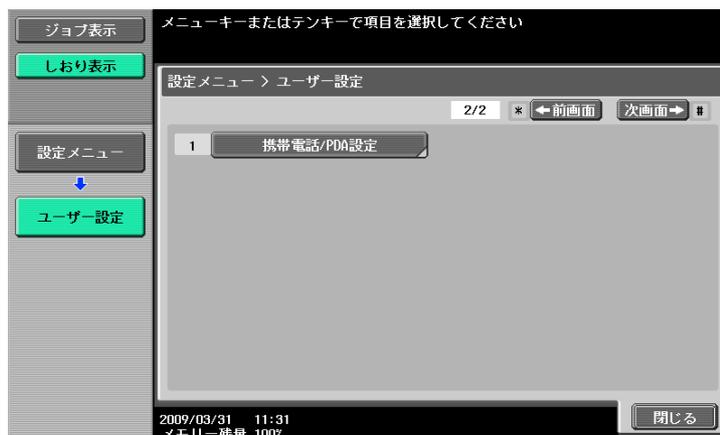
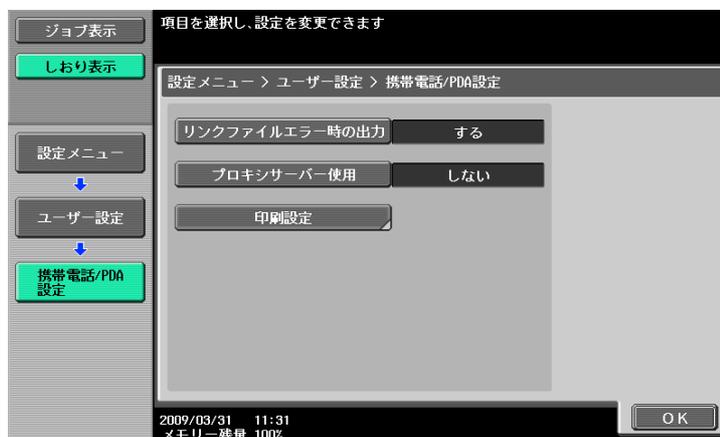
- ［する］：リンクファイルの部分を黒枠で印刷します。
- ［しない］：リンクファイルの部分を印刷しません。

参考

- 携帯電話 /PDA 設定は、オプションの**ローカル接続キット EK-605** が装着され、本機の［Bluetooth 設定］と管理者設定の［携帯電話 /PDA 設定］が許可されている場合に表示されます。詳しくは、13-57 ページをごらんください。

1 ユーザー設定画面で、［携帯電話 /PDA 設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

➔ ［携帯電話 /PDA 設定］は 2/2 画面に表示されます。［次画面→］を押して画面を切換えます。

2 ［リンクファイルエラー時の出力］を押します。

3 希望するキーを押します。

13.2.30 プロキシサーバー使用

携帯電話 /PDA から XHTML 形式のファイルを印刷するときに、リンクファイルへのアクセスにプロキシサーバーを使用するかどうかを設定できます。（初期値：[しない]）

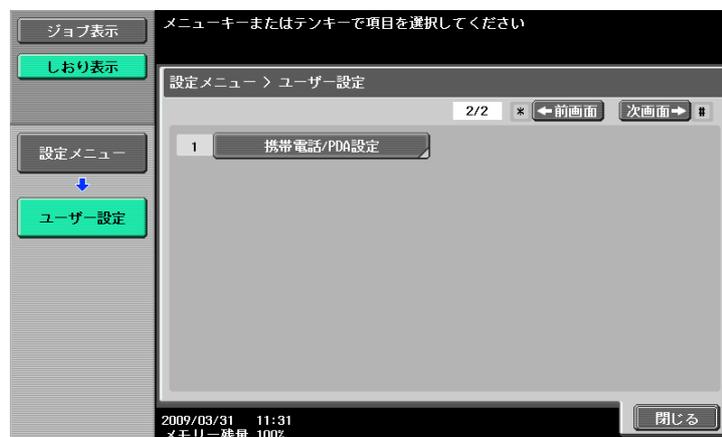
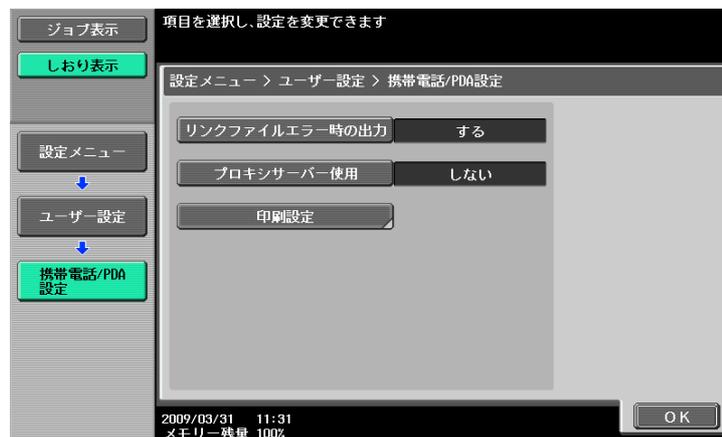
- [する]：プロキシサーバーを使用します。
- [しない]：プロキシサーバーを使用しません。

参考

- 携帯電話 /PDA 設定は、オプションの**ローカル接続キット EK-605** が装着され、本機の［Bluetooth 設定］と管理者設定の［携帯電話 /PDA 設定］が許可されている場合に表示されます。詳しくは、13-57 ページをごらんください。
- 接続にプロキシサーバーを利用する場合は、［管理者設定］－［ネットワーク設定］－［WebDAV 設定］－［WebDAV クライアント］－［プロキシサーバーアドレス］にプロキシサーバーを登録してください。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

1　ユーザー設定画面で、［携帯電話 /PDA 設定］を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

➔ ［携帯電話 /PDA 設定］は 2/2 画面に表示されます。［次画面→］を押して画面を切換えます。

2　［プロキシサーバー使用］を押します。

3 希望するキーを押します。

13.2.31 印刷設定

携帯電話 /PDA から印刷するときの印刷条件を設定します。（初期値：［片面］、［カラー］、［仕上り］なし）

- 基本設定－印刷：片面または両面を選択します。
- 基本設定－カラー：フルカラーまたはブラックを選択します。
- 基本設定－用紙：送信されたデータに用紙サイズの情報がない場合、印刷する用紙サイズを選択します。
- 基本設定－仕上り：紙折り / 中とじ、ステープル、パンチが設定できます。
- 応用設定－とじしろ：とじしろの方向を選択します。
- 応用設定－スタンプ / ページ印字：印刷時に以下の内容を合成します。

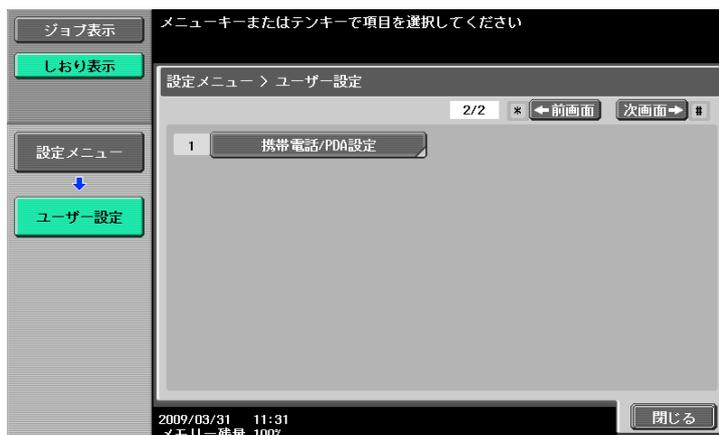
［日付 / 時刻］	印字したときの日付と時刻を印刷します。
［ページ番号］	文書のすべてのページにページ番号を印刷します。
［スタンプ］	ページに「至急」など決まった文字列を印刷します。
［コピーセキュリティー］	不正コピーを防止するパターンを印刷します。 ［コピープロテクト］：隠し文字を印刷します。 ［コピーガード］：コピーガード用のパターンを印刷します。 ［パスワードコピー］：パスワードコピー用のパスワードを印刷します。
［繰り返しスタンプ］	すべてのページに文字や画像を繰り返し印刷します。

参考

- 携帯電話 /PDA 設定は、オプションの**ローカル接続キット EK-605** が装着され、本機の［Bluetooth 設定］と管理者設定の［携帯電話 /PDA 設定］が許可されている場合に表示されます。詳しくは、13-57 ページをごらんください。
- ［TIFF 画像用紙設定］の設定も、携帯電話 /PDA から印刷する場合に出力される用紙サイズに影響します。詳しくは、13-32 ページをごらんください。
- ［コピーガード］、［パスワードコピー］はオプションの**セキュリティーキット SC-507** を装着している場合に表示されます。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

1 ユーザー設定画面で、[携帯電話 /PDA 設定] を押します。

➔ ユーザー設定画面の表示のしかたは、13-2 ページをごらんください。

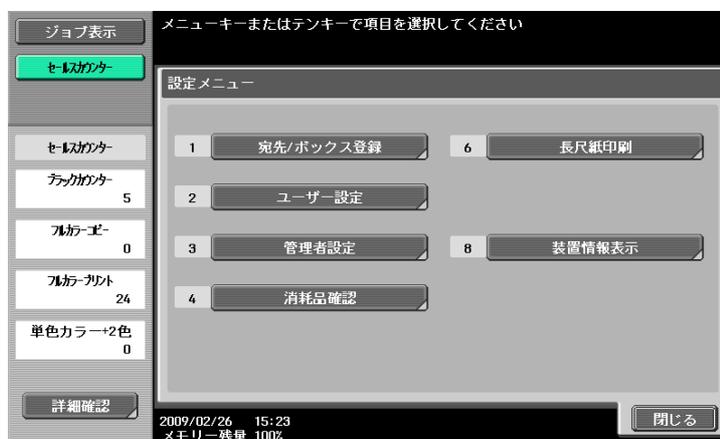
➔ [携帯電話 /PDA 設定] は 2/2 画面に表示されます。[次画面→] を押して画面を切換えます。

2 [印刷設定] を押します。

3 希望するキーを押します。

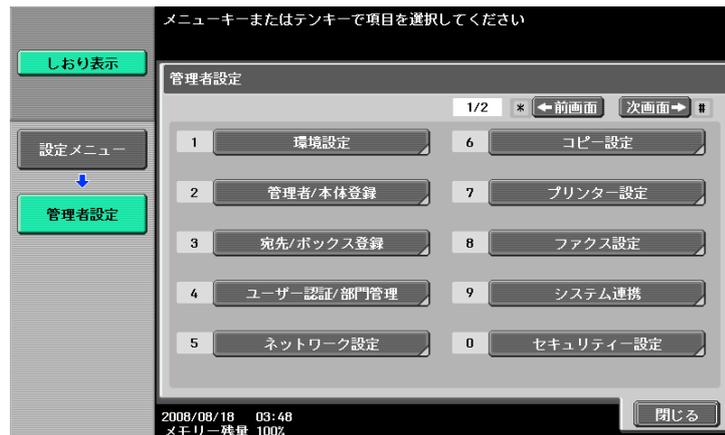
13.3 管理者設定の基本操作

13.3.1 管理者設定画面を表示させるには

1 **設定メニュー / カウンター**を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 パスワードを入力し、［OK］を押します。

➔ パスワードの設定や変更については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

管理者設定画面が表示されます。

➔ キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［管理者設定］の場合は、テンキーの 3 を入力します。

➔ 設定メニューの設定を終了するときは、**設定メニュー / カウンター**を押します。コピー、ファクス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

➔ 設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで［閉じる］を押します。サブエリアのメニュー項目を押しても戻ります。

13.4 管理者設定

13.4.1 受信印刷出力設定

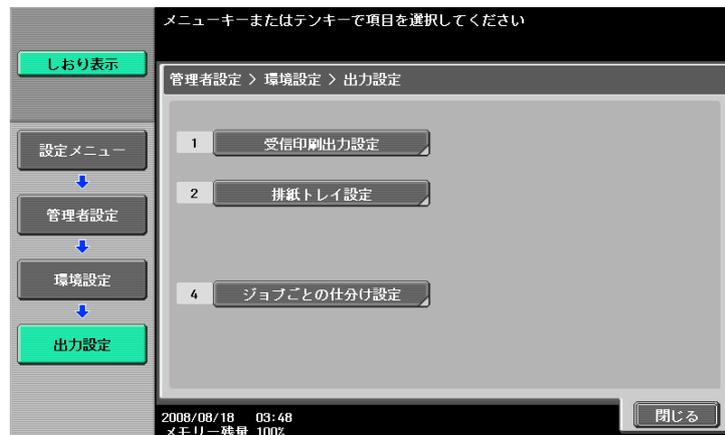
データを受信したときに、受信完了後、一括で印刷するか、受信と同時に印刷するかの印刷のタイミングを設定できます。

プリンターの場合とファクスの場合と分けて設定できます。（初期値：［プリンター］／［同時印刷］、［ファクス］／［一括印刷］）

1 管理者設定画面で、［環境設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 環境設定画面で、［出力設定］を押します。

3 出力設定画面で、［受信印刷出力設定］を押します。

受信印刷出力設定画面が表示されます。

4 ［プリンター］または［ファクス］を押します。

5 希望するキーを押します。

印刷のタイミングが設定されます。

➔ 一括印刷を選択した場合は、全てのデータを受け取ってから一括して印刷が開始されます。同時印刷を選択した場合は、1 ページ目のデータを受け取ったときにジョブとして登録され印刷が開始されます。

参考

- ［ユーザー開放レベル］が［レベル 2］の場合、ユーザー設定でも設定できます。［ユーザー設定］－［環境設定］－［出力設定］－［受信印刷出力設定］を押して受信印刷出力設定画面を表示させます。
- ユーザー開放レベルについては、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

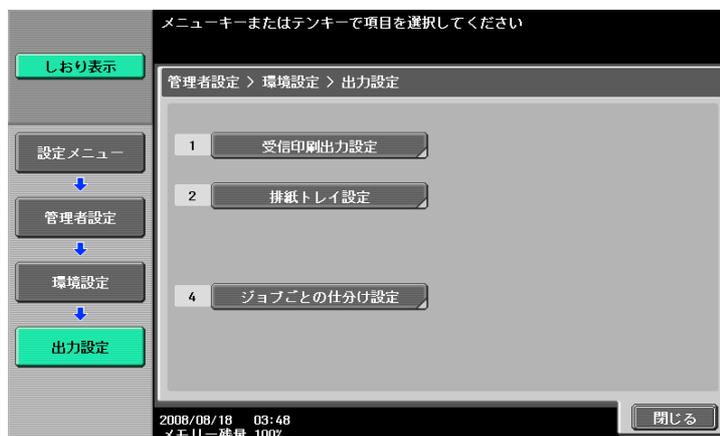
13.4.2 排紙トレイ設定

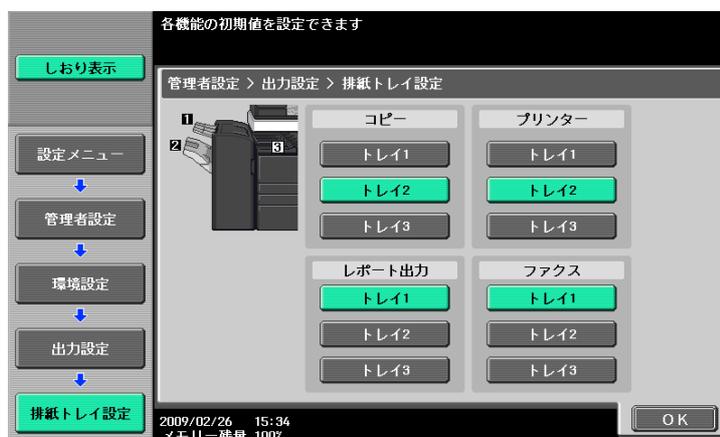
排紙トレイの初期値を設定できます。（初期値：［プリンター］／［トレイ 2］）

1 管理者設定画面で、［環境設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 環境設定画面で、［出力設定］を押します。

3 出力設定画面で、［排紙トレイ設定］を押します。

排紙トレイ設定画面が表示されます。

4 希望するキーを押します。

5 ［OK］を押します。

排紙トレイが設定されます。

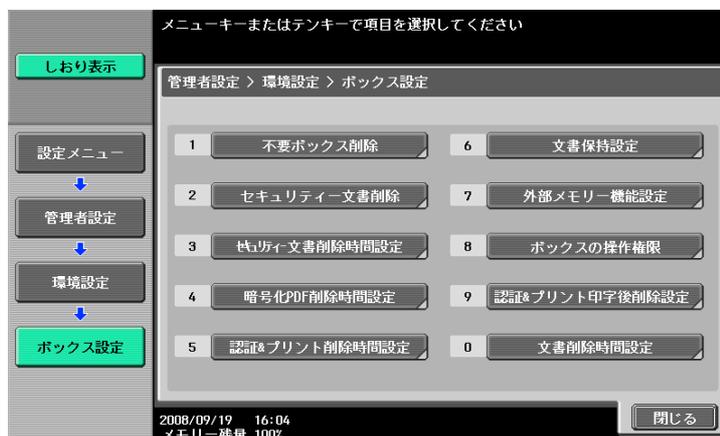
13.4.3 セキュリティー文書削除

保存されている全てのセキュリティー文書を削除します。

1 管理者設定画面で、［環境設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 環境設定画面で、［ボックス設定］を押します。

3 ボックス設定画面で、［セキュリティー文書削除］を押します。

4 セキュリティー文書を削除する場合は、［はい］を押します。

5 ［OK］を押します。

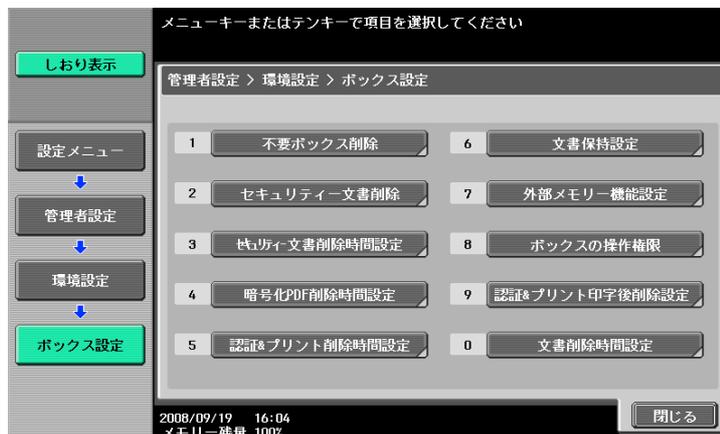
13.4.4　セキュリティー文書削除時間設定

保存してからセキュリティー文書を削除するまでの期間を設定します。（初期値：[1 日]）

1　管理者設定画面で、［環境設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2　環境設定画面で、［ボックス設定］を押します。

3　ボックス設定画面で、［セキュリティー文書削除時間設定］を押します。

4　希望するキーを押します。

➔ 任意の時間を設定する場合は、［時間］を押してからテンキーで時間を入力します。

5　［OK］を押します。

13.4.5 認証＆プリント削除時間設定

保存してから認証＆プリント文書を削除するまでの期間を設定します。（初期値：［1 日］）

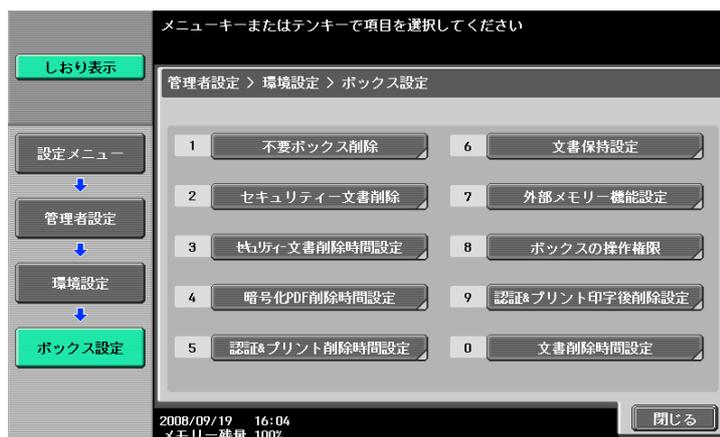
参考

- ［認証＆プリント削除時間設定］は、本機でユーザー認証を行っている場合に表示します。

1 管理者設定画面で、［環境設定］を押します。

→ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 環境設定画面で、［ボックス設定］を押します。

3 ボックス設定画面で、［認証 & プリント削除時間設定］を押します。

4 希望するキーを押します。

→ 任意の時間を設定する場合は、［時間］を押してからテンキーで時間を入力します。

5 ［OK］を押します。

13.4.6 認証＆プリント印字後削除設定

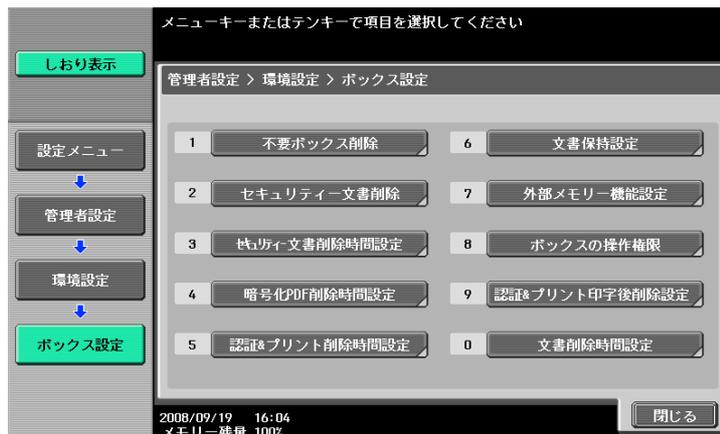
認証＆プリント文書を印刷したあとに削除するかどうかを設定できます。（初期値：[ユーザーに確認]）

- [ユーザーに確認]：認証＆プリントボックスからの印刷時に削除するかどうかを選択する画面を表示し、ユーザーに選択させるようにします。ユーザーによって文書を残しておきたい場合はこちらを設定します。
- [常に削除]：印刷後は削除します。ユーザーに確認しません。

1 管理者設定画面で、[環境設定] を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 環境設定画面で、[ボックス設定] を押します。

3 ボックス設定画面で、[認証 & プリント印字後削除設定] を押します。

4 希望するキーを押します。

5 [OK] を押します。

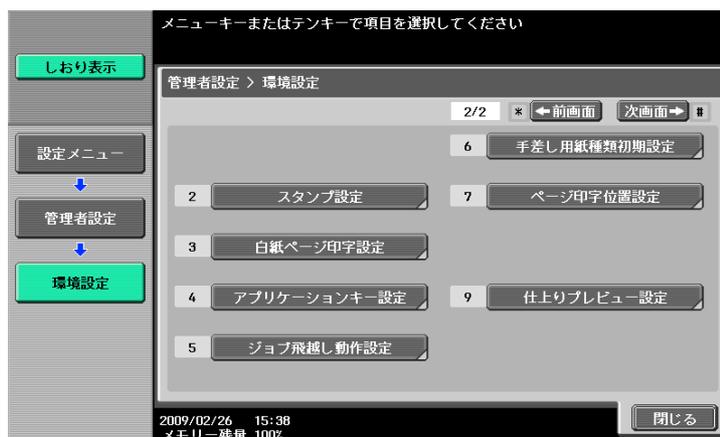
13.4.7　ジョブ飛越し動作設定

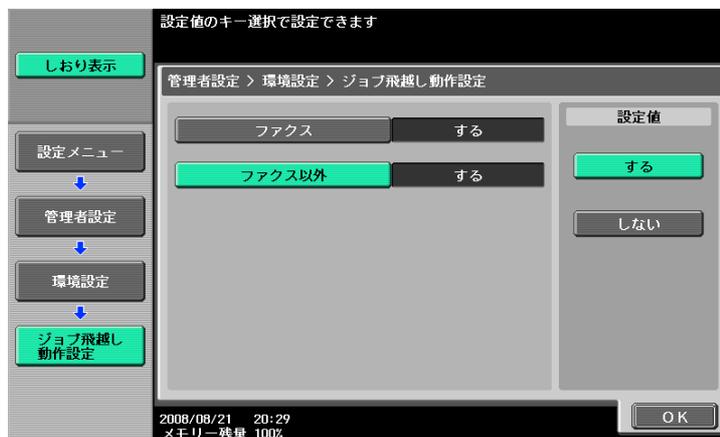
給紙トレイに指定した用紙がないなどの理由で現在のジョブが停止した場合に、次のジョブの処理を開始するかどうかを設定できます。（初期値：［する］）

- ［する］：停止したジョブを処理待ち状態にし、他のジョブを先に処理します。処理待ちジョブは、問題が解消した後に処理されます。特定のカセットの用紙切れなどの単純な理由で他のジョブが処理待ちにならないので、便利です。
- ［しない］：1 つでもジョブが停止すると、すべてのジョブを処理待ち状態にします。問題が解消した後にすべてのジョブが処理されます。

1　管理者設定画面で、［環境設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2　環境設定画面で、［ ← ］または［ → ］を押してページを切換え、［ジョブ飛越し動作設定］を押します。

3　［ファクス］または［ファクス以外］を押します。

4　希望するキーを押します。

13.4.8 認証＆プリント設定

ユーザー認証／部門管理を行っている本機で、認証＆プリント機能を使用するかどうかを設定できます。
（初期値：［使用しない］）

- 認証＆プリント［使用する］：プリンタードライバーで［認証＆プリント］を選択していなくても、登録ユーザーからの全印刷ジョブを認証 & プリントジョブとして処理し、［認証＆プリントボックス］に保存します。
- 認証＆プリント［使用しない］：プリンタードライバーで［認証＆プリント］を選択している場合のみ、認証 & プリントジョブとして処理します。登録ユーザーからの印刷ジョブでも、プリンタードライバーで［認証 & プリント］を選択していない［通常印刷］ジョブはそのまま出力します。
- 認証なし / パブリックユーザージョブ［即時印刷］：パブリックユーザーまたはユーザー認証情報のないジョブをそのまま出力します。
- 認証なし / パブリックユーザージョブ［蓄積］：パブリックユーザーまたはユーザー認証情報のないジョブを認証＆プリントジョブとして処理し、［認証＆プリントボックス］に保存します。

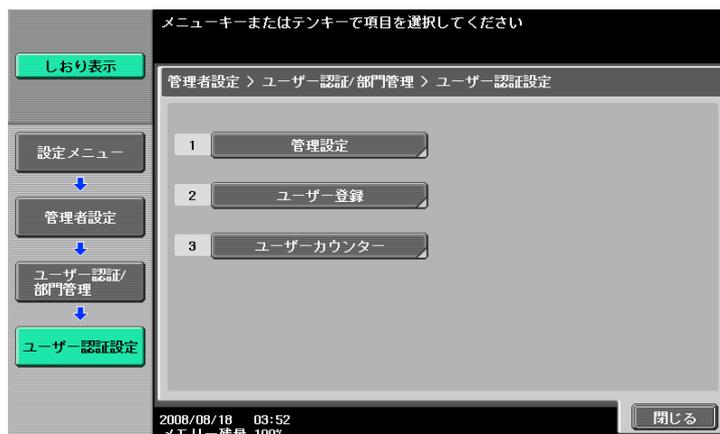
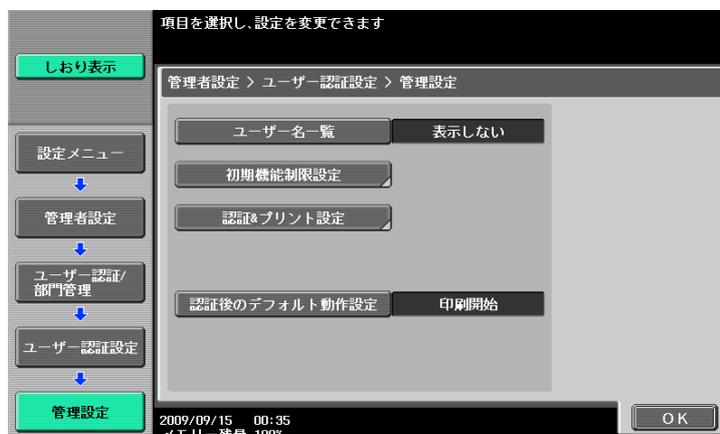
参考

- パブリックユーザージョブは、パブリックユーザーの印刷が許可されているときに印刷または蓄積されます。
- 認証なしジョブは、［認証指定なし印刷］が許可されているときに印刷または蓄積されます。

1 管理者設定画面で、［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 ユーザー認証 / 部門管理画面で、［ユーザー認証設定］を押します。

3 ユーザー認証設定画面で、［管理設定］を押します。

4 管理設定画面で、［認証 & プリント設定］を押します。

5 ［認証＆プリント］と［認証なし / パブリックユーザージョブ］を設定します。

6 ［OK］を押します。

13.4.9 認証＆プリント動作設定

オプションの**認証装置**で認証＆プリント機能を利用するときの印刷方法を設定します。（初期値：［全ジョブ印刷］）

- ［全ジョブ印刷］：認証＆プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
- ［1 ジョブ印刷］：認証＆プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。

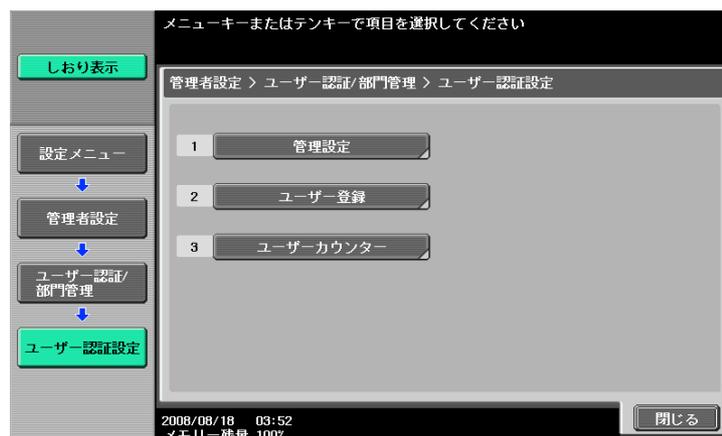
参考

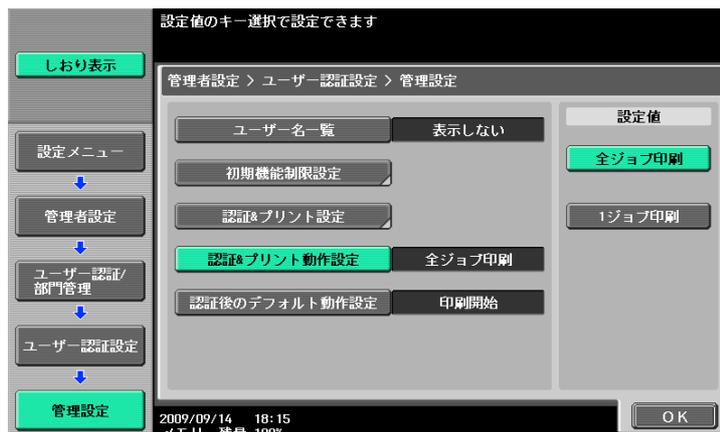
- 認証＆プリント動作設定は、オプションの**認証装置**が装着されている場合のみ表示されます。

1 管理者設定画面で、［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは 13-38 ページをごらんください。

2 ユーザー認証 / 部門管理画面で、［ユーザー認証設定］を押します。

3 ユーザー認証設定画面で、［管理設定］を押します。

4 管理設定画面で、［認証＆プリント動作設定］を押します。

5　希望するキーを押します。

13.4.10 認証後のデフォルト動作設定

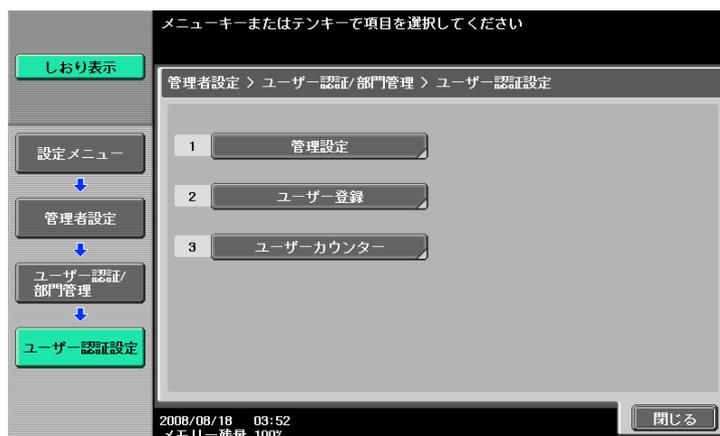
本機が、認証 & プリントジョブを保持している状態で、認証装置で認証完了（ログイン成功）した後にどのような動作をするか、の初期値を設定します。（初期値：[印刷開始]）

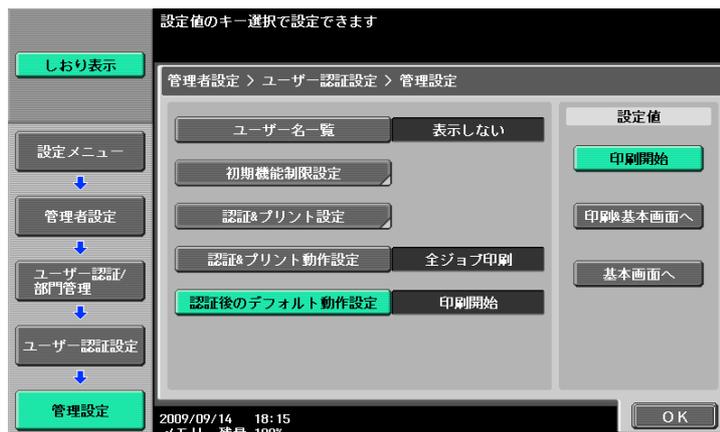
- [印刷開始]：認証と同時に認証 & プリントのジョブを印刷します。認証 & プリントの利用者が多い場合に便利です。
  ただし、操作パネルでコピーやスキャン機能を利用する場合は、[印刷 & 基本画面へ] もしくは [基本画面へ] を選択してから、認証する必要があります。
- [印刷 & 基本画面へ]：認証と同時に認証 & プリントのジョブを印刷し、基本画面へログインします。認証 & プリントだけを行いたい利用者は、[印刷開始] を選択してから、認証する必要があります。
- [基本画面へ]：基本画面へログインします。認証 & プリントのジョブは印刷されません。認証 & プリントの利用者が少ない場合に便利です。認証 & プリントだけを行いたい利用者は、[印刷開始] を選択してから、認証する必要があります。

1　管理者設定画面で、[ユーザー認証 / 部門管理] を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは 13-38 ページをごらんください。

2　ユーザー認証 / 部門管理画面で、[ユーザー認証設定] を押します。

3　ユーザー認証設定画面で、[管理設定] を押します。

4　管理設定画面で、[認証後のデフォルト動作設定] を押します。

5 希望するキーを押します。

13.4.11 認証指定なし印刷

ユーザー認証／部門管理を行っている本機で、認証指定なしの印刷ジョブの印刷を許可するかどうかを設定できます。（初期値：[禁止]）

- [許可]：ユーザー認証の ID ／パスワード、部門管理の部門名／パスワードが設定されていないジョブの印刷を許可します。印刷はパブリックジョブとしてカウントされます。
- [禁止]：ユーザー認証の ID ／パスワード、部門管理の部門名／パスワードが設定されていないジョブの印刷を禁止します。

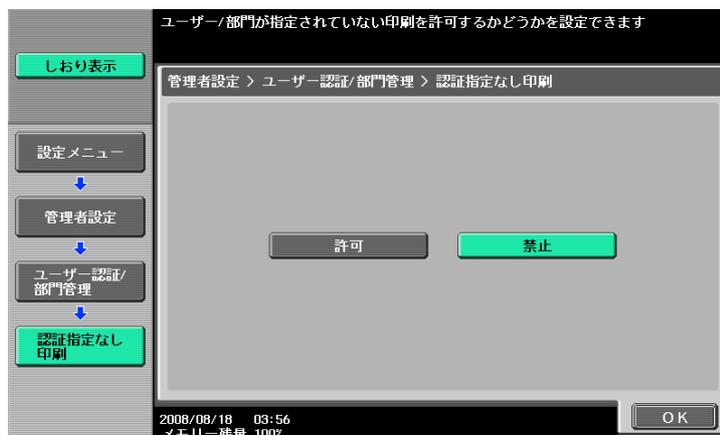
参考

- 認証指定なし印刷を許可にした場合、ユーザー認証／部門管理を行っている本機に対し、プリンタードライバーでユーザー認証や部門管理を設定しなくても印刷できてしまいます。カウンター管理上またはセキュリティー上不都合がある場合は禁止で使用してください。
- 認証指定なしの印刷ジョブとは、プリンタードライバーでユーザー認証や部門管理を有効にせずに印刷したジョブです。Windows の場合は、プロパティ画面にある［装置情報］タブー［装置オプション］で、ユーザー認証や部門管理を［しない］に設定している状態です。Macintosh OS X の場合は、［出力方法］の画面で、ユーザー認証や部門管理にチェックしていない状態です。

1 管理者設定画面で、［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

→ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 ユーザー認証 / 部門管理画面で、［認証指定なし印刷］を押します。

3 希望するキーを押します。

4 ［OK］を押します。

認証指定なし印刷が設定されます。

13.4.12 単色カラー /2 色カラー出力管理

単色カラーまたは 2 色カラーの出力を、カラー印刷として管理するかブラック印刷として管理するかを設定します。
ブラック印刷として管理する場合、カラー印刷が許可されていないユーザーも、単色カラーや 2 色カラーでの出力ができます。（初期値：［カラー］）

- ［カラー］：単色カラー /2 色カラーでの印刷をカラーとしてカウントします。
- ［ブラック］：単色カラー /2 色カラーでの印刷をブラックとしてカウントします。

1　管理者設定画面で、［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2　ユーザー認証 / 部門管理画面で、［ユーザー / 部門共通設定］を押します。

3　ユーザー / 部門共通設定画面で、［単色カラー /2 色カラー出力管理］を押します。

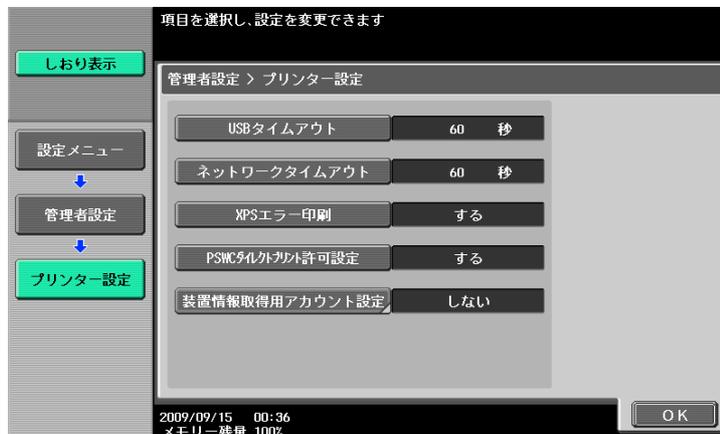
4　希望するキーを押します。

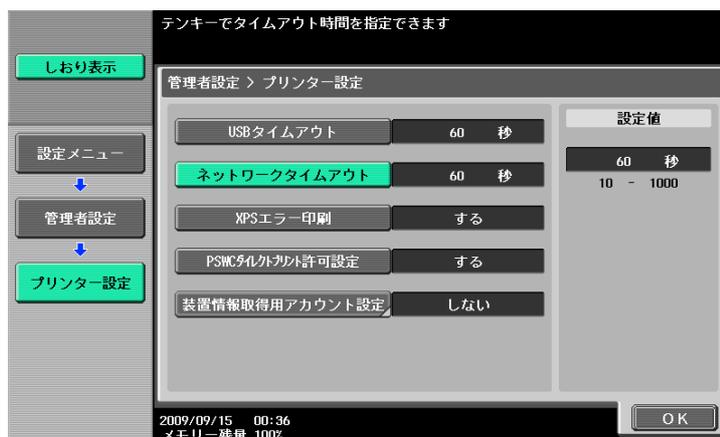
13.4.13 I/F タイムアウトの設定

通信タイムアウトまでの時間を、USB、ネットワークそれぞれに設定できます。（初期値：60 秒）

1 管理者設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 プリンター設定画面で設定する I/F を押します。

3 C を押し数値をクリアしてから、テンキーで時間を入力します。（10 秒～ 1000 秒）

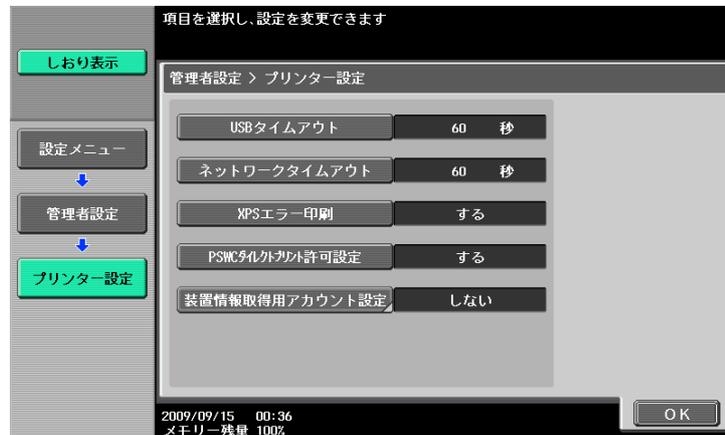
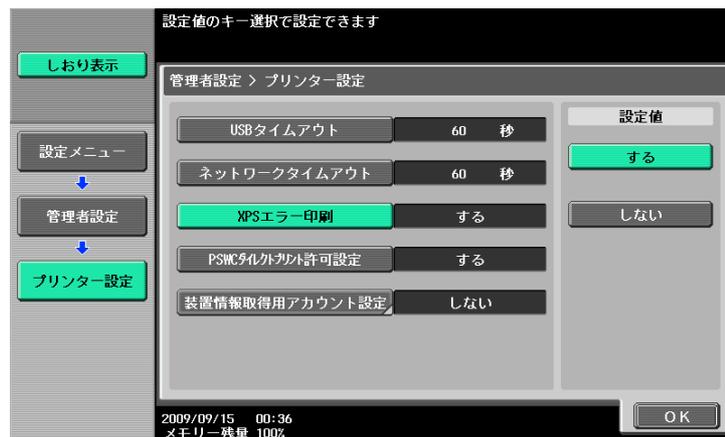
➔ 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

通信タイムアウトまでの時間が設定されます。

13.4.14 XPS エラー印刷

XPS 印刷中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかの設定ができます。（初期値：［しない］）

1 管理者設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

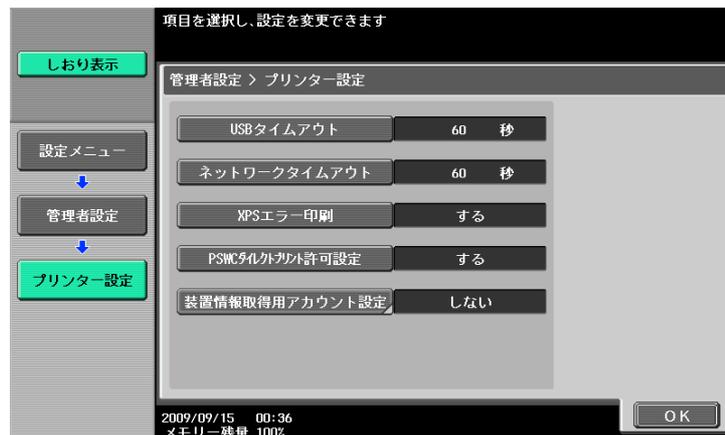
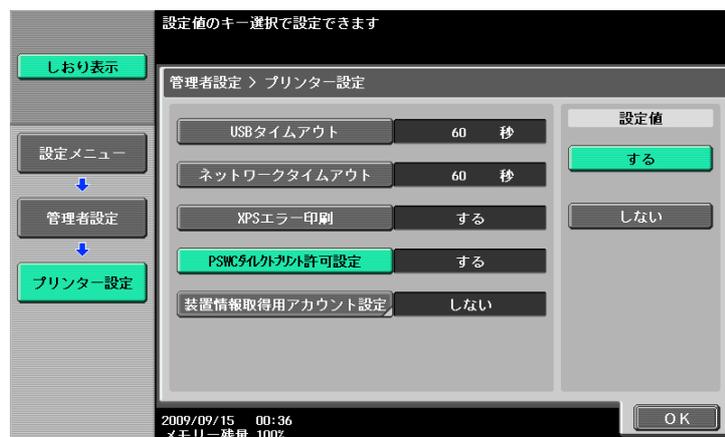
2 ［XPS エラー印刷］を押します。

3 希望するキーを押します。

13.4.15 PSWC ダイレクトプリント許可設定

PageScope Web Connection からのダイレクトプリントを許可するかどうかを設定できます。（初期値：［する］）

- ［する］：PageScope Web Connection からのダイレクトプリントを許可します。
- ［しない］：PageScope Web Connection からのダイレクトプリントを許可しません。

1 管理者設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 ［PSWC ダイレクトプリント許可設定］を押します。

3 希望するキーを押します。

13.4.16 装置情報取得用アカウント設定

Windows プリンタードライバーが、本機のオプション装着の状態などの装置情報を取得するときに、本機で設定したパスワードを要求するかどうかを設定します。（初期値：［しない］）

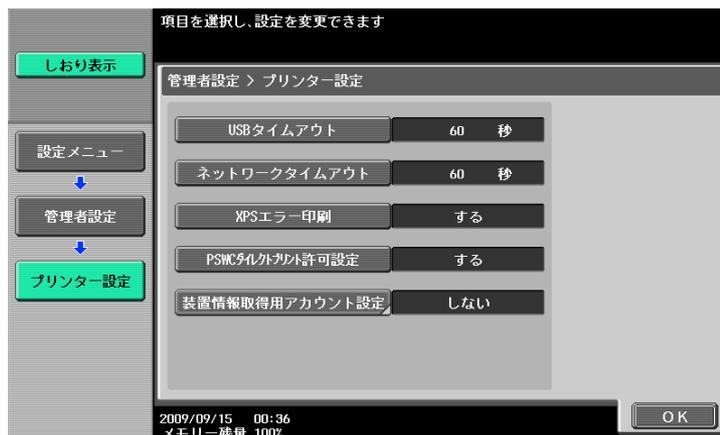
- ［しない］：パスワードを要求しません。
- ［する］：パスワードを要求します。［パスワード］を押し、パスワードを入力します。
  プリンタードライバーでも、本機で設定したパスワードを入力してください。パスワードが正しくない場合、装置情報を取得できません。

参考

- パスワードは英数記号 8 文字以内で設定してください。
- ［装置情報取得用アカウント設定］でパスワードを設定した場合は、プリンタードライバーの［装置情報取得用パスワード］に同じ値を入力してください。詳しくは、9-4 ページをごらんください。

1 管理者設定画面で、［プリンター設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは 13-38 ページをごらんください。

2 ［装置情報取得用アカウント設定］を押します。

3 希望するキーを押します。

➔ パスワードを設定するときは［する］を選択します。

4 パスワードを設定するときは続いて［パスワード］を押します。

5 パスワードを入力し、［OK］を押します。

➔ パスワードが設定されます。

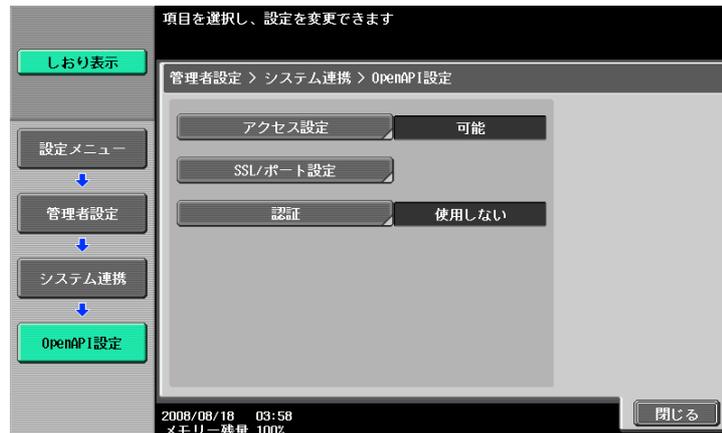
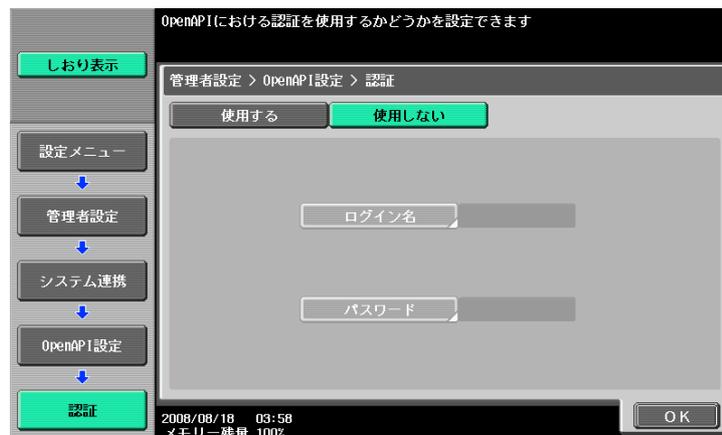
13.4.17 OpenAPI 設定の認証設定

PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合や装置情報を取得する場合などは、本機で OpenAPI 設定の認証設定を［使用しない］に設定します。（初期値：［使用しない］）

1 管理者設定画面で、［システム連携］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 システム連携画面で、［OpenAPI 設定］を押します。

3 OpenAPI 設定画面で、［認証］を押します。

4 ［認証］を［使用しない］に設定します。

5 ［OK］を押します。

認証設定が設定されます。

13.4.18 携帯電話 /PDA 設定

携帯電話 /PDA からの印刷やボックス保存を許可するかどうかを設定できます。（初期値：[許可しない]）

- [許可する]：携帯電話 /PDA からの印刷やボックス保存を許可します。
- [許可しない]：携帯電話 /PDA からの印刷やボックス保存を許可しません。

参考

- [携帯電話 /PDA 設定] は、オプションの**ローカル接続キット EK-605** が装着され、本機の [Bluetooth 設定] が有効の場合に表示されます。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。また、Bluetooth 通信ができるように設定する場合は、事前にサービスエンジニアにご相談ください。

1 管理者設定画面で、[システム連携] を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 システム連携画面で、[携帯電話 /PDA 設定] を押します。

3 希望するキーを押します。

4 [OK] を押します。

携帯電話 /PDA 設定が設定されます。

13.4.19 プリントデータキャプチャー

印刷ジョブのデータキャプチャーを許可するか禁止するかを設定できます。（初期値：[許可]）

参考

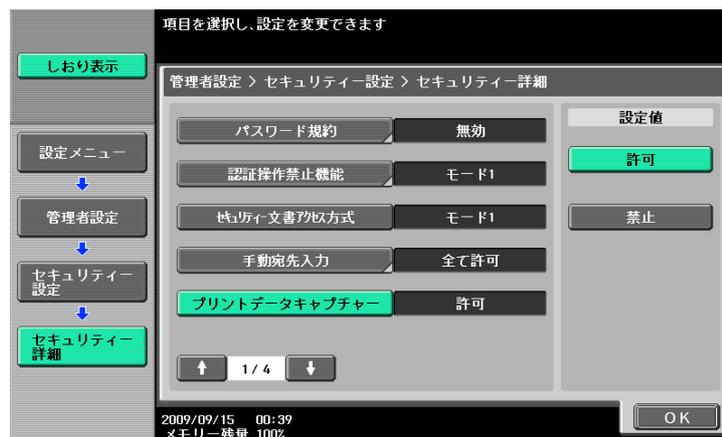
- 印刷ジョブのデータキャプチャーについて詳しくはサービスエンジニアにお問合わせください。

1 管理者設定画面で、[セキュリティー設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 セキュリティー設定画面で、[セキュリティー詳細］を押します。

3 セキュリティー詳細設定画面で、[プリントデータキャプチャー］を押します。

4 希望するキーを押します。

印刷ジョブのデータキャプチャーを許可するか禁止するかが設定されます。

➔ 詳しくはサービスエンジニアにお問合わせください。

13.4.20 セキュリティー印刷のみ許可

コンピューターからの印刷をセキュリティー文書のみに限定するかどうかを設定できます。（初期値：[しない]）

プリンタードライバーから印刷するときには、必ずセキュリティー印刷で送信する必要があります。すべての印刷ジョブで ID/ パスワードを必要とするので、出力を第 3 者に見られることがありません。

- [する]：セキュリティー文書のみに限定します。
- [しない]：セキュリティー文書のみに限定しません。

参考

- [セキュリティー印刷のみ許可］を［する］に設定している本機で印刷する場合は、プリンタードライバーで［セキュリティー印刷のみ許可］の設定にし、[セキュリティー印刷］のみ送る設定にしてください。
- [セキュリティー印刷のみ許可］を［する］に設定している本機に通常の印刷ジョブを送信した場合は、印刷ジョブは消去されます。

参照

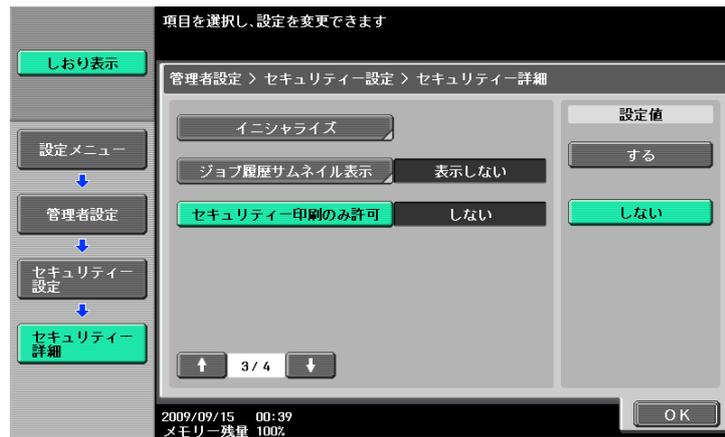
セキュリティー印刷については 12-5 ページをごらんください。

1 管理者設定画面で、[セキュリティー設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2 セキュリティー設定画面で、[セキュリティー詳細］を押します。

3 [↑] または [↓] を押してページを切換え、[セキュリティー印刷のみ許可］を押します。

4 希望するキーを押します。

セキュリティー文書に限定するかどうかが設定されます。

13.4.21 ドライバーパスワード暗号化設定

印刷ジョブに付加されるパスワードの暗号化共通鍵について、出荷値を使用するかユーザー定義の暗号化ワードに変更するかを設定できます。（初期値：［出荷時を使用］）

- ［ユーザー定義］：暗号化ワードを設定します。20 文字の暗号化ワードを入力します。
- ［出荷時を使用］：出荷時に設定されている暗号化ワード < 公開されないあらかじめ決められた暗号鍵（共通鍵）> を使用します。

参考

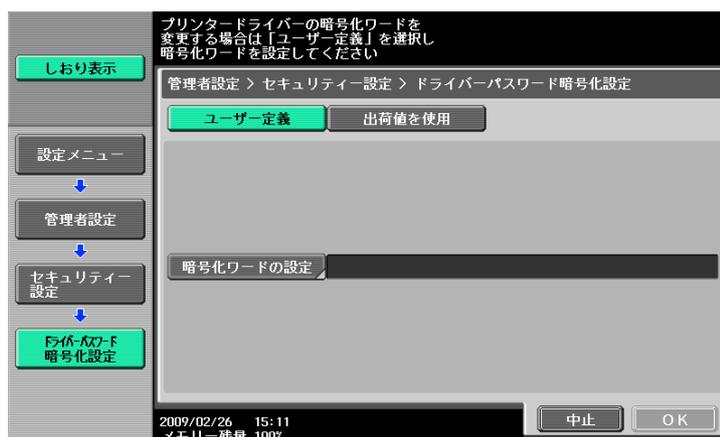
- 暗号化ワードは必ず 20 文字で設定してください。
- 暗号化共通鍵で暗号化されるパスワードは、ユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書のパスワードです。
- 暗号化ワードを［ユーザー定義］に設定した場合は、プリンタードライバーの暗号化ワードにチェックをつけて有効にし、同じ値を入力してください。
  本機とプリンタードライバーの暗号化ワードの値が異なる場合は、本機が暗号化されたユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書パスワードを復号することができないため、印刷されません。詳しくは、12-32 ページをごらんください。
- OpenAPI で SSL が有効な場合で、プリンタードライバーの装置情報の自動取得が可能であれば、暗号化共通鍵を本機側から取得することもできます。

1　管理者設定画面で、［セキュリティー設定］を押します。

➔ 管理者設定画面の表示のしかたは、13-38 ページをごらんください。

2　セキュリティー設定画面で、［ドライバーパスワード暗号化設定］を押します。

3　希望するキーを押します。

参照

暗号化ワードを［ユーザー定義］にする方法については、12-32 ページをごらんください。

14 PageScope Web Connection

14 PageScope Web Connection

14.1 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。本機の操作パネルで行う設定の一部を手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズに行うことができます。

14.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	Web ブラウザー： <Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/Vista の場合 > · Microsoft Internet Explorer 6/7/8（JavaScript 有効・Cookie 有効） · Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） · Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Macintosh MacOS 9.x/MacOS X の場合 > · Netscape Navigator7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） · Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Linux の場合 > · Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） · Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効 Adobe® Flash® Player ： · 表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグインが必要 · データ管理ユーティリティー（フォント / マクロデータの管理）を利用する場合、Ver.9.0 以降のプラグインが必要

14.1.2 アクセス方法

✔ PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

✔ ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、14-8 ページをごらんください。

✔ 本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

✔ PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、14-7 ページをごらんください。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］を押します。

http:// <本機の IP アドレス> /

（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

- http://192.168.1.20/

IPv6 が［使用する］に設定されていて、Internet Explorer 6 以外のブラウザーを使用している場合

- IPv6 アドレスを [ ] で囲んでアクセスします。

\- http://[本機の IPv6 アドレス]/

（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

- http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/
- IPv6 が［使用する］に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

トップメニュー画面またはログイン画面が表示されます。

14.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。
- キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の OFF/ON が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

Netscape Navigator の場合

1 ［編集］メニューから［設定］を選択します。

2 左側の［カテゴリ］で［詳細］－［キャッシュ］を選択します。

3 ［キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較］で［ページにアクセスするたび］を選択します。

Mozilla Firefox の場合

1 ［ツール］メニューから［オプション］を選択します。

2 ［プライバシー］をクリックし、［消去設定］をクリックします。

3 ［消去するデータ］で［キャッシュ］にチェックを付け、［消去の設定］で［Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

14.1.4 オンラインヘルプ機能について

PageScope Web Connection にログイン後、? をクリックすると、設定中の機能に関するオンラインヘルプを表示させることができます。

参考

- オンラインヘルプを表示させるためには、お使いのコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

14.2 ログインとログアウト

14.2.1 ログインとログアウトの流れ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

パブリックユーザーとして自動的にログインします。

管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

管理者としてログインしなおします。

ユーザー認証、部門管理を行っている場合

PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。

他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

14.2.2 ログアウト

画面右上の［ログアウト］または［ログイン画面へ］をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。［OK］をクリックするとログイン画面に戻ります。

参考

- 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
- パブリックユーザーでログインした場合は［ログイン画面へ］が表示されます。登録ユーザーまたは管理者としてログインした場合は［ログアウト］が表示されます。
- ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
- ユーザーモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、14-20 ページをごらんください。

14.2.3　ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。ユーザー認証やボックス管理者の設定によって、管理者またはボックス管理者としてユーザーモードにログインすることもできます。

参考

- 操作パネルからの設定でボックス管理者が認められている場合に、ボックス管理者としてログインできます。ボックス管理者の設定や権限、パスワードの設定などについては、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。
- 管理者としてユーザーモードにログインした場合は、管理者モードでは行えないジョブ削除を行うことができます。
- ログイン画面からデータ管理ユーティリティーを起動できます。データ管理ユーティリティーについて、詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

ログイン時の選択項目

ログイン時には、必要に応じて項目を選択できます。

項目	説明
［言語］	表示させる言語を選択します。
［表示形式］	Flash または HTML を選択します。 ・　読み上げソフトを使用する場合は、［HTML］を選択することを推奨します。 ・　IPv6 環境の場合は、［HTML］を選択してください。 ・　［Flash］を選択する場合は、Flash Player が必要です。
［ユーザー補助］	［警告時、ダイアログ表示する］にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。

参考

- ［表示形式］で［Flash］を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
  - ステータスのアイコンやメッセージ
  - ［情報表示－装置情報］の［給紙トレイ］の状態
  - ［ジョブ確認］の状態

パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で［パブリックユーザー］を選択し、［ログイン］をクリックします。

登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。

➔　ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

参考

- 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。
- [ユーザー一覧] をクリックすると、一覧からユーザー名を選択できます。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、サーバーを選択します。
- 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、[管理者] − [管理者 (ユーザーモード)] を選択し、管理者パスワードを入力します。
- 管理者設定の [認証操作禁止機能] で [モード 2] が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- [ユーザー一覧] は、[ユーザー名一覧] が [表示する] 設定のときのみ利用できます。詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。

管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

1　［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

2　管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

➔ 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［管理者（ユーザーモード）］を選択し、管理者パスワードを入力します。
➔ 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
➔ 本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。
➔ 管理者設定の［認証操作禁止機能］でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
➔ 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。
➔ 機能の説明（ヘルプ）を表示させることができます。ヘルプを表示させたい場合は、表示設定で［する］を選択します。
［オンマウスで表示］：マウスのカーソルを合わせると、ヘルプを表示します。
［オンフォーカスで表示］：項目を選択すると、ヘルプを表示します。

管理者モードの表示モード

［環境設定］－［表示設定］で管理者モードの表示モードを［タブ表示］、［リストボックス表示］から選択することができます。本書では、［リストボックス表示］に設定して説明しています。

どちらの表示モードに設定しても、設定できる項目は同じです。

初期設定では、［タブ表示］で表示されます。

［タブ表示］では、アイコンをクリックしてメニューを切換えます。

［リストボックス表示］では、リストボックスからメニューを切換えます。

ドロップダウンリストから目的のメニューを選択し、［表示］をクリックします。

ボックス管理者としてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、管理者としてユーザーモードにログインし、ジョブ削除を行うことができます。また、操作パネルでボックス管理者が認められている場合に、ボックス管理者としてユーザーモードにログインすることができます。

➔ ログイン画面で［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

➔ ボックス管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［ボックス管理者］を選択し、ボックス管理者のパスワードを入力します。

参考

- 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［管理者］－［管理者（ユーザーモード）］を選択し、管理者パスワードを入力します。
- 管理者設定の［認証操作禁止機能］で［モード 2］が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
- 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。
- 機能の説明（ヘルプ）を表示させることができます。ヘルプを表示させたい場合は、表示設定で［する］を選択します。

- ［オンマウスで表示］：マウスのカーソルを合わせると、ヘルプを表示します。
- ［オンフォーカスで表示］：項目を選択すると、ヘルプを表示します。

14.3 画面の構成

PageScope Web Connection にログイン後、表示される画面は、以下のように構成されています。ここでは、情報表示－装置情報画面を例に説明します。

参考

- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。

No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://www.konicaminolta.com/
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、ボックス管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報（消耗品情報画面、給紙トレイ画面、ユーザー登録情報画面）が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。

No.	項目	説明
6	［ログイン画面へ］/［ログアウト］	現在のモードからログアウトし、ログインしなおすときにクリックします。パブリックユーザーでログインした場合は［ログイン画面へ］が表示されます。登録ユーザーまたは管理者としてログインした場合は［ログアウト］が表示されます。
7	［パスワード変更］	クリックすると、ユーザーパスワード変更画面へジャンプします。登録ユーザーでログインしたユーザーモード画面でのみ表示されます。
8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページから、設定中の機能に関するオンラインヘルプを表示させることができます。設定ページは、14-19 ページの［サポート情報］をごらんください。
9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	アイコン	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードでは、以下のアイコンが表示されます。 ・ 情報表示 ・ ジョブ確認 ・ ボックス ・ ダイレクトプリント ・ 宛先登録 ・ カスタマイズ設定
11	メニュー	選択されたアイコンにおける情報および設定が表示されます。アイコンの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

14.4 ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を設定できます。

14.4.1 情報表示

参照

ユーザーモードに関する説明は、PageScope Web Connection のオンラインヘルプまたは、アプリケーション CD-ROM に収録されている PageScope Web Connection のマニュアルでも確認することができます。オンラインヘルプについて詳しくは、14-3 ページをごらんください。

項目	説明
[装置情報]	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
[サポート情報]	製品に関するサポート情報を確認できます。
[ユーザーパスワード変更]	ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
[機能制限情報]	ユーザーや部門の操作制限情報を確認できます。
[ネットワーク設定情報]	本機のネットワーク設定を確認できます。
[印刷設定情報]	本機のプリンターコントローラーに関連した設定情報を確認できます。
[情報の印刷]	フォント情報や設定情報などを印刷できます。

14.4.2　ジョブ確認

項目	説明
［実行中リスト］	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
［履歴リスト］	実行済みのジョブを確認できます。
［通信リスト］	完了した送受信のジョブを確認できます。

14.4.3　ボックス

参照

ボックス操作の手順については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

項目	説明
［ボックスを開く］	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書を印刷、送信、ダウンロードなどの操作をしたり、ボックスの設定を変更できます。
［ボックスを作成する］	新しくボックスを作成できます。

項目	説明
［システムボックスを開く］	オプションの **FAX キット**が装着されている場合に表示されます。システムボックス（掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / 強制メモリー受信ボックス / 中継ボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
［システムボックスを作成する］	オプションの **FAX キット**が装着されている場合に表示されます。新しく掲示板ボックスと中継ボックスを作成できます。

14.4.4　ダイレクトプリント

項目	説明
［ダイレクトプリント］	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます。また、応用設定から指定したボックスへの保存もできます。

参考

- ［ダイレクトプリント］は管理者モードでの設定によって表示されない場合があります。

14.4.5 宛先登録

［宛先登録］は管理者モードでの設定によって表示されない場合があります。

項目	説明
［短縮宛先］	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［グループ宛先］	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［プログラム宛先］	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［一時プログラム］	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［E-mail 件名］	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録、変更できます。
［E-mail 本文］	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録、変更できます。

14.4.6 カスタマイズ設定

ログイン後の初期画面を指定できます。

項目	説明
［オプション］	ログイン後の初期画面で表示される内容を設定できます。

14.5 管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

参考

- 管理者モードの詳細は［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
- 管理者モードの表示モードには、［タブ表示］と［リストボックス表示］があります。本書では［リストボックス表示］に設定して説明しています。詳しくは、14-10 ページをごらんください。

14.5.1 メンテナンス

項目	説明
［カウンター］	本機で管理されているカウンターを確認できます。
［ROM バージョン］	ROM バージョンを確認できます。
［インポート / エクスポート］	本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。
［状態通知設定］	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
［トータルカウンター通知設定］	トータルカウンターを E-mail で通知する設定と通知先の E-mail アドレスを登録します。
［日時設定］	本機に表示される日時の設定を行います。
［タイマー設定］	本機のパワーセーブ、ウィークリータイマー機能の設定を行います。
［ネットワークエラーコード表示設定］	ネットワークエラーコードの表示の有無を設定します。
［初期化］	ネットワーク設定、コントローラーのリセットや宛先の一括消去を行います。

項目	説明
［ライセンス管理設定］	ライセンスの発行および機能の有効化を行います。リクエストコードの発行も行います。
［フォント / マクロ編集］	フォント、マクロを追加します。
［ジョブログ］	本機で実行されたジョブのログデータを作成し、ダウンロードできます。

14.5.2 環境設定

参考

- TWAIN を使用してアプリケーションソフトから本機をスキャナーとして使用する場合は、専用のドライバーソフトウェア「KONICA MINOLTA TWAIN」をインストールしてください。詳しくは、CD 内の TWAIN ドライバーのマニュアルをごらんください。

項目	説明
［本体登録］	装置の登録情報を変更します。
［サポート情報登録］	本機のサポート情報（問い合わせ先や製品元ホームページ、オンラインマニュアル URL など）を設定します。この内容はユーザーモードの［情報表示］－［サポート情報］で表示されます。
［ネットワーク TWAIN］	スキャン（プッシュスキャンを除く）による操作ロック削除時間を設定します。また、外部メモリーへの文書保存や読込みの許可設定もここで行います。
［ボックス設定］	不要なボックスの削除や文書削除時間の設定など、ボックスの機能を設定します。また、外部メモリーへの文書保存や読込みの許可設定もここで行います。
［スタンプ設定］	ヘッダー、フッターの登録を行います。
［白紙ページ印字設定］	白紙ページに「スタンプ / ページ印字」で設定した内容を印字する / しないを設定します。
［ジョブ飛越し動作設定］	ジョブの飛越し動作をする / しないを設定します。
［Flash 表示設定］	Flash 表示の許可する / しないを設定します。
［システム連携設定］	Prefix/Suffix の自動設定および携帯電話印刷を設定します。
［表示設定］	管理者モードの表示モードを［タブ表示］と［リストボックス表示］から選択し、設定します。
［アウトライン PDF 設定］	文字のアウトライン化をする / しないを設定します。

14.5.3 セキュリティー

項目	説明
［PKI 設定］	デバイス証明書の登録、SSL の設定、プロトコル設定、外部証明書の設定ができます。
［証明書検証設定］	証明書の検証で使用する項目を設定します。
［宛先参照許可設定］	宛先参照許可を行う場合、参照許可グループ名称や、参照可能レベルの設定ができます。
［ユーザー操作禁止設定］	ユーザーによる操作を禁止する機能を設定します。
［コピーセキュリティー］	コピーガード、パスワードコピーを使用する / しないを設定します。
［自動ログアウト］	管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
［管理者パスワード設定］	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

［管理者パスワード設定］は以下の場合は表示されません。

- SSL 証明書がインストールされていない
- ［セキュリティー強化設定］が有効に設定されている
- デバイス証明書が登録されていても、［セキュリティー］－［PKI 設定］－［SSL 使用設定］で［SSL/TLS 使用モード］を［なし］に設定している場合

14.5.4 ユーザー認証 / 部門管理

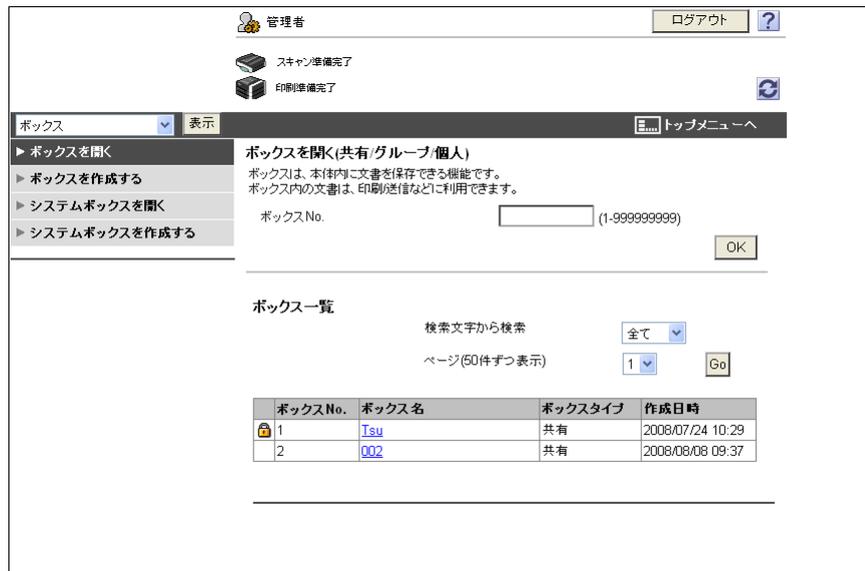
項目	説明
[認証方式]	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証を行う場合はカウンターの割当て数や上限値到達時の動作を設定できます。
[ユーザー認証設定]	ユーザー認証を行う場合、ユーザーの登録や設定を行います。
[部門管理設定]	部門管理を行っている場合、部門の登録と編集を行います。
[外部サーバー設定]	外部サーバー認証を行う場合、外部サーバーの登録を行います。
[共有ボックス設定]	ボックス数の上限を設定します。
[ユーザー / 部門共通設定]	単色カラー、2 色カラーの出力管理を行います。
[Home 宛先有効設定]	Home フォルダーへのファイル送信設定を行います。
[送信宛先制限]	手動送信宛先を制限する場合に設定します。

14.5.5 ネットワーク

項目	説明
[TCP/IP 設定]	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
[E-mail 設定]	メール送受信に関する設定（インターネットファクス含む）を行い、E-mail の認証などの拡張機能を設定できます。
[LDAP 設定]	LDAP サーバーを使用するとき、サーバーの登録ができます。
[IPP 設定]	IPP 印刷の設定をします。
[FTP 設定]	本機を FTP クライアントまたはサーバーとして使用するための設定ができます。
[SNMP 設定]	SNMP の設定ができます。
[SMB 設定]	SMB クライアント、WINS、SMB 印刷の設定ができます。
[Web サービス設定]	Web サービスによるスキャン、プリントに関する設定ができます。
[Bonjour 設定]	Bonjour の設定ができます。
[NetWare 設定]	NetWare の設定ができます。
[AppleTalk 設定]	AppleTalk の設定ができます。
[ネットワークファクス設定]	ダイレクト SMTP 送信 / ダイレクト SMTP 受信の設定ができます。
[WebDAV 設定]	WebDAV に関する設定を行います。
[OpenAPI 設定]	OpenAPI の設定ができます。
[TCP Socket 設定]	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。

項目	説明
[IEEE802.1X 認証設定]	IEEE802.1X 認証の設定を行います。
[LLTD 設定]	LLTD の有効 / 無効を設定します。
[BMLinkS 設定]	BMLinkS 設定を行います。
[SSDP 設定]	SSDP 設定を行います。
[Bluetooth 設定]	Bluetooth の有効 / 無効を設定します。 ・　Bluetooth 通信ができるように設定する場合は、事前にサービスエンジニアにご相談ください。

14.5.6　ボックス

管理者モードでログインしている場合は、ボックスを開くときのパスワード入力をせずに操作できます。

項目	説明
[ボックスを開く]	現在作成されているボックス（共有 / グループ / 個人）を開き、ボックスの設定を変更できます。 ・　管理者モードからは、文書の操作はできません。 ・　ボックスにパスワードが設定されていてもボックスを操作できます。
[ボックスを作成する]	新しくボックスを作成できます。
[システムボックスを開く]	システムボックス（掲示板ボックス / 中継ボックス / ファイリングナンバーボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更したりできます。 ・　掲示板ボックス、中継ボックスはオプションの FAX キット FK-502 が装着されている場合に操作できます。
[システムボックスを作成する]	新しく掲示板ボックス / 中継ボックス / ファイリングナンバーボックスを作成できます。

14.5.7　プリンター設定

項目	説明
［基本設定］	プリンターの初期設定値を設定できます。
［PCL 設定］	PCL モードの初期設定値を設定できます。
［PS 設定］	PS モードの初期設定値を設定できます。
［TIFF 設定］	TIFF 画像印刷の用紙の設定を行います。
［XPS 設定］	XPS プリントに関する設定ができます。
［インターフェース設定］	インターフェースのタイムアウト時間を設定できます。
［ダイレクトプリント設定］	PageScope Web Connection からのダイレクトプリントの許可設定を行います。
［装置情報取得用アカウント設定］	プリンタードライバーで装置情報を取得するためのパスワードを、設定するかしないかを選択します。［する］を選択した場合、パスワードを設定します。

14.5.8 宛先登録

項目	説明
[短縮宛先]	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
[グループ宛先]	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
[プログラム宛先]	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
[一時プログラム]	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
[E-mail 件名]	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
[E-mail 本文]	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。
[アプリケーション登録]	RightFax Server など、外部サーバーに登録されたアプリケーションを使用するとき、アプリケーションの内容やサーバーアドレスなどを登録します。アプリケーションとサーバーを登録することで、選択したアプリケーションのサーバーへ自動的に接続して使用することができます。 ・ [アプリケーション登録] は **FAX キット**装着時には表示されません。
[Prefix/Suffix]	メール送信時に、送信先の情報として付与する Prefix/Suffix を登録できます。

14.5.9 ファクス設定

項目	説明
[発信元 / 受信情報]	発信元、受信情報の印字内容を設定します。

項目	説明
[回線パラメーター設定]	ダイアル方式など、ファクス送受信時の回線の設定を行います。
[送信 / 受信設定]	送受信時の用紙、ボックスなどの設定を行います。
[機能設定]	強制メモリー受信、ネットワークファクスなどファクス機能の設定を行います。
[PBX 接続設定]	PBX 接続時の外線番号を設定します。
[レポート出力設定]	通信管理レポートなど、送受信時に出力されるレポートの設定を行います。
[増設回線設定]	増設した回線のパラメーター、機能を設定します。 ・ 回線を増設している場合に表示されます。
[ネットワークファクス設定]	ネットワークファクス使用時の設定を行います。
[発信元 / ファクス ID 登録]	送信時の発信元情報、ファクス ID を登録します。

14.5.10 目的別設定

複数の設定が必要な項目について、画面の指示にしたがって設定を行います。

設定できる項目は以下のとおりです。

- スキャン文書の送信設定を行う
- ネットワークプリントの設定を行う
- 本機を使用するユーザーを制限する

参考

- 設定の手順が進むと、左側に設定の流れが表示されます。
- 設定を中断した場合は、中断する前に設定した項目を反映して目的別設定画面に戻ります。

15 トラブルシューティング

15 トラブルシューティング

15.1 印刷できない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

印刷を実行したにもかかわらず、印刷できない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリーが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度印刷を試してみてください。
コンピューター側の印刷処理は終了したが印刷が開始されない。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。 本機の［管理者設定］で［ジョブ飛越し動作設定］が有効になっている場合は、問題のないジョブのみ処理できます。
	印刷実行時に［ボックス保存］を指定している可能性があります。	本機の操作パネルでボックスに目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	印刷実行時に［セキュリティー印刷のみ許可］を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで［セキュリティー文書ボックス］に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	本機側で［セキュリティー印刷のみ許可］になっている可能性があります。	印刷実行時に［セキュリティー印刷］で印刷してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門管理コードやパスワードを入力している可能性があります。	部門管理コードやパスワードを正しく入力してください。

状況	考えられる原因	対処方法
	認証設定している場合、登録以外のユーザー名やパスワードを入力している可能性があります。	ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	プリンターコントローラーとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
	本機側でセキュリティー強化モードになっている可能性があります。	セキュリティー強化モードでの認証設定を行ってください。詳しくは、本機の管理者にご相談ください。
後から送ったジョブが先に印刷され、先に送ったジョブが印刷されない。	用紙がないなどの理由で、本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の［管理者設定］で［ジョブ飛越し動作設定］が有効になっている場合は、問題のないジョブのみ処理し、エラーになっているジョブは処理待ち状態になります。
セキュリティー印刷で印刷されない。	本体でパスワード規約が有効になっている可能性があります。	パスワード規約に適合したパスワードを設定してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
ボックス保存のジョブが消えてしまった。	本体側でボックスジョブが削除される設定になっている可能性があります。	本体側のボックス設定を確認してください。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。
ユーザー認証または部門管理で印刷できない。	ユーザー名／部門名／パスワードが間違っています。	正しいユーザー名／部門名／パスワードを入力してください。
	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理を有効にしてください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
	お使いのユーザー名／部門名で印刷が許可されていない可能性があります。	印刷が許可されているユーザー名／部門名であるかどうかを管理者に確認してください。
ユーザー認証で、［パブリックユーザー］を選択したが印刷できない。	本体側でパブリックユーザーのプリントが許可されていない可能性があります。	パブリックユーザーの印刷が許可されているかどうかを管理者に確認してください。

以上のことを確認しても解決しない場合は、［ユーザーズガイド コピー機能編］をお読みください。

15.2　設定できない／設定したとおりに印刷できない

プリンタードライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに印刷されない場合に確認してください。

参考

- プリンタードライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

15.2.1　プリンタードライバーの設定が機能しない

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバー上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに印刷できない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	プリンタードライバー上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができないことがあります。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバーでの設定より優先されて印刷されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークが印刷できない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが印刷されないことがあります。	この場合、ウォーターマークは印刷できません。
ステープルが指定できない。	用紙種類が厚紙、OHP フィルムの場合は、ステープルできません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	ステープルは、オプションの**フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
ステープルができない。	印刷するページ数が多い場合は、ステープルできません。	印刷するページ数を変更してください。
	異なった用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	書類を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバーの設定でステープルの位置を確認してから印刷してください。
パンチが指定できない。	小冊子、OHP フィルム、厚紙 2、厚紙 3、封筒を指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	オプションの**フィニッシャー FS-527** と**パンチキット**が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。

状況	考えられる原因	対処方法
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切でない場合は、パンチせずに印刷されることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバーの設定でパンチの位置を確認してから印刷してください。
ページ割付でページが割付けられず、分かれて印刷される。	方向の異なる原稿を割付けています。	原稿の方向を合わせてください。
オーバーレイがうまく印刷されない。	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	オーバーレイを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
	オーバーレイデータがカラーで作成されています。	オーバーレイデータがカラーの場合、PCL ドライバーでグレースケール印刷を指定してもオーバーレイはカラーで印刷されます。
印刷時に文字化けが発生する	OS からアウトラインイメージが取得できないことがあります。	PCL ドライバーで印刷時に文字化けが発生する場合などは、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。
画像がうまく印刷されない。	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。
ユーザー認証または部門管理の設定がグレーアウトしていて設定できない。	Windows プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。	［装置情報］でユーザー認証または部門管理を使用する設定にしてください。

15.2.2 その他

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバーがインストールできない。	Windows Vista/Server 2008 で Web サービスプリント機能に対応したプリンターとしてインストール済みとなっています。	Windows Vista/Server 2008 で Web サービスプリントを利用してインストールした場合は、インストールを完了していなくてもインストールされた状態になります。［ネットワーク］ウィンドウで該当するプリンターをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

15.2.3 エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処方法
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、［管理者設定］の［ネットワーク設定］が正しく行われているか確認してください。

16 付録

16 付録

16.1 製品仕様

項目		仕様
形式		内蔵型コントローラー
電源		本体と共通
RAM		2048 MB
HDD		250 GB
I/F		Ethernet（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T） USB 2.0
フレームタイプ		Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル		TCP/IP（IPv4/IPv6）、BOOTP、ARP、ICMP、DHCP、DHCPv6、AutoIP、SLP、SNMP、FTP、LPR/LPD、RAW Socket、SMB over TCP/IP、IPP、HTTP、POP、SMTP、LDAP、NTP、SSL、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、NetBEUI、WebDAV、DPWS、S/MIME、IPsec、DNS、DynamicDNS、LLMNR、LLTD
プリンター言語		PCL5c/6 エミュレーション PCL XL ver. 2.1 エミュレーション PostScript 3 エミュレーション（3016） XPS ver.1.0
動作環境条件		温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 15 ～ 85%RH
解像度	データ処理	600 × 600 dpi（プリント、FAX 機能） 400 × 400 dpi（FAX 機能） 200 × 200 dpi（FAX 機能）
	プリント	600 dpi × 600 dpi
対応用紙サイズ		最大定型用紙サイズ （長尺紙印刷の場合：用紙幅 210 mm ～ 297 mm × 用紙長 457.3 mm ～ 1200 mm）
フォント（内蔵フォント）		＜ PCL ＞ 欧文 80 書体 日本語 HG 明朝 L HG P 明朝 L HG ゴシック B HGP ゴシック B ＜ Postscript 3 Emulation ＞ 欧文 137 書体 日本語 HG 明朝 L HG ゴシック B
対応コンピューター		IBM PC およびその互換機、Macintosh（PowerPC、Intel プロセッサー：Intel Processor は、Mac OS X 10.4/10.5 のみ）

項目	仕様	
プリンタードライバー	PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー）	Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降） Windows XP Professional（SP1 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
	PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー）	Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降） Windows XP Professional（SP1 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。

項目	仕様	
	XPS コニカミノルタ製ドライバー（XPS ドライバー）	Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
	PostScript PPD ドライバー（PS-PPD）	Mac OS 9.2 以降 Mac OS X 10.2.8/10.3/10.4/10.5
	ファクスドライバー	Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降） Windows XP Professional（SP1 以降） Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional ×64 Edition Windows Server 2003, Standard ×64 Edition Windows Server 2003, Enterprise ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard ×64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise ×64 Edition Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
ユーティリティ	PageScope Web Connection 対応 Web ブラウザー： <Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/Vista の場合 > ・ Microsoft Internet Explorer 6/7（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Macintosh MacOS 9.x/MacOS X の場合 > ・ Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Linux の場合 > ・ Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player ： ・ 表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグインが必要 ・ データ管理ユーティリティー（フォント / マクロデータの管理）を利用する場合、Ver.9.0 以降のプラグインが必要	

項目	仕様
MetaFrame 動作環境	本ドライバーは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。 Server OS：Windows 2000 Advanced server/ Windows 2003 Enterprise Server MetaFrame：Citrix® MetaFrame® Presentation Server 3.0 Citrix® MetaFrame® Presentation Server 4.0 Client OS：Windows 2000/Windows XP ICAClient：ICA32bit * 上記以外の構成での動作については販売会社にお問合せください。

16.2　レポート出力

16.2.1　設定情報リスト（コンフィグレーションページ）

KONICA MINOLTA C360

Configuration Page

Print Operation Menu Map

Basic Setting

Default Paper Size	=	A4
Paper Tray	=	Auto
Output Tray	=	Elevate Tray
Binding Position	=	Left Binding
Double-Sided	=	Off
Staple	=	Off
Hole-Punch	=	Off
Orientation	=	Portrait
# of Sets	=	1
No Matching Paper in Tray Setting	=	Stop Printing (Tray Fixed)
Spool Setting	=	On
Convert	=	Off
PDL Setting	=	Auto
Banner Setting	=	Disable
Banner Paper Tray	=	Auto

PCL Setting

Font Source	=	I
Font Number	=	0
Font Point	=	12.00
Font Pitch	=	10.00
Symbol Set	=	PC-8, Code Page 437
Line/Page	=	64 [Line / Page]
CR/LF Mapping	=	Off

PS Setting

Print Reports	=	Disable
Text RGB Source	=	4
Text Destination Profile	=	Auto
Image RGB Source	=	4
Image Destination Profile	=	Auto
Graphics RGB Source	=	4
Graphics Destination Profile	=	Auto
Simulation Profile	=	None

XPS Settings

Verify XPS Digital Signature	=	Disable

Test Print

Configuration
PCL Font List
PS Font List
Demo Page

I/F Setting

Network Rx Timeout	=	60 [sec.]
USB Timeout	=	60 [sec.]
Print XPS Errors	=	Enable

Installed

Printer HDD	=	Installed
Printer Memory	=	3328 [MByte]

Printer Information

Installed Tray

Tray 1	=	A4
Tray 2	=	A4
Tray 3	=	A4
Tray 4	=	A4
LCT	=	A4

Option

Duplex Unit	=	Installed
Finisher	=	Available
Punch Unit	=	Available
Fold Unit	=	Available
Fax Unit	=	Available
Mailbin Unit	=	Not Available

Firmware Version

Management Version	=	2
Printer Controller	=	A0ED0Y0-3000[illegible]

Network

MAC Address

MAC Address	=	00:20:6B:[illegible]

TCP/IP

TCP/IP	=	Enable
IP Address	=	150.16.154.37
Subnet Mask	=	255.255.255.0
Default Gateway	=	150.16.154.1
RAW Port 0	=	9100
RAW Port 1	=	9112
RAW Port 2	=	9113
RAW Port 3	=	9114
RAW Port 4	=	9115
RAW Port 5	=	9116

Netware

Netware	=	Disable

Appletalk

Appletalk	=	Disable

SMB

SMB	=	Enable

16.2.2 PCL フォントリスト

KONICA MINOLTA C360

PCL Font List P.1

Resident Fonts

Font	Pitch/Point	Escape Sequence	Font #
Courier	Scalable	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	00000
CG Times	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	00001
CG Times Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	00002
CG Times Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	00003
CG Times Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	00004
CG Omega	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4113T	00005
CG Omega Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4113T	00006
CG Omega Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4113T	00007
CG Omega Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4113T	00008
Coronet	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	00009
Clarendon Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	00010
Univers Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	00011
Univers Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	00012
Univers Medium Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	00013
Univers Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	00014
Univers Condensed Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	00015
Univers Condensed Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	00016
Univers Condensed Medium Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	00017
Univers Condensed Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	00018
Antique Olive	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	00019
Antique Olive Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	00020
Antique Olive Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	00021
Garamond Antiqua	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	00022
Garamond Halbfett	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	00023
Garamond Kursiv	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	00024

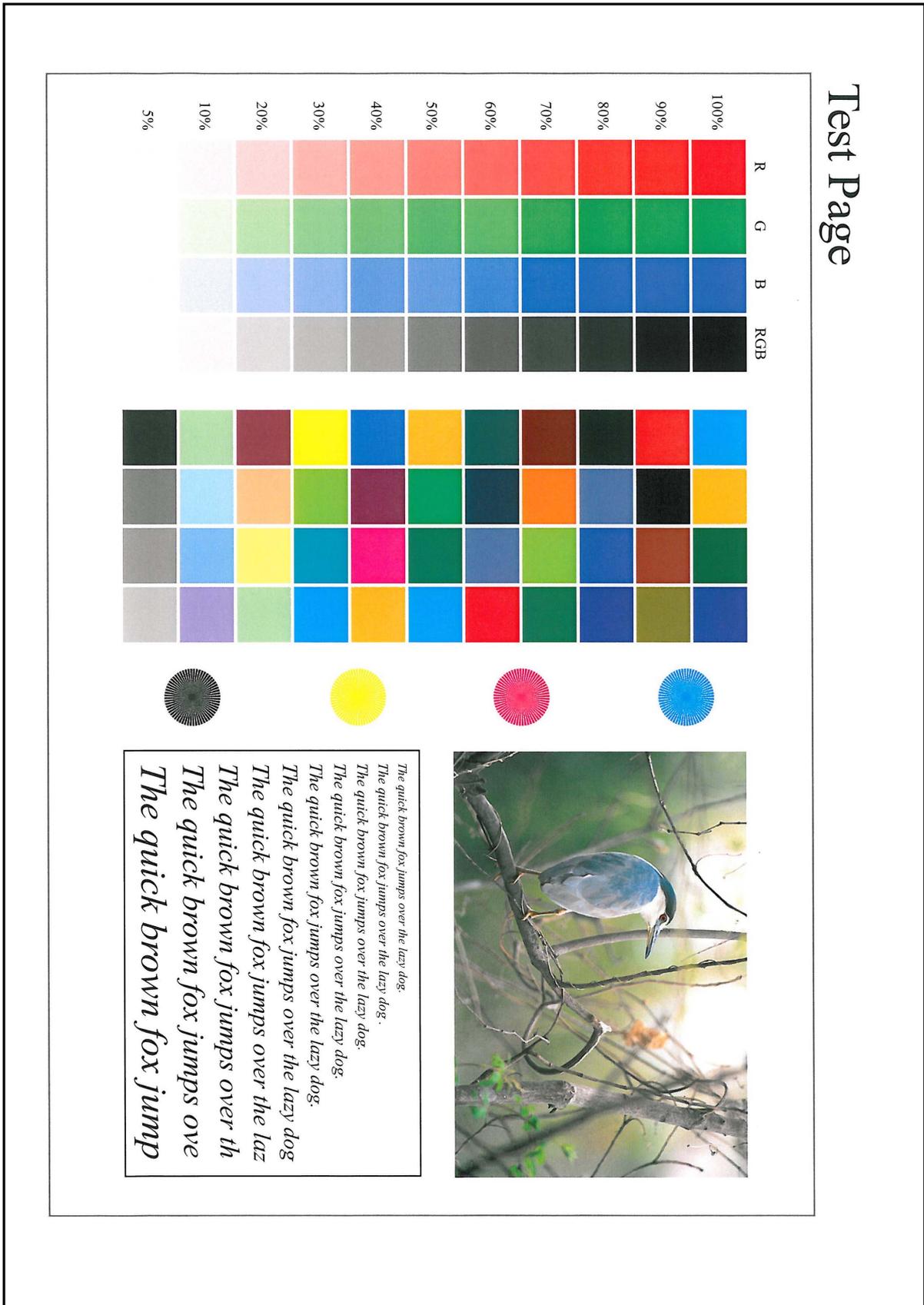
16.2.3 PS フォントリスト

KONICA MINOLTA C360

PS Font List P.1

Resident Fonts

Font		Font #
Albertus MT	AlbertusMT	00000
Albertus MT Italic	AlbertusMT-Italic	00001
Albertus MT Light	AlbertusMT-Light	00002
Antique Olive Roman	AntiqueOlive-Roman	00003
Antique Olive Italic	AntiqueOlive-Italic	00004
Antique Olive Bold	AntiqueOlive-Bold	00005
Antique Olive Compact	AntiqueOlive-Compact	00006
Apple Chancery	Apple-Chancery	00007
Arial	ArialMT	00008
Arial Italic	Arial-ItalicMT	00009
Arial Bold	Arial-BoldMT	00010
Arial Bold Italic	Arial-BoldItalicMT	00011
ITC Avant Garde Gothic Book	AvantGarde-Book	00012
ITC Avant Garde Gothic Book Oblique	AvantGarde-BookOblique	00013
ITC Avant Garde Gothic Demi	AvantGarde-Demi	00014
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	AvantGarde-DemiOblique	00015
Bodoni Roman	Bodoni	00016
Bodoni Italic	Bodoni-Italic	00017
Bodoni Bold	Bodoni-Bold	00018
Bodoni Bold Italic	Bodoni-BoldItalic	00019
Bodoni Poster	Bodoni-Poster	00020
Bodoni Poster Compressed	Bodoni-PosterCompressed	00021
ITC Bookman Light	Bookman-Light	00022
ITC Bookman Light Italic	Bookman-LightItalic	00023
ITC Bookman Demi	Bookman-Demi	00024
ITC Bookman Demi Italic	Bookman-DemiItalic	00025
	Carta	00026
Chicago	Chicago	00027
Clarendon Roman	Clarendon	00028
Clarendon Bold	Clarendon-Bold	00029

16.2.4 GDI デモページ（テストページ）

16.3 BMLinkS 統合プリンタードライバー

本機は、BMLinkS 対応オフィス機器となっており、BMLinkS 統合プリンタードライバーが使用できます。

16.3.1 仕様とプリンタードライバーの入手方法

対応している仕様は「BMLinkS 2007」です。

「BMLinkS 2007」に対応した統合プリンタードライバーを、BMLinkS のサイトからダウンロードしてご利用ください。

参考

- BMLinkS 統合プリンタードライバーの対応 OS やインストール方法、使用方法については、BMLinkS のサイトからダウンロードできるマニュアルをごらんください。
- V3. x および、それ以降の BMLinkS ドライバーの設定項目の一部は利用できない場合があります。

16.3.2 印刷する

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから [印刷]（または [プリント]）をクリックします。

2 [プリンタ名]（または [プリンタの選択]）で BMLinkS 統合プリンタードライバー名が選択されているか確認します。

3 印刷するページ範囲や部数を設定して [印刷] をクリックします。

BMLinkS 統合プリンタードライバーが起動し、自動的に BMLinkS 対応機器を検索します。

4 [プリントサービス：] から本機を選択します。

5 必要に応じて設定を変更し、[印刷実行] をクリックします。

[セキュリティー印刷] に設定するときは、[機密印刷を行う] の項目を設定してください。

参照

BMLinks 統合プリンタードライバーで [機密印刷を行う]（セキュリティー印刷）を設定して印刷すると、印刷ジョブは、[セキュリティー文書ボックス] に保存されます。印刷するには、[ID]（機密印刷の [ユーザー ID]）と [パスワード]（機密印刷の [開始キー]）を入力する必要があります。[セキュリティー文書ボックス] から印刷ジョブを印刷する方法は、12-7 ページをごらんください。[セキュリティー文書ボックス] に保存した印刷ジョブを印刷するとき、[倍率]、[集約] キーを選択できません。

参考

- BMLinkS 統合プリンタードライバーからの印刷を利用するには、本機の [BMLinkS 設定] を有効にしておく必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。
- 本機で [ユーザー認証]、[部門管理] を有効に設定している場合、BMLinks 統合プリンタードライバーから印刷を行うには、本機で [認証指定なし印刷] で [許可] を選択する必要があります。認証指定なし印刷については、13-50 ページをごらんください。

16.4 PPD ドライバー（Linux 用、アプリケーション用）

16.4.1 PPD ドライバーの種類

PPD ドライバーには、Mac OS9 用のほかに Linux 用とアプリケーション用の PPD 情報が含まれています。

- Linux 用:Linux で使用する場合にインストール(Linux 用 PPD と OpenOffice 用 PPD が含まれています)。
- アプリケーション用:PageMaker など PPD を必要とするアプリケーションを使用する場合にインストール

16.4.2 Linux 用 PPD ドライバーについて

動作条件
以下組合せの環境において動作します。

- OS:Red Hat Enterprise Linux 4 —CupsVersion:1.1
- OS:SuSE Linux 10.1 —CupsVersion:1.2
- OpenOffice v1.1.5

Linux 用 PPD の登録

1 PPD ファイルを CUPS の model ディレクトリへコピーします（主な Linux の場合は、/usr/share/cups/model)。

2 CUPS 印刷システムの［Add Printer］で PPD を指定し、本機を追加します。

➔ CUPS については、CUPS Web 管理ページの［Help］を参照してください。

Linux 用 PPD の設定

CUPS 印刷システムの［Configure Printer］で機能を設定します。

OpenOffice 用 PPD の登録

1 CUPS 印刷システムの［Add Printer］で PPD を指定し、本機を追加します。

2 OpenOfficePrinterAdministrator ツールを開きます。

3 ［New Printer］をクリックします。

4 ［Choose a device type］画面で［add a printer］を選択し、［Next］をクリックします。

5 ［Choose a driver］画面で［import］をクリックします。

6 ［KONICA MINOLTA C360 OpenOffice PPD］を選択して［OK］をクリックします。

7 ［Please Select a Suitable driver.］一覧で［KONICA MINOLTA C360 OpenOffice PPD］を選択し、［Next］をクリックします。

8 ［Choose a command line］画面で CUPS に登録したプリンタを選択し、［Next］をクリックします。

9 ［Finish］をクリックします。

OpenOffice での印刷方法

1 OpenOffice の File-Print を開きます。

2 ［Printer name］で［KONICA MINOLTA C360 OpenOffice PPD］を選択します。

3 ［Properties］をクリックします。

4 ［Page size］を指定し、［OK］をクリックします。
Page Size 以外の項目は、CUPS の［Configure Printer］で設定します。

5 OpenOffice の Print ダイアログの［OK］をクリックし、印刷します。

16.4.3 アプリケーション用 PPD ドライバーについて

PPD の登録先（例：PageMaker）

- PageMaker6.0 の場合：
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC\PPD4 にコピーします。
- PageMaker6.5/7.0 の場合：
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC\<Language>\PPD4 にコピーします。

印刷方法

1 ［ファイル］－［プリント］を選択します。

2 プリントダイアログ内の［形式］コンボボックスで、本機を選択します。

3 ［用紙設定］や［プリンタ特性］でプリンタに応じた設定を行います。

4 ［印刷］ボタンをクリックし、印刷を行います。

16.5 サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応

プリントサーバーで Windows Server 2008 が稼動していて、かつ、プリントサーバーとクライアントコンピューターで稼動している OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。

この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするときに、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定することで、解決できます。

ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。

参考

- あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを設定のために準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。
- プリントサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てるドライブを共有するよう設定する必要があります。

16.5.1 追加ドライバのインストール方法

ここでは、例として、プリントサーバーに Windows Server 2008（32bit）、クライアントコンピューターに Windows Vista (64bit）をインストールした場合の操作について説明します。

1 クライアントコンピューターの、OS がインストールされているドライブ（通常は C ドライブ）を、共有するように設定します。

2 プリントサーバーで、手順 1 で共有した、クライアントコンピューターのドライブ（例：「C」）を、ネットワークドライブ（例：「z」）として割り当てます。

3 プリントサーバーに、32bitOS 用のドライバーをインストールします。

4 作成したプリンターの［プロパティ］の画面を開きます。

5 ［共有］タブを選択し、［このプリンタを共有する］にチェックを入れます。

6 ［追加ドライバ］をクリックします。

追加ドライバ画面が表示されます。

7 ［プロセッサ］の列の［x64］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

8 64bitOS 用のドライバーがあるフォルダを指定します。

セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。

9 ［参照］をクリックし、ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピューターにある、セットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定します。

➔ 以下のファイルを指定します。
「z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xxx」

➔ 上記のパスで、「z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なります。

➔ お使いのクライアントコンピューターによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。「ntprint.inf」と同じ階層に「amd64」というフォルダが存在する場合、その配下に 64bitOS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32bit 用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、「ntprint.inf」と同じ階層に「i386」というフォルダがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。

10 ［開く］をクリックします。

インストールを開始します。

11 インストールが完了したら、［閉じる］をクリックします。

これで、64bitOS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

16.6 用語集

	用語	説明
記号・アルファベット	10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
	Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。 キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
	AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。 Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
	BOOTP	BOO Tstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
	CMYK	Cyan（薄青）、Magenta（赤紫）、Yellow（黄）、Black（黒）の略。カラー印刷で用いられるトナー／インクの色で、CMYK 4 色の配合比率を変化させて全ての色を表現する。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルーターなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
	DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
	HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
	IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。

用語	説明
IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novell 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。現在広く普及している IPv4（Internet Protocol version 4）は、4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、192.168.1.10 のように表される。次世代の IPv6（Internet Protocol version 6）では、128 ビットの IP アドレスが使われる。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバーとして利用することにより、希望するプリンターからの出力、新規プリンター導入時のドライバーの自動ダウンロードなど、プリンター利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンターに関わる統合的な管理を行うことができる。
NDS	Novell Directory Service の略。ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。IBM 社によって開発された通信インターフェースのこと。
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
Nprinter/ Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバーを使用する場合の、リモートプリンターサポートモジュールのこと。Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。
OHP/OHT	OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンターで印刷するとき、プリンターにページ単位で印刷イメージを指示する言語。

	用語	説明
	PostScript	米 Adobe 社によって開発された、とくに高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
	PPD	PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズ等、PostScript プリンターの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
	Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。
	PServer	Netware 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
	Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。
	RIP	Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンターに内蔵されている。
	RGB	Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の略。モニタ等の色表現で用いられる原色で、RGB 3 色の輝度比率を変化させて全ての色を表現する。
	Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
	SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。
	SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
	SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
	TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
	XPS	XML Paper Specification の略。Microsoft 社が開発した電子形式書類の 1 つ。Windows Vista から採用されている。
あ行	アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。

	用語	説明
か行	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	カラーマッチング	スキャナー、ディスプレイ、プリンターなどの異なる装置間で、色の違いを少なくするための技術。
	輝度	ディスプレイ等の画面の明るさのこと。
	キュー名	LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンター名のこと。
	共有プリンター	ネットワーク上のサーバーに接続され、複数のコンピューターから使用できるように設定されたプリンターのこと。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	スクリーンフォント	CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。
	スプール（Spool）	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。
た行	タッチ＆プリント	ユーザー認証時にプリンタードライバーから送信したジョブを本体と接続された認証装置に指または IC カードをかざすだけでプリントできる機能。タッチ＆プリント機能を利用するときは、本機に認証装置を装着し、ユーザーごとに静脈または IC カードの ID を登録する必要がある。
	ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源を OFF しても、データが保持される。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
	プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プリンターバッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリー領域。
	プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
	フレームタイプ	Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事が出来ない。
	プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバーを使用するときは、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	プロファイル	カラー属性ファイル。カラー入出力機器が色再現を行うために使用する、各原色の入出力の相関関係がまとめられた専用ファイルのこと。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。

	用語	説明
ま行	メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ら行	ローカルプリンター	コンピューターのパラレル／ USB ポートに接続されたプリンターのこと。

17 索引

17 索引

17.1 項目別索引

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

17.2 キー索引

や行

ら行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）